
安城市
こども計画策定に関するアンケート調査
【結果報告書】

令和6年 6月
安城市

目 次

I. 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	2
2. 調査概要.....	2
3. 報告書の見方.....	2
4. 設問の内容について.....	3
II. 就学前児童調査・小学生児童調査結果.....	5
1. お子さんご家族の状況について.....	6
2. 保護者の就労状況について.....	11
3. 定期的な幼児教育・保育事業の利用状況について.....	26
4. 定期的に利用したい幼児保育・保育事業について.....	39
5. 子育て支援事業の利用について.....	42
6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりについて.....	47
7. 放課後の過ごし方について.....	51
8. 子育て全般について.....	58
9. 「こどもの権利」について.....	63
10. 子どもの貧困について.....	65
III. 小学5年生・中学2年生調査結果.....	67
1. 回答者について.....	68
2. 放課後や休日の過ごし方について.....	70
3. 自分ことやふだんの生活について.....	73
4. 学校生活について.....	77
5. 家庭について.....	79
6. 将来のことや働くことについて.....	83
7. 地域とのかかわりについて.....	85
8. こどもの権利について.....	86
IV. 16歳～39歳調査結果.....	89
1. 回答者について.....	90
2. 普段の生活について.....	94
3. 自分自身について.....	98
4. 将来のことや働くことについて.....	101
5. 地域とのかかわりや市の取組について.....	109
6. こどもの権利について.....	113

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和6年度に策定する「安城市こども計画」の資料として、保育ニーズ、安城市の子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯やこども・若者の生活実態、今後の要望・意見などを把握することを目的に実施しました。

2. 調査概要

- 調査地域：安城市全域
- 調査対象：安城市内在住の就学前児童の保護者
安城市内在住の小学生児童の保護者
安城市内在住の小学5年生・中学2年生
安城市内在住の16歳～39歳の市民
- 抽出方法：住民基本台帳より、就学前児童1,500人、小学生児童1,500人、
小学5年生・中学2年生各1,000人、16歳～39歳の市民1,000人の
合計6,000人を無作為抽出
- 調査期間：令和6年1月31日～2月16日
- 調査方法：就学前児童及び小学生児童の保護者は郵送による配布・回収
小学5年生・中学2年生及び16歳～39歳の市民は郵送配布・webでの回答

調 査 票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,500	757	50.5%
小学生児童	1,500	743	49.5%
小学5年生・中学2年生	各 1,000	770	38.5%
16歳～39歳の市民	1,000	376	37.6%
合 計	6,000	2,646	44.1%

3. 報告書の見方

- 本報告書の本文中では、就学前児童の保護者の回答結果を「就学前」、小学生児童の保護者の回答結果を「小学生」、小学5年生・中学2年生の回答結果を「小・中学生」、16歳～39歳の市民の回答結果を「若者」と表記しています。
- 就学前児童と小学生児童で共通の設問は、並べて比較できるように構成しています。設問文の末尾に就学前児童は「前：問No.」、小学生児童は「小：問No.」と、調査票の設問番号を表示しています。

- 回答結果の割合「％」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0％にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0％を超える場合があります。
- 年齢等を数値で回答する設問（数量回答）では、区分分けをして集計しています。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n(number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 小・中学生調査では、学年不明の回答が1件あったため、小学5年生と中学2年生で分けて表示しているグラフにおいては、集計対象者総数が769となり、有効回収数770と一致しません。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

4. 設問の内容について

■ニーズ調査

設問	就学前児童	小学生児童
1. あて名のお子さんご家族の状況について	○	○
2. 保護者の就労状況について	○	○
3. 定期的な幼児保育・保育事業の利用状況について	○	
4. 定期的に利用したい幼児保育・保育事業について	○	
5. 子育て支援事業について	○	
6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりについて	○	○
7. 放課後等の過ごし方について	○ (5歳以上の 子どものみ)	○
8. 子育て全般について	○	○
9. 「こどもの権利」について	○	○
10. 子どもの貧困について	○	○

■小学5年生・中学2年生調査

設問
1. 回答者について
2. 放課後や休日の過ごし方について
3. 自分のことやふだんの生活について
4. 学校生活について
5. 家庭について
6. 将来のことや働くことについて
7. 地域とのかかわりについて
8. こどもの権利について

■16歳～39歳調査

設問
1. 回答者について
2. 普段の生活について
3. 自分自身について
4. 将来のことや働くことについて
5. 地域とのかかわりや市の取組について
6. こどもの権利について

II. 就学前児童調査・小学生児童調査結果

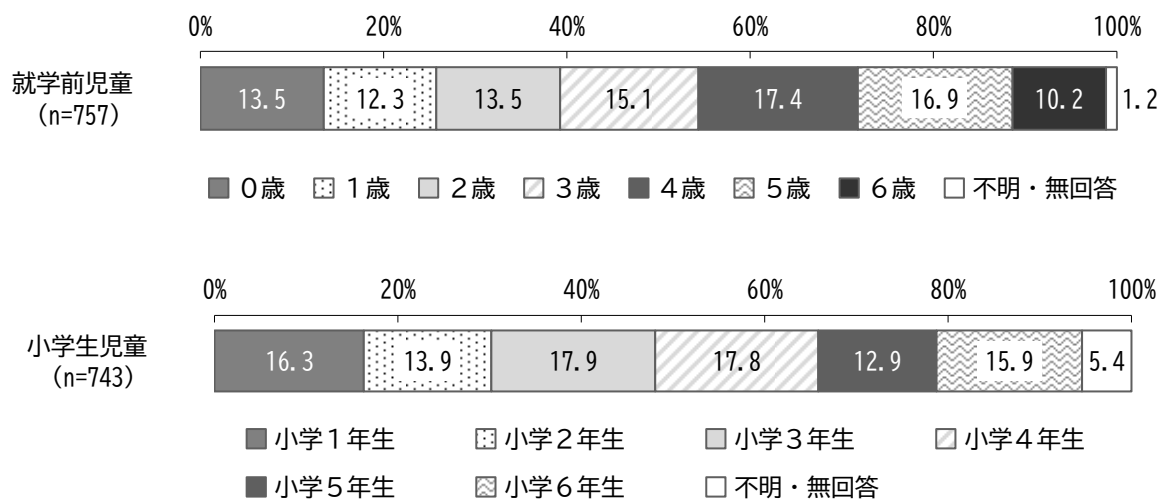
1. お子さんご家族の状況について

(1) お子さんの年齢・学年 [前：問1①、小：問1①] <数量回答>

就学前では、「4歳」が17.4%と最も高く、次いで「5歳」が16.9%となっています。

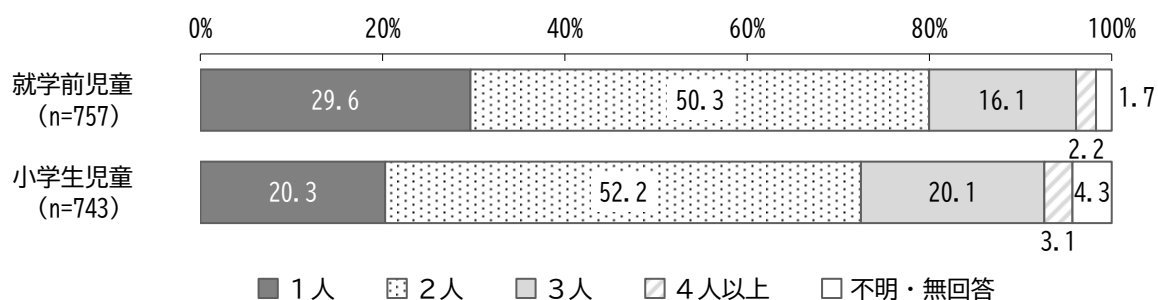
小学生では、「小学3年生」が17.9%と最も高く、次いで「小学4年生」が17.8%となっています。

※令和6年1月基準で算出



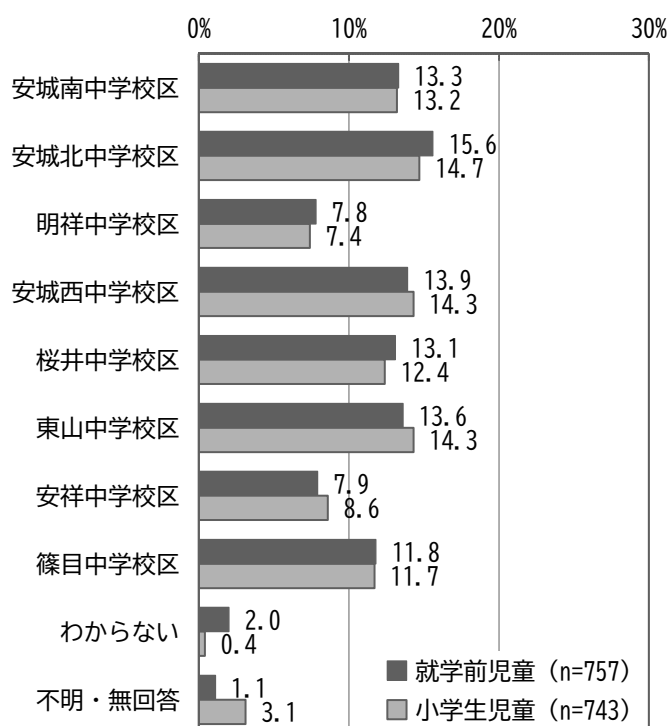
(2) 兄弟姉妹の人数 [前：問1②、小：問1②] <数量回答>

就学前・小学生ともに「2人」がそれぞれ50.3%、52.2%と最も高く、次いで「1人」となっています。



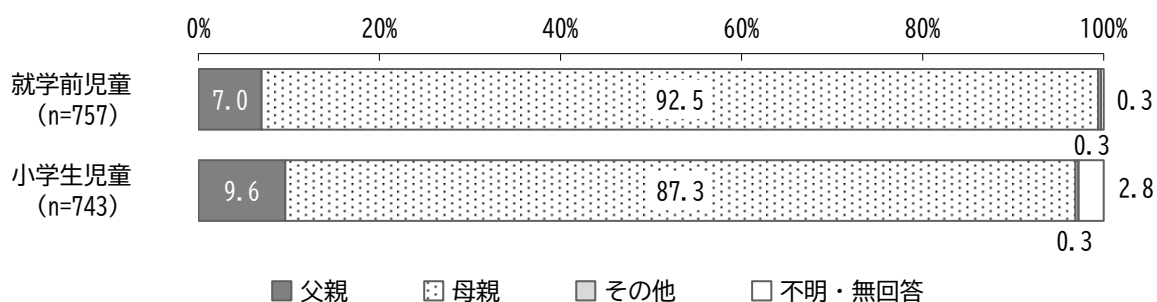
(3) お住まいの中学校区 [前：問2、小：問2] <単数回答>

就学前・小学生ともに「安城北中学校区」がそれぞれ15.6%、14.7%と最も高くなっています。



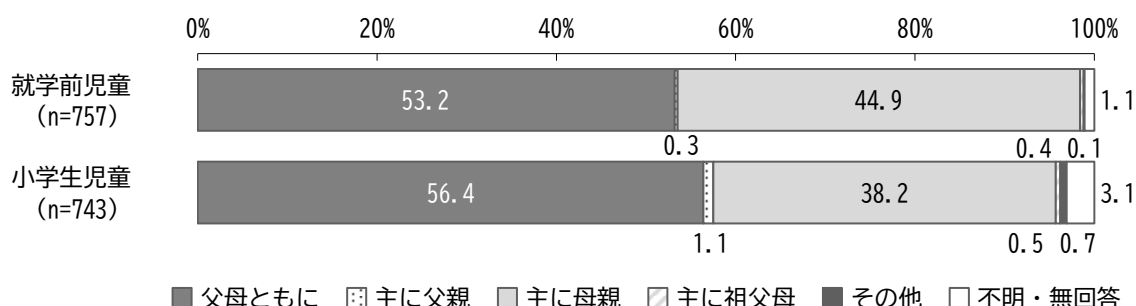
(4) 調査票の回答者 [前：問3、小：問3] <単数回答>

就学前・小学生ともに「母親」がそれぞれ92.5%、87.3%と最も高くなっています。



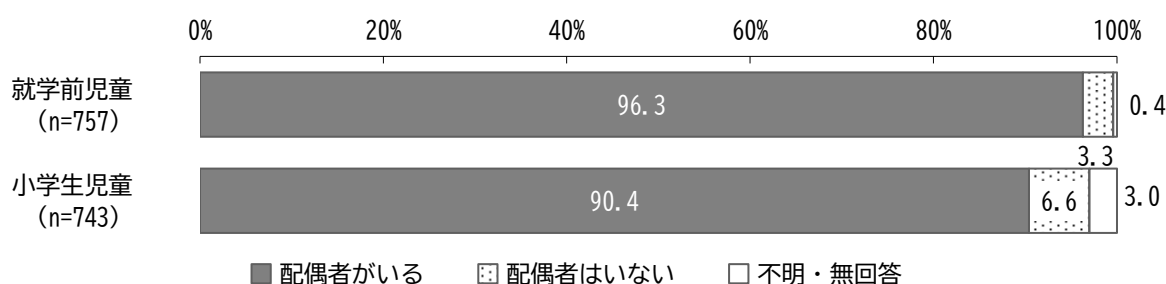
(5) お子さんの子育てを主に行っている方 [前：問4、小：問4] <単数回答>

就学前・小学生ともに「父母ともに」がそれぞれ53.2%、56.4%と最も高く、次いで「主に母親」となっています。



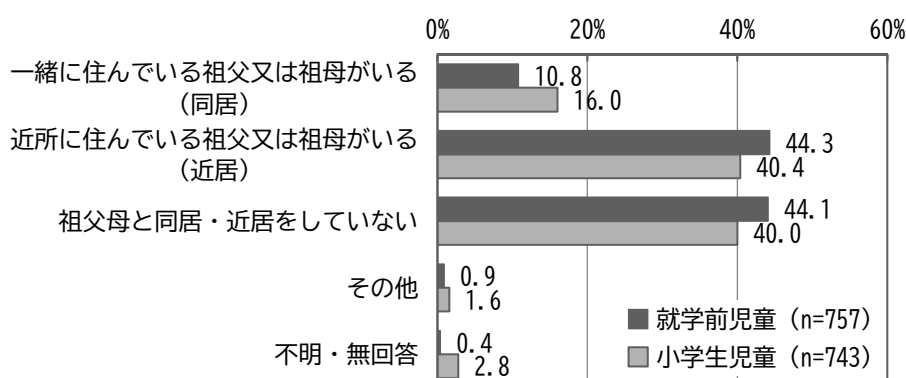
(6) 回答者の配偶関係 [前：問5、小：問5] <単数回答>

就学前・小学生ともに「配偶者がいる」がそれぞれ96.3%、90.4%と最も高くなっています。



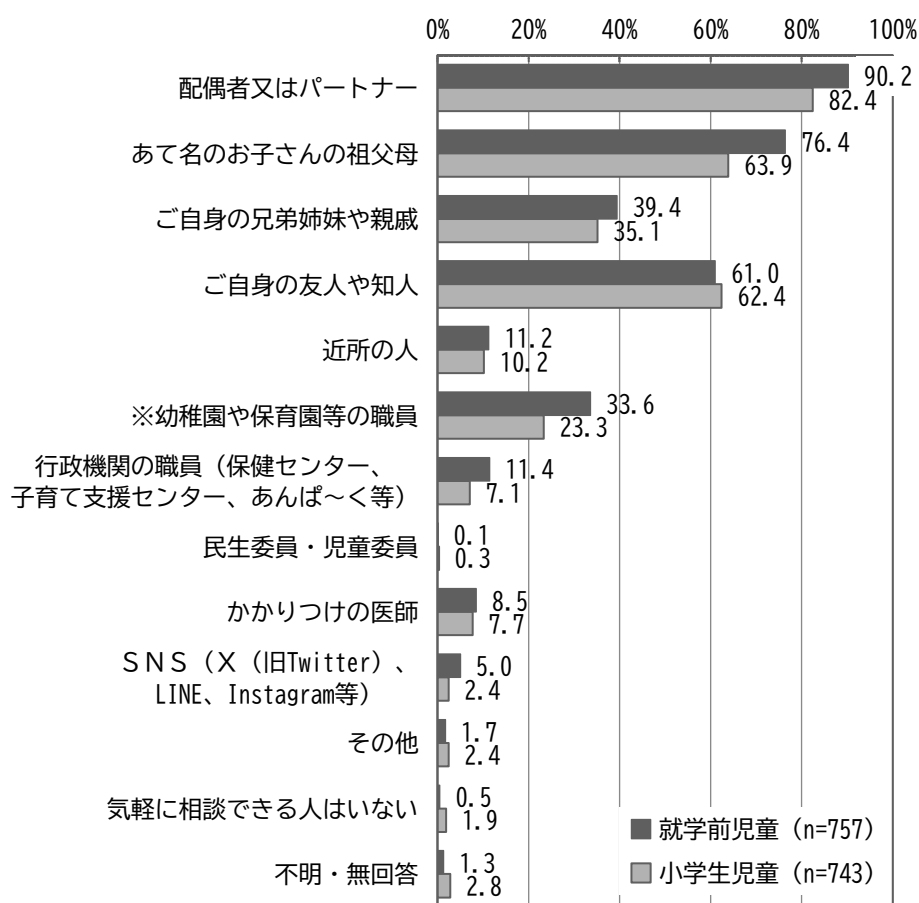
(7) お子さんと祖父母との同居・近居の状況 [前：問6、小：問6] <複数回答>

就学前・小学生ともに「近所に祖父又は祖母がいる（近居）」と「祖父母と同居・近居をしていない」が高くなっています。



(8) 子育てに関して気軽に相談できる相手 [前：問7、小：問7] <複数回答>

就学前・小学生ともに「配偶者又はパートナー」がそれぞれ90.2%、82.4%と最も高く、次いで「あて名のお子さんの祖父母」、「ご自身の友人や知人」となっています。

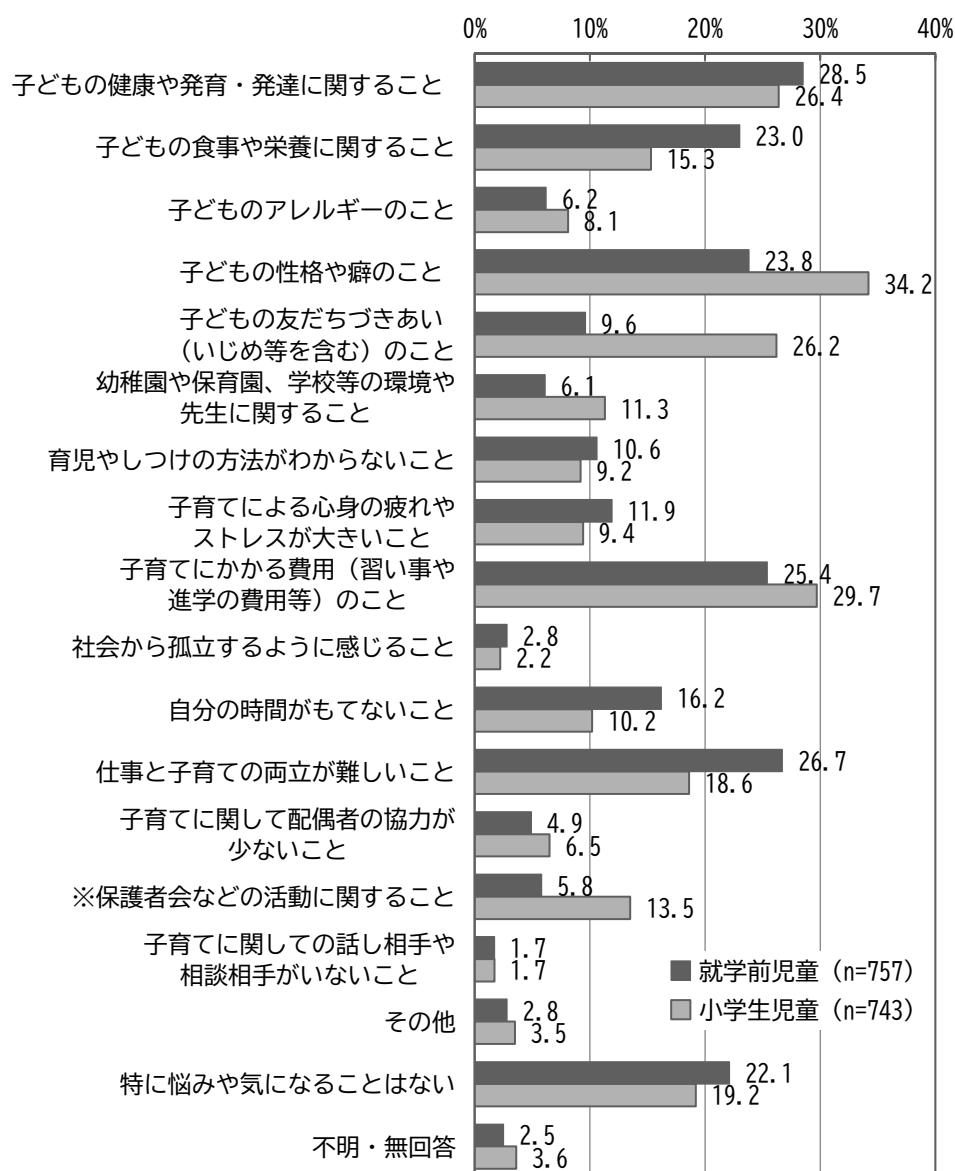


※小学生児童では選択肢が「学校の先生」となっています。

(9) 子育てに関して特に悩んでいること [前：問8、小：問8] <複数回答>

就学前では、「子どもの健康や発育・発達に関すること」が28.5%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいこと」が26.7%、「子育てにかかる費用（習い事や進学費用等）のこと」が25.4%となっています。

小学生では、「子どもの性格や癖のこと」が34.2%と最も高く、次いで「子育てにかかる費用（習い事や進学費用等）のこと」が29.7%、「子どもの健康や発育・発達に関すること」が26.4%となっています。



※小学生児童では選択肢が「子ども会やPTAなどの地域活動に関すること」となっています。

2. 保護者の就労状況について

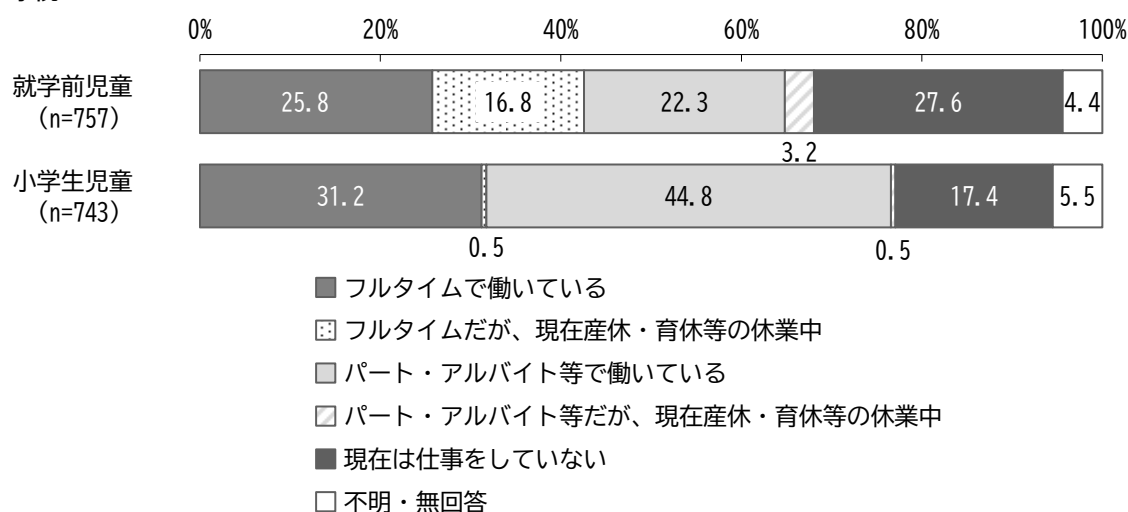
(1) 保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)

[前：問9 (1) (2)、小：問9 (1) (2)] <単数回答>

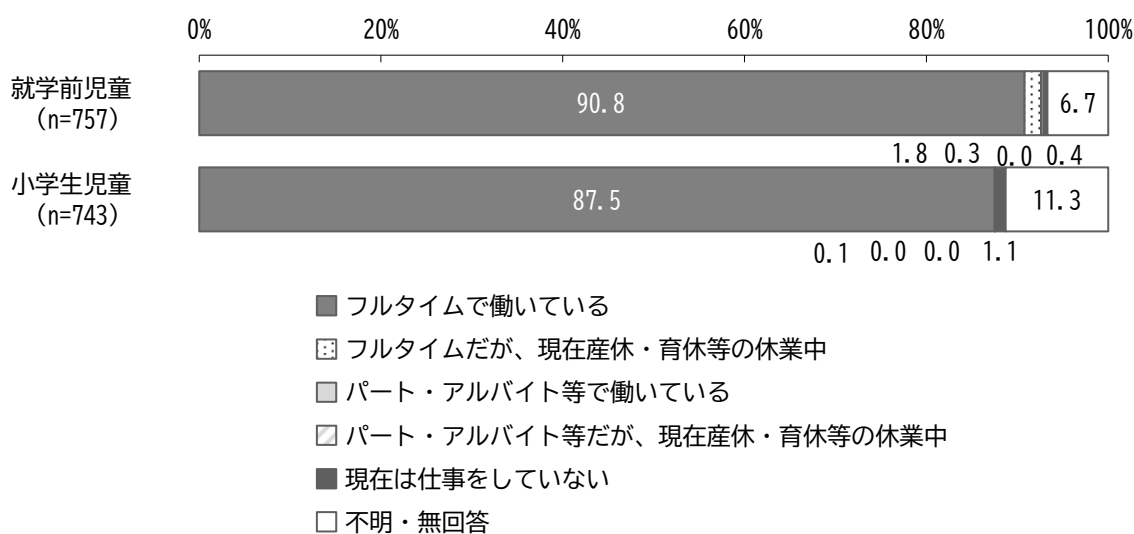
母親について、就学前で「現在は仕事をしていない」が27.6%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が25.8%、「パート・アルバイト等で働いている」が22.3%となっています。小学生で「パート・アルバイト等で働いている」が44.8%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が31.2%、「現在は仕事をしていない」が17.4%となっています。

父親について、就学前・小学生ともに「フルタイムで働いている」が最も高く、それぞれ90.8%、87.5%となっています。

【1】母親

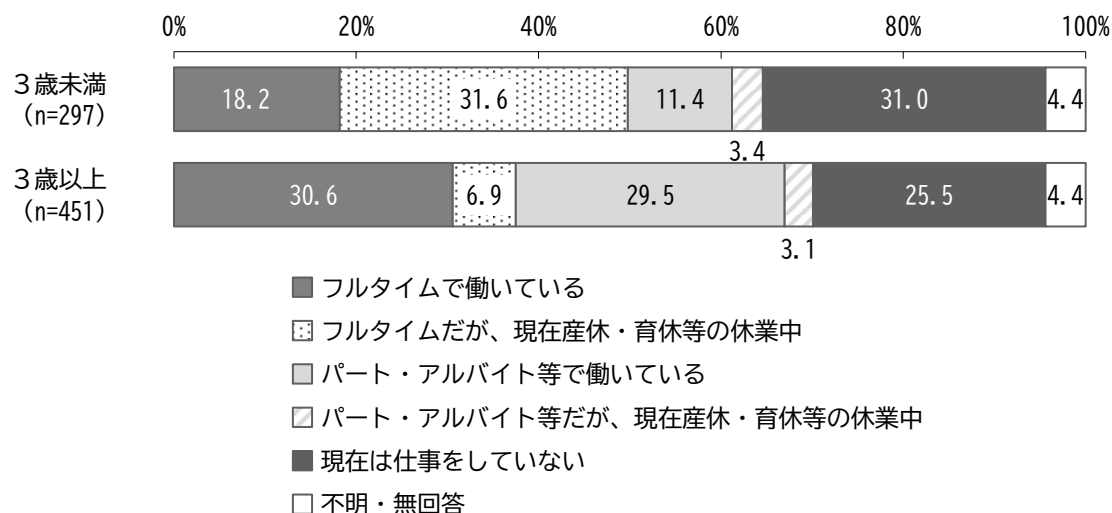


【2】父親



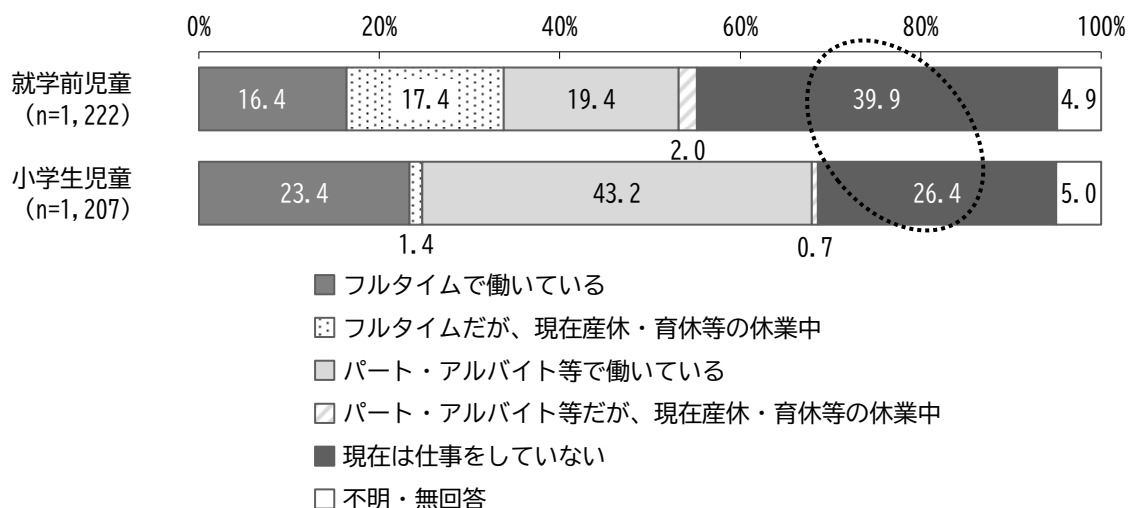
子どもの年齢別でみると、「パート・アルバイト等で働いている」が3歳以上で29.5%と、3歳未満と比較して18.1ポイント高くなっています。一方で、「フルタイムだが、現在産休・育休等の休業中」が3歳未満で31.6%と、3歳以上と比較して24.7ポイント高くなっています。

■子どもの年齢別によるクロス結果（就学前・母親）



前回調査と比較すると、就学前で「現在は仕事をしていない」が12.3ポイント低くなっています。小学生で「現在は仕事をしていない」が9.0ポイント低くなっています。

◆前回調査（母親）



〔仕事をしている方〕

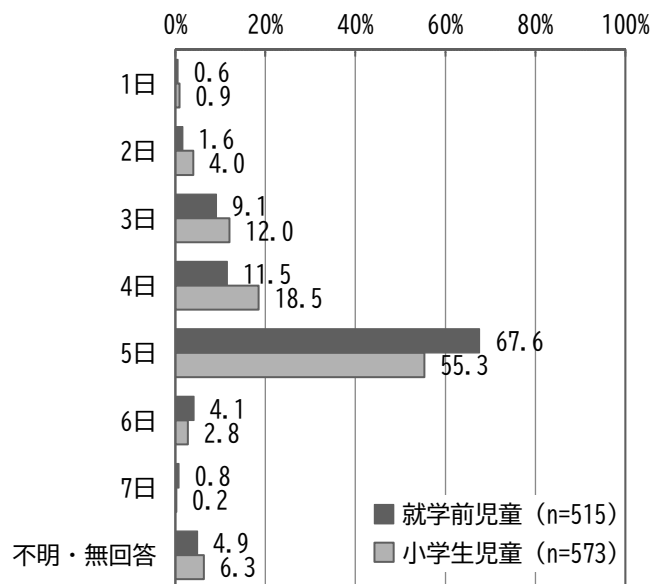
フルタイム・パートアルバイト等で就労している保護者の就労状況や希望

〔前：問9（1）（2）①②③④、小：問9（1）（2）①②③④〕 〈数量回答〉

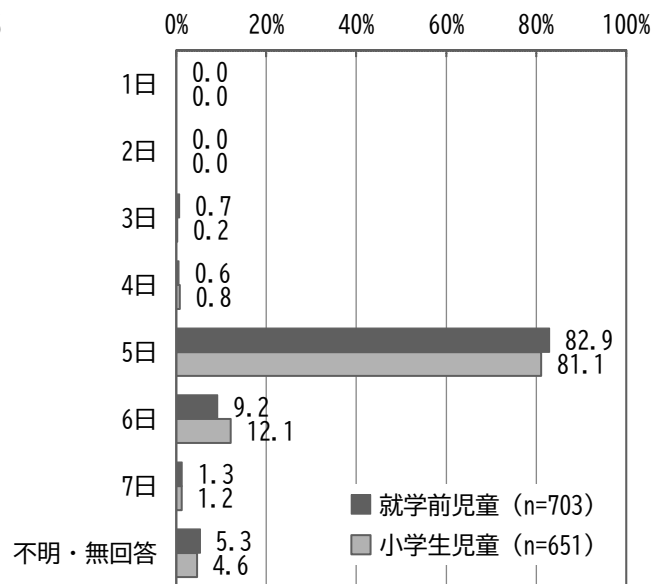
1週間の平均就労日数について、母親は、就学前・小学生ともに「5日」が最も高く、父親も同様の結果となっています。

■就労日数

【1】母親



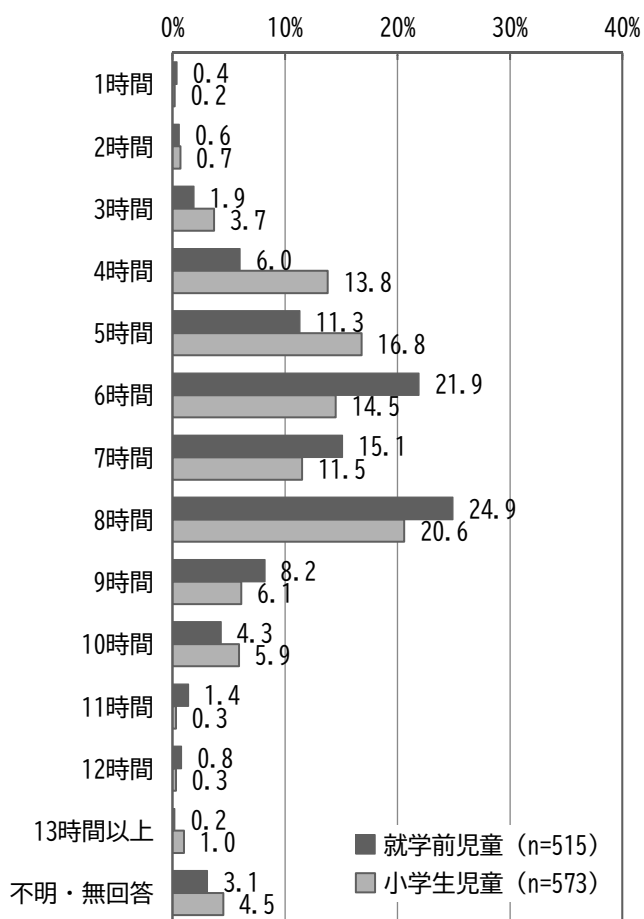
【2】父親



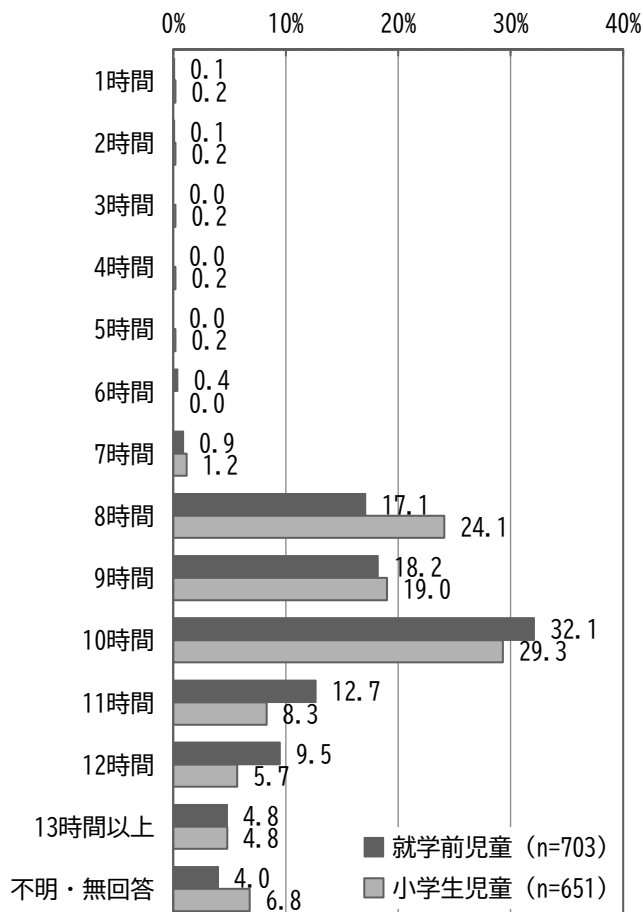
1日の平均就労時間について、母親は、就学前・小学生ともに「8時間」が最も高く、父親は、就学前・小学生ともに「10時間」が最も高くなっています。

■平均就労時間（残業含む）

【1】母親



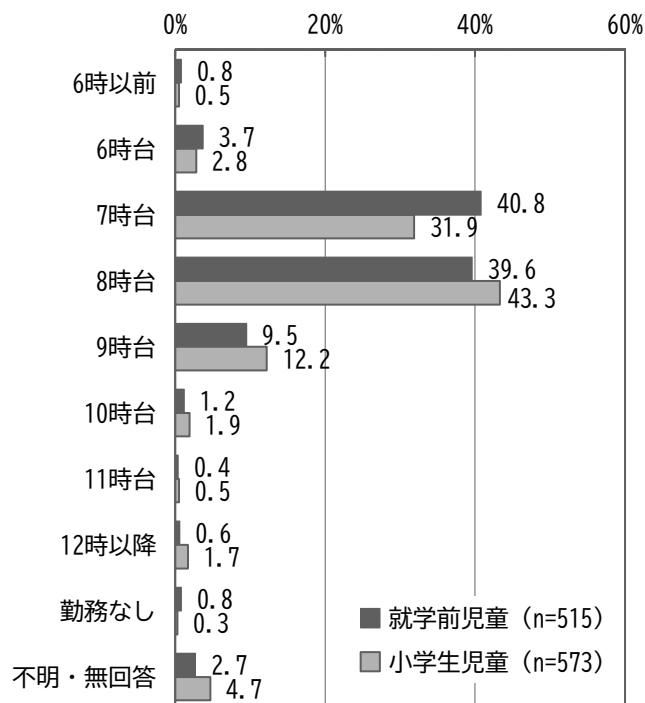
【2】父親



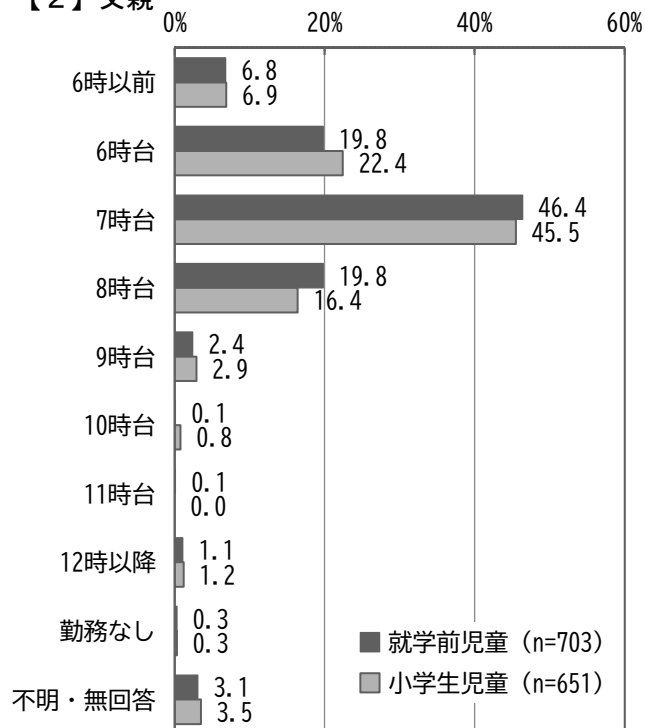
1 週間の平均的な平日の出勤時間について、母親は、就学前で「7 時台」、小学生で「8 時台」が最も高く、父親は、就学前・小学生ともに「7 時台」が最も高くなっています。

■平均的な出勤時間（平日）

【1】母親



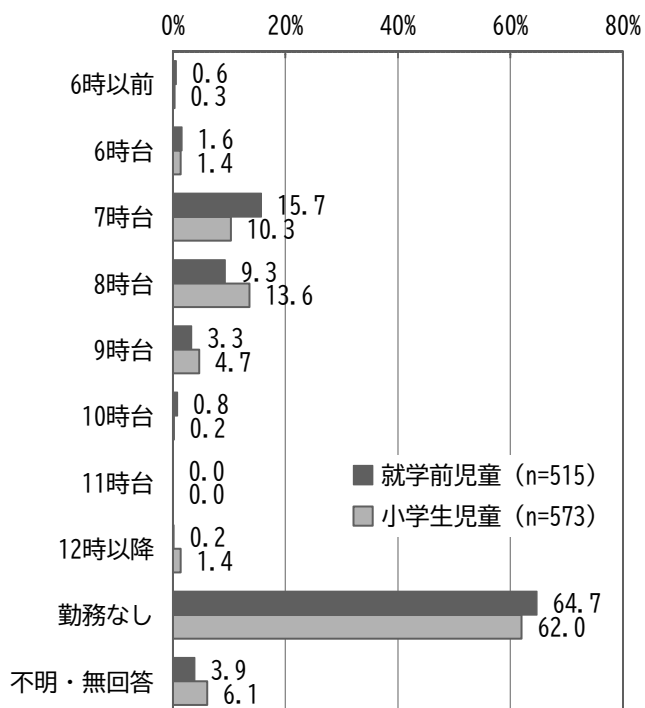
【2】父親



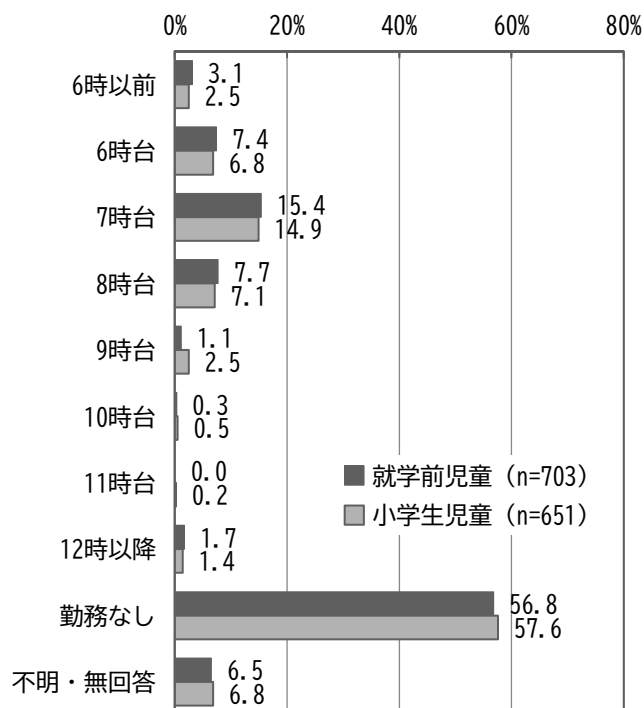
1 週間の平均的な土・日・祝日の出勤時間について、母親は、就学前・小学生ともに「勤務なし」が最も高く、出勤時間としては就学前で「7 時台」、小学生で「8 時台」が高くなっています。父親は、就学前・小学生ともに「勤務なし」が最も高く、出勤時間としては就学前・小学生ともに「7 時台」が高くなっています。

■平均的な出勤時間（土・日・祝日）

【1】母親



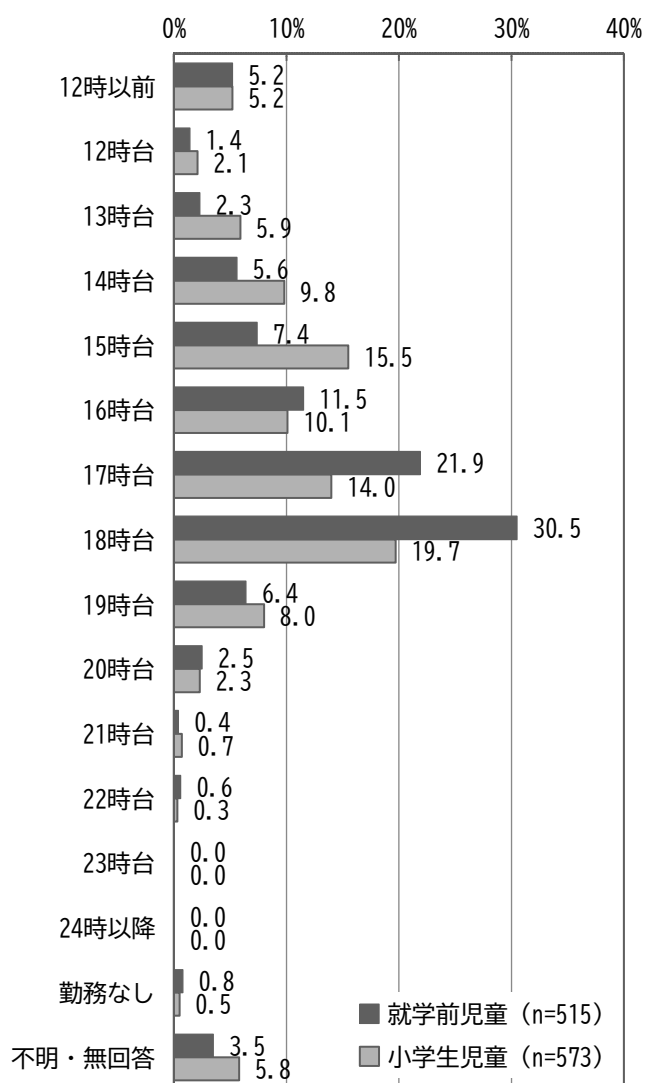
【2】父親



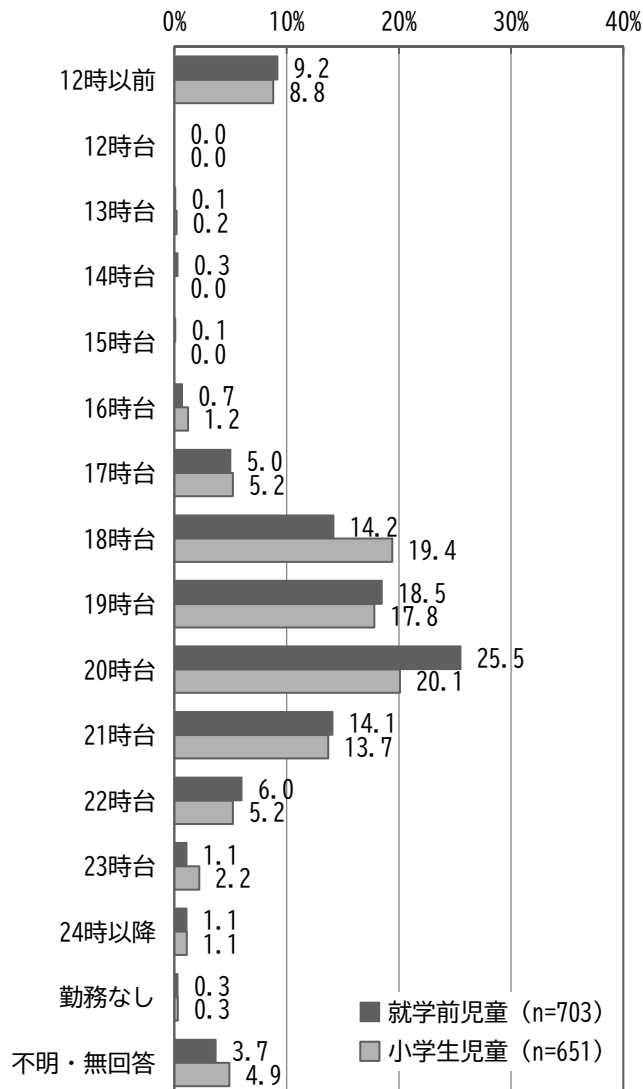
1 週間の平均的な平日の帰宅時間について、母親は、就学前・小学生ともに「18 時台」が最も高く、父親は就学前・小学生ともに「20 時台」が最も高くなっています。

■平均帰宅時間（平日）

【1】母親



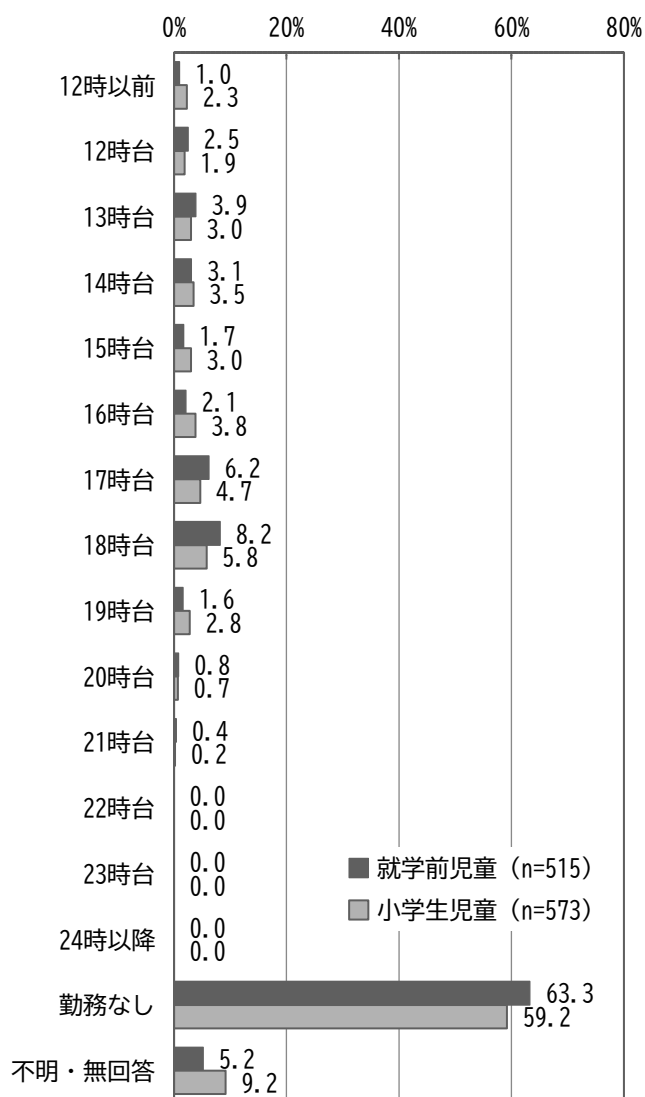
【2】父親



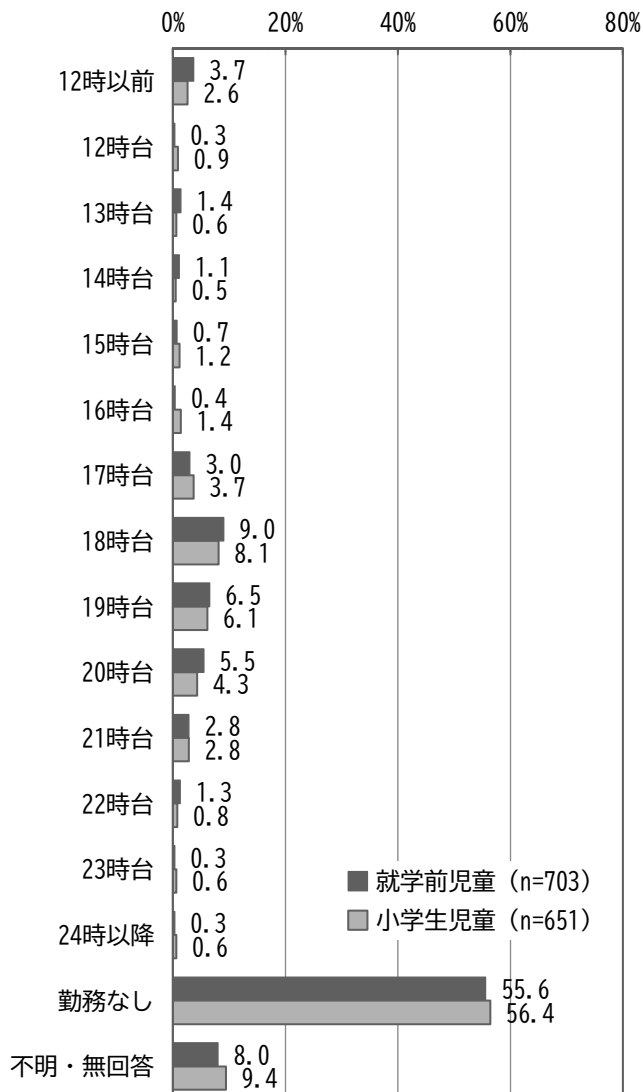
1 週間の平均的な土・日・祝日の帰宅時間について、母親は、就学前・小学生ともに「出勤なし」が最も高く、帰宅時間としては就学前・小学生ともに「18時台」が高くなっています。父親は、就学前・小学生ともに「出勤なし」が最も高く、帰宅時間としては就学前・小学生ともに「18時台」が高くなっています。

■平均帰宅時間（土・日・祝日）

【1】母親



【2】父親

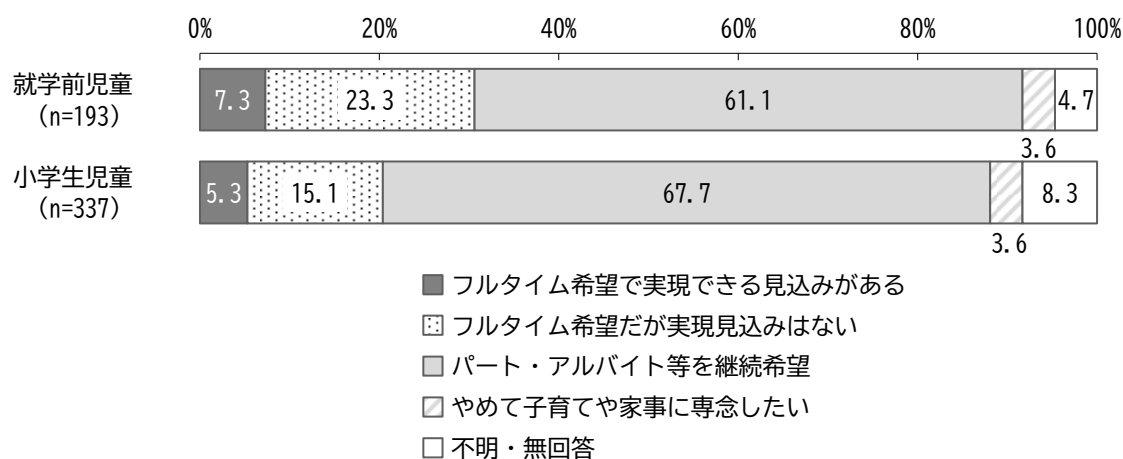


〔（現在、産休・育休等の休業中を含む）パート・アルバイト等で働いている方〕

フルタイムへの転換希望 〔前：問9（1）（2）⑤、小：問9（1）（2）⑤〕 〈単数回答〉

母親は、就学前・小学生ともに「パート・アルバイト等を継続希望」がそれぞれ61.1%、67.7%と最も高く、次いで「フルタイム希望だが実現見込みはない」となっています。

【1】母親



【2】父親

※就学前児童では「フルタイム希望だが実現見込みはない」が2件となっています。

小学生児童では回答はありませんでした。

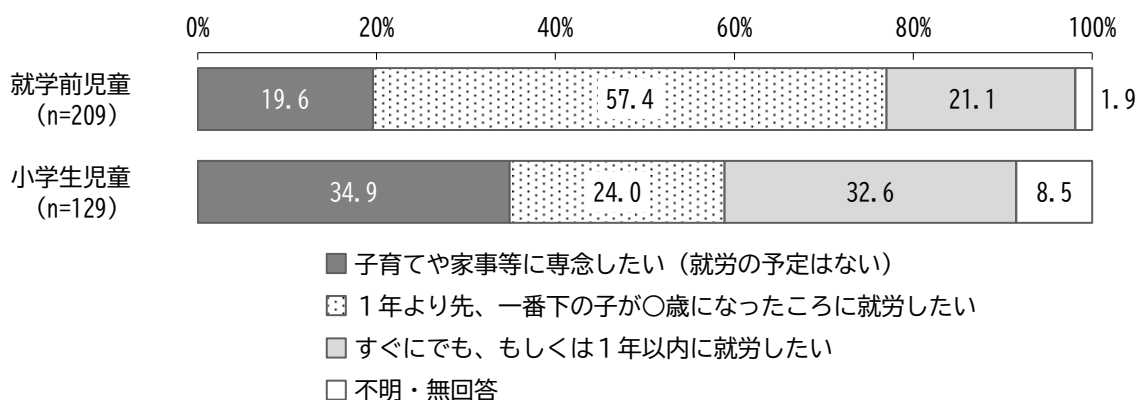
〔現在仕事をしていない方〕

今後の就労意向 〔前：問9（1）（2）①、小：問9（1）（2）①〕 〈単数回答〉

母親は、就学前で「1年より先、一番下の子が〇歳になったところに就労したい」が最も高くなっています。小学生で「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が高くなっています。

なお、『一番下の子どもの年齢』については、就学前で「3歳」が34.2%と最も高く、小学生で「10歳以上」が54.8%と最も高くなっています。

【1】母親



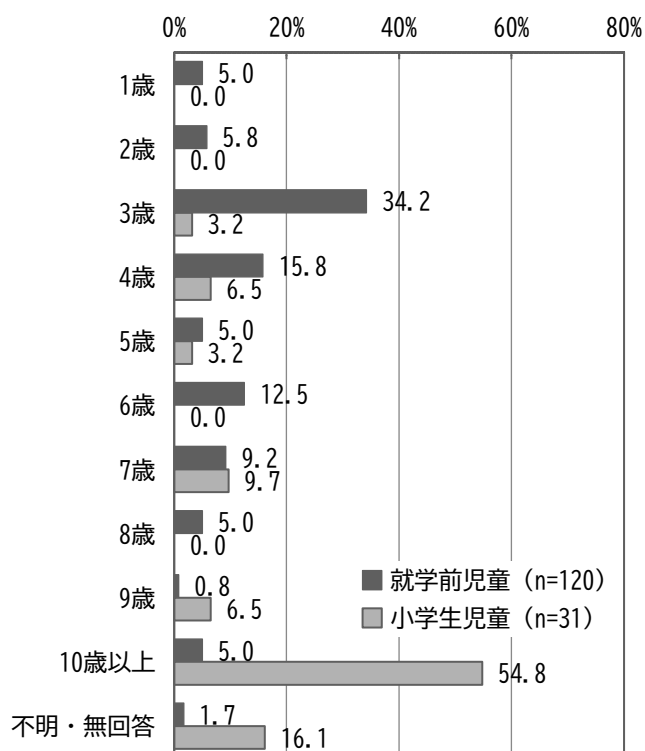
【2】父親

※就学前児童では「1年より先、一番下の子が〇歳になったところに就労したい」が1件、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件となっています。

小学生児童では「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」が3件、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件となっています。

■「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」の子どもの年齢

【1】母親



【2】父親

※就学前児童では「6歳」が1件となっています。

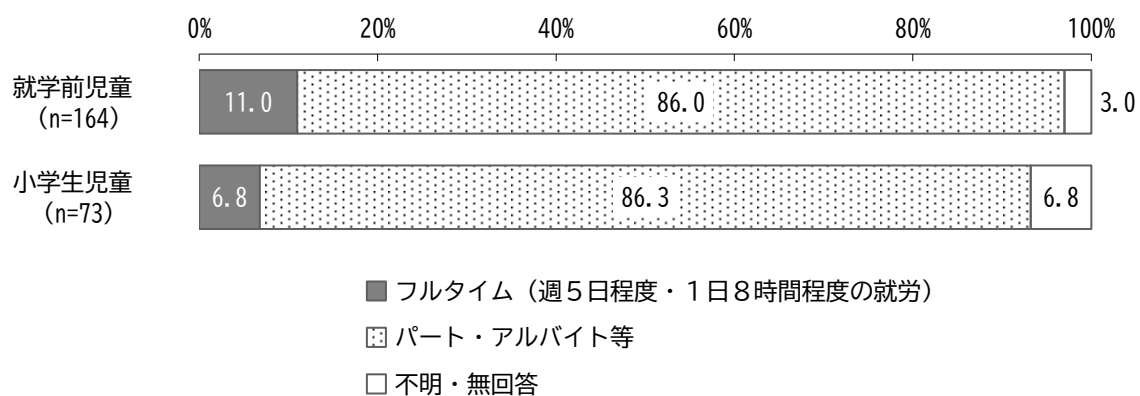
小学生児童では回答はありませんでした。

〔現在仕事をしていない方〕

希望する就労形態 〔前：問9（1）（2）②、小：問9（1）（2）②〕 〈単数回答〉

母親は、就学前・小学生ともに「パート・アルバイト等」がそれぞれ86.0％、86.3％と最も高くなっています。

【1】母親



【2】父親

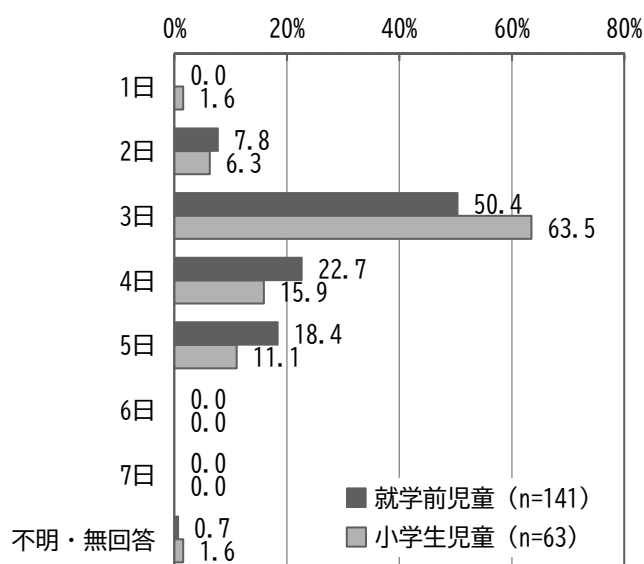
※就学前児童、小学生児童ともに「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）」が1件となっています。

「パート・アルバイト等」で希望する1週あたりの就労形態の就労日数については、就学前・小学生ともに「3日」がそれぞれ50.4%、63.5%と最も高くなっています。1日あたりの就労時間については、就学前・小学生ともに「4時間」がそれぞれ41.1%、42.9%と最も高くなっています。

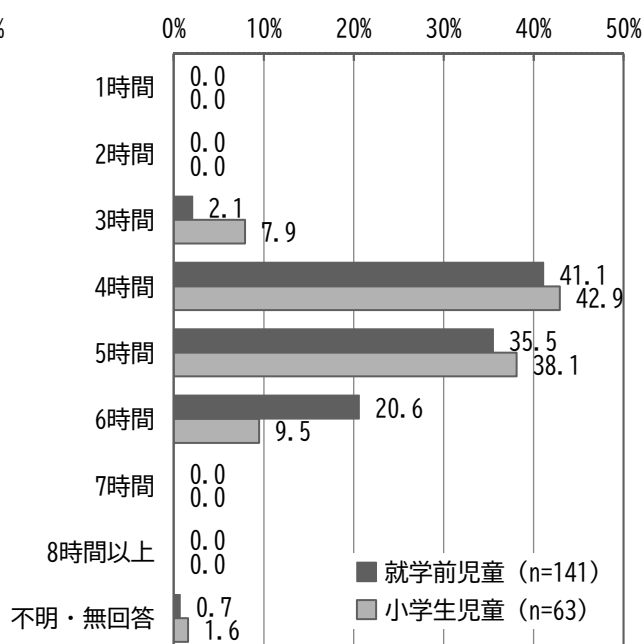
■「パート・アルバイト等」での希望する就労形態

【1】母親

1週あたりの希望就労日数



1日あたりの希望就労時間



【2】父親

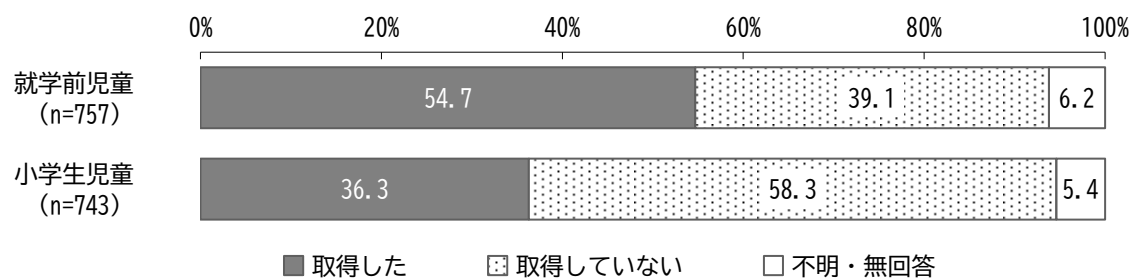
※1週あたりの希望就労日数について、就学前児童、小学生児童ともに回答はありませんでした。

1日あたりの希望就労時間について、就学前児童、小学生児童ともに回答はありませんでした。

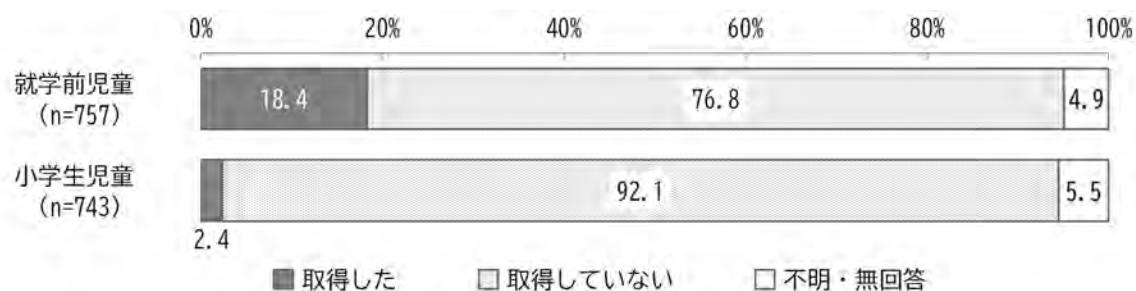
(2) 産休・育休等の休業について取得の有無 [前：問10、小：問10] <単数回答>

母親は、就学前で「取得した」が54.7%、「取得していない」が39.1%となっています。また、小学生で「取得した」が36.3%、「取得していない」が58.3%となっています。父親においては、就学前で「取得した」が18.4%、「取得していない」が76.8%となっています。また、小学生で「取得した」が2.4%、「取得していない」が92.1%となっています。

【1】母親



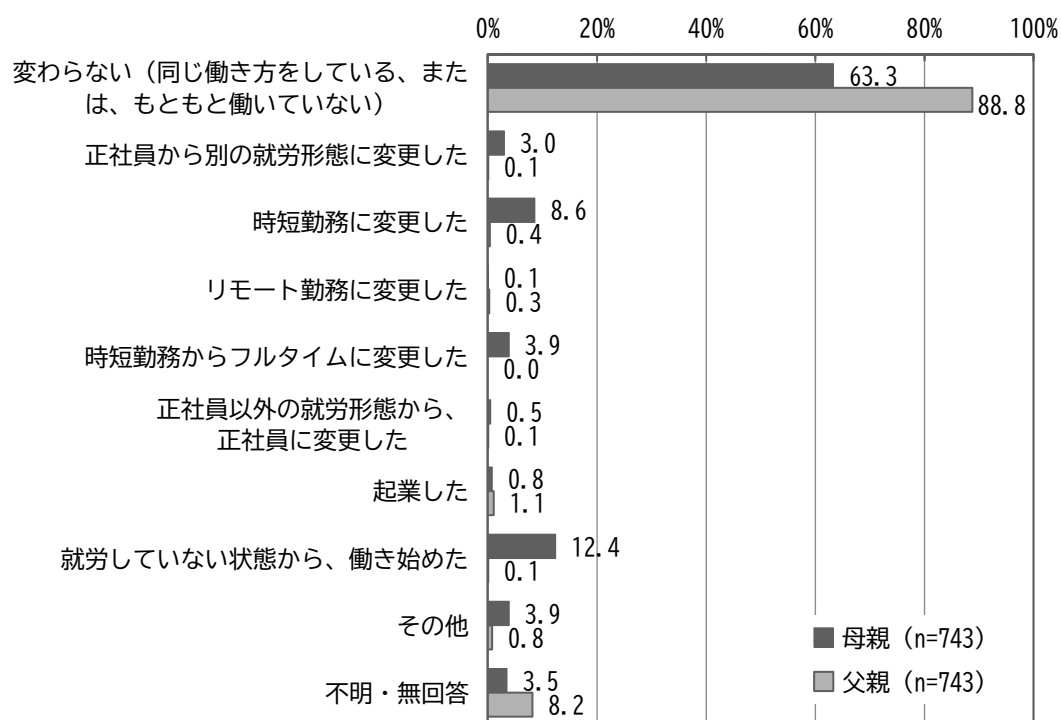
【2】父親



(3) 小学校入学前後の働き方の変化 [小：問 11] <単数回答>

母親は、「変わらない（同じ働き方をしている、または、もともと働いていない）」が最も高く、次いで「就労していない状態から、働き始めた」、「時短勤務に変更した」となっています。

父親は、「変わらない（同じ働き方をしている、または、もともと働いていない）」が最も高くなっています。



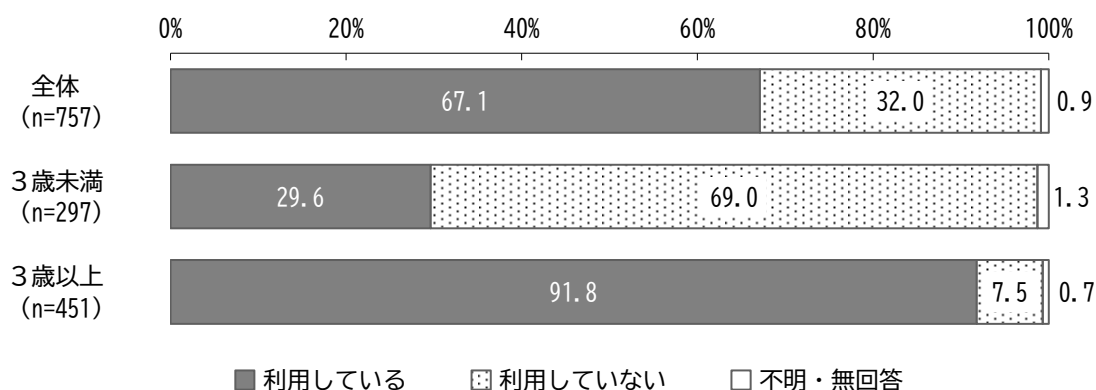
3. 定期的な幼児教育・保育事業の利用状況について

(1) 現在の、お子さんの定期的な幼児教育・保育事業の利用状況 [前：問11] <単数回答>

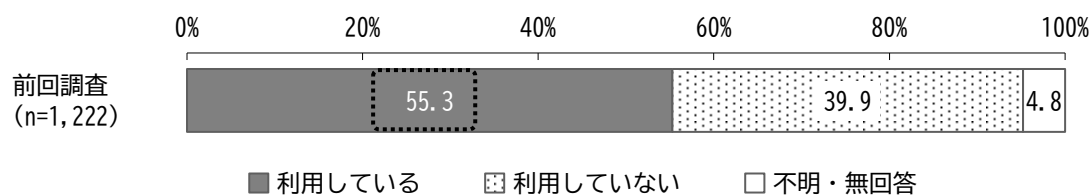
「利用している」が67.1%、「利用していない」が32.0%となっています。

子どもの年齢別でみると、「利用している」が3歳未満で29.6%、3歳以上で91.8%となっています。

前回調査と比較すると、「利用している」が11.8ポイント高くなっています。



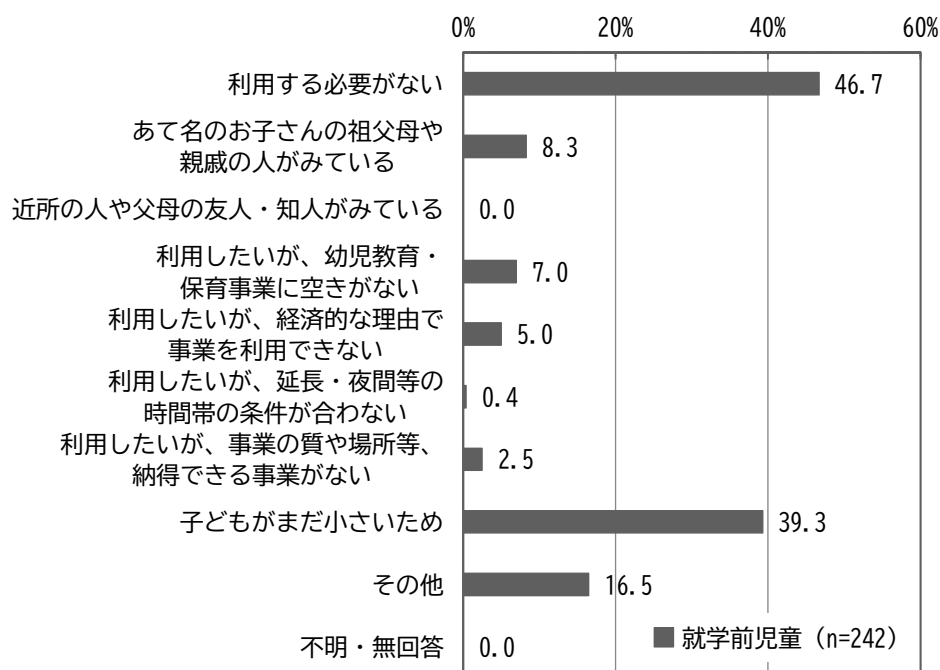
◆ 前回調査



〔定期的な幼児教育・保育事業を利用していない方〕

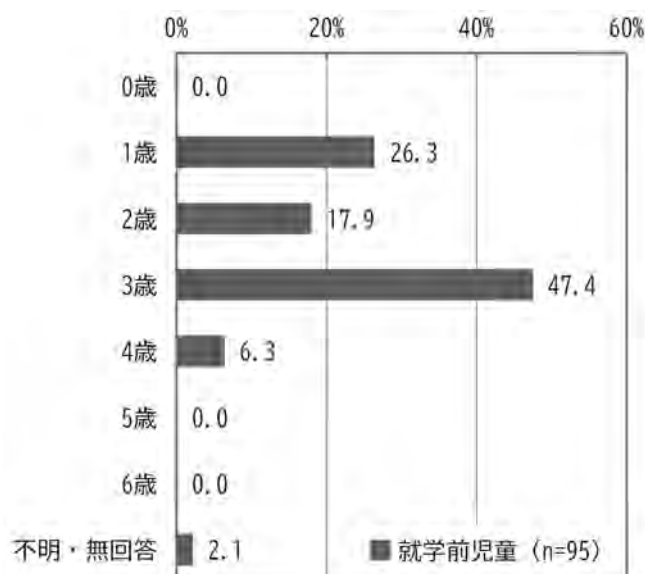
(2) 利用していない理由 〔前：問 11-1〕 〈複数回答〉

「利用する必要がある」が46.7%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」が39.3%、「その他」が16.5%となっています。



『利用しようと思う子どもの年齢』については、「3歳」が47.4%と最も高く、次いで「1歳」が26.3%、「2歳」が17.9%となっています。

■ 「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている」の子どもの年齢

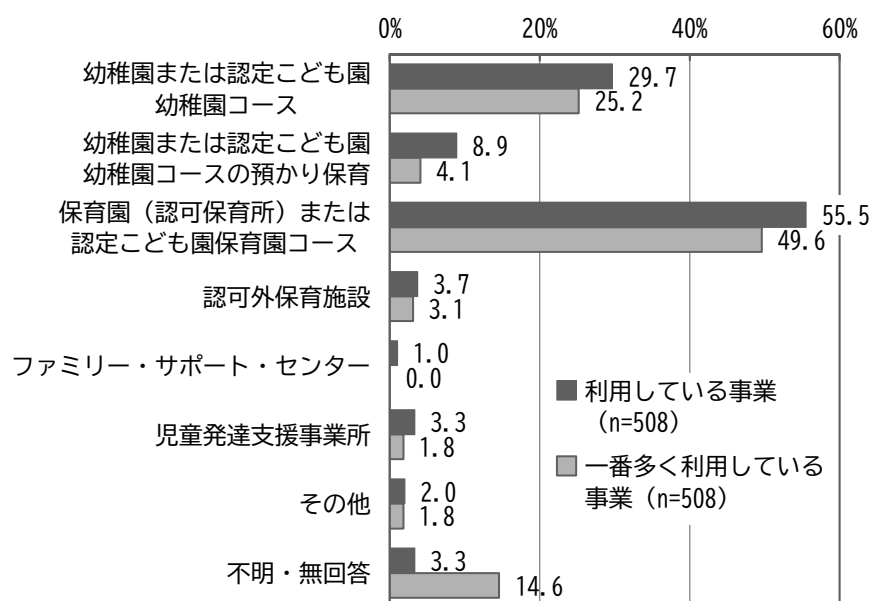


〔定期的な幼児教育・保育事業を利用している方〕

(3) 定期的にご利用している幼児教育・保育事業 〔前：問 11-2〕 〈複数回答・数量回答〉

定期的にご利用している幼児教育・保育事業は、「保育園（認可保育所）または認定こども園保育園コース」が55.5%と最も高く、次いで「幼稚園または認定こども園幼稚園コース」が29.7%、「幼稚園または認定こども園幼稚園コースの預かり保育」が8.9%となっています。

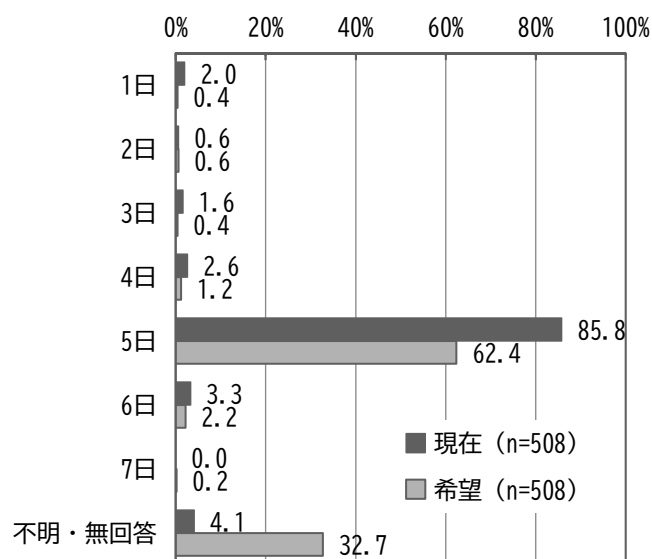
一番多く利用している事業においても「保育園（認可保育所）または認定こども園保育園コース」が49.6%と最も高く、次いで「幼稚園または認定こども園幼稚園コース」が25.2%、「幼稚園または認定こども園幼稚園コースの預かり保育」が4.1%となっています。



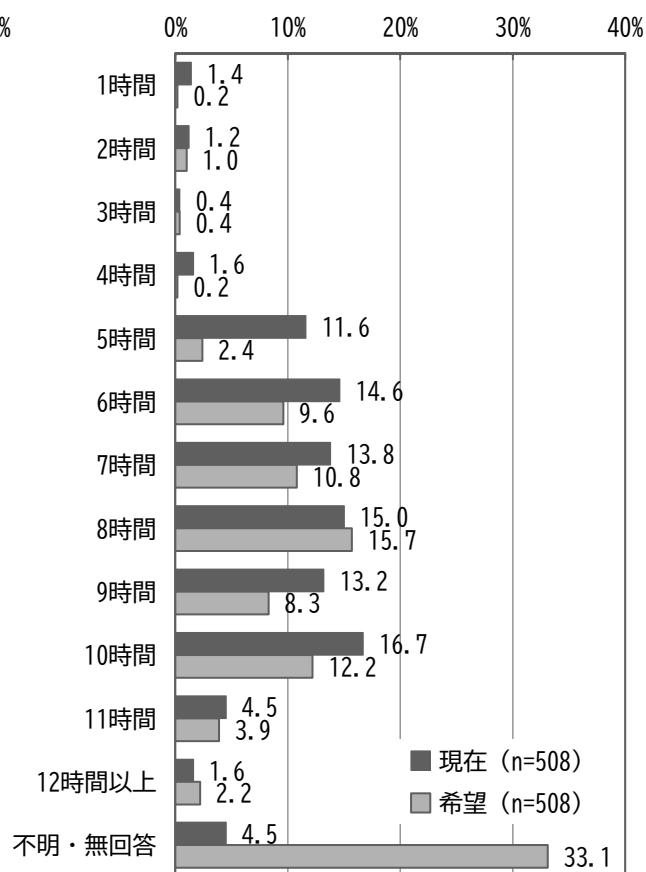
1 週あたりの利用状況では現在、希望ともに「5 日」がそれぞれ 8 5 . 8 %、6 2 . 4 %と最も高くなっています。

1 日あたりの利用時間では、現在では「1 0 時間」が 1 6 . 7 %、希望では「8 時間」が 1 5 . 7 %と、それぞれ最も高くなっています。

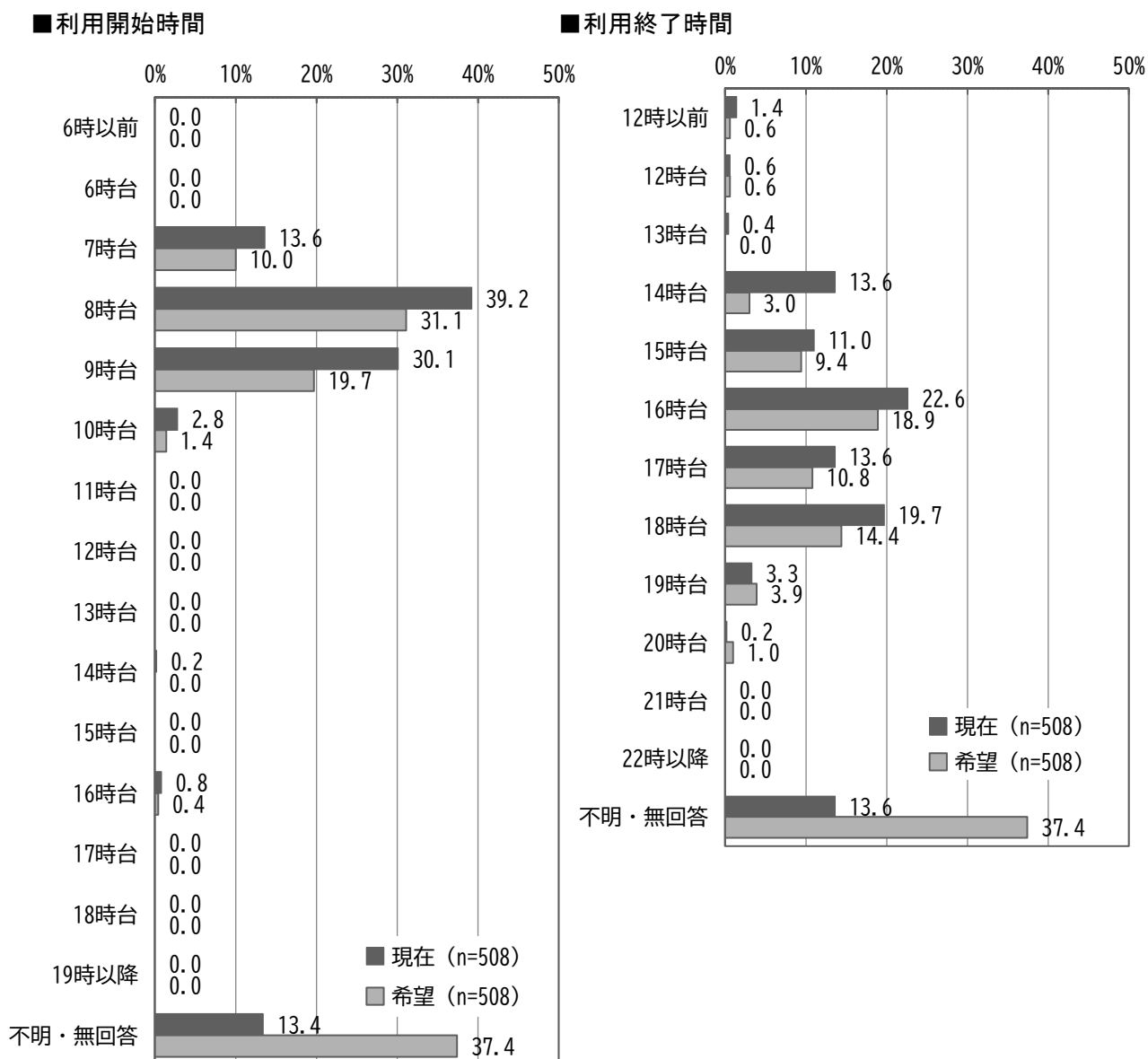
■ 1 週あたりの利用状況



■ 1 日あたりの利用時間



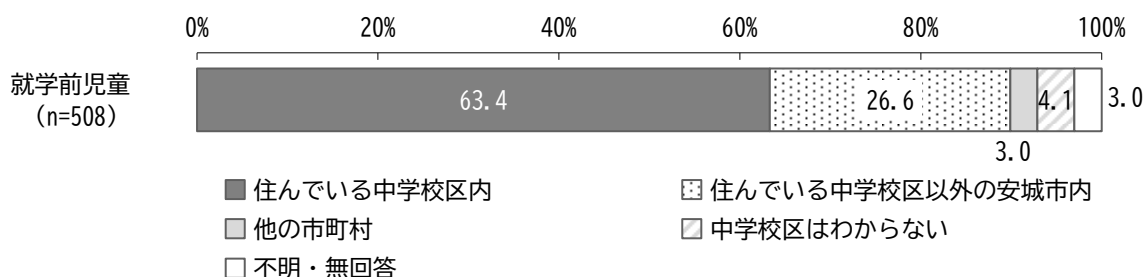
利用開始時間では現在、希望ともに「8時台」が、利用終了時間では現在、希望ともに「16時台」がそれぞれ最も高くなっています。



〔定期的な幼児教育・保育事業を利用している方〕

(4) 現在利用している事業の実施場所 〔前：問 11-3〕 〈単数回答〉

「住んでいる中学校区内」が63.4%と最も高く、次いで「住んでいる中学校区以外の安城市内」が26.6%、「中学校区はわからない」が4.1%となっています。

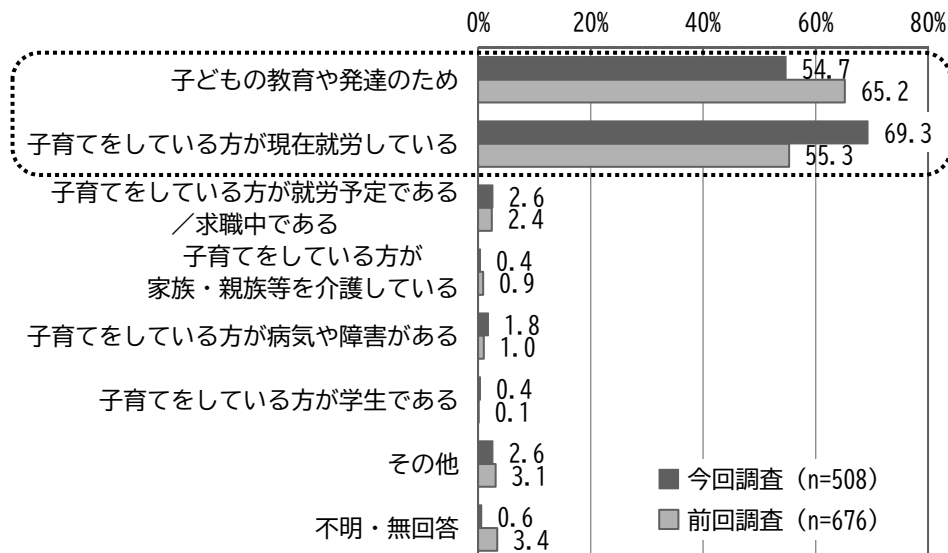


〔定期的な幼児教育・保育事業を利用している方〕

(5) 定期的に利用している理由 〔前：問 11-4〕 〈複数回答〉

「子育てをしている方が現在就労している」が69.3%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が65.2%、「子育てをしている方が就労予定である／求職中である」が55.3%となっています。

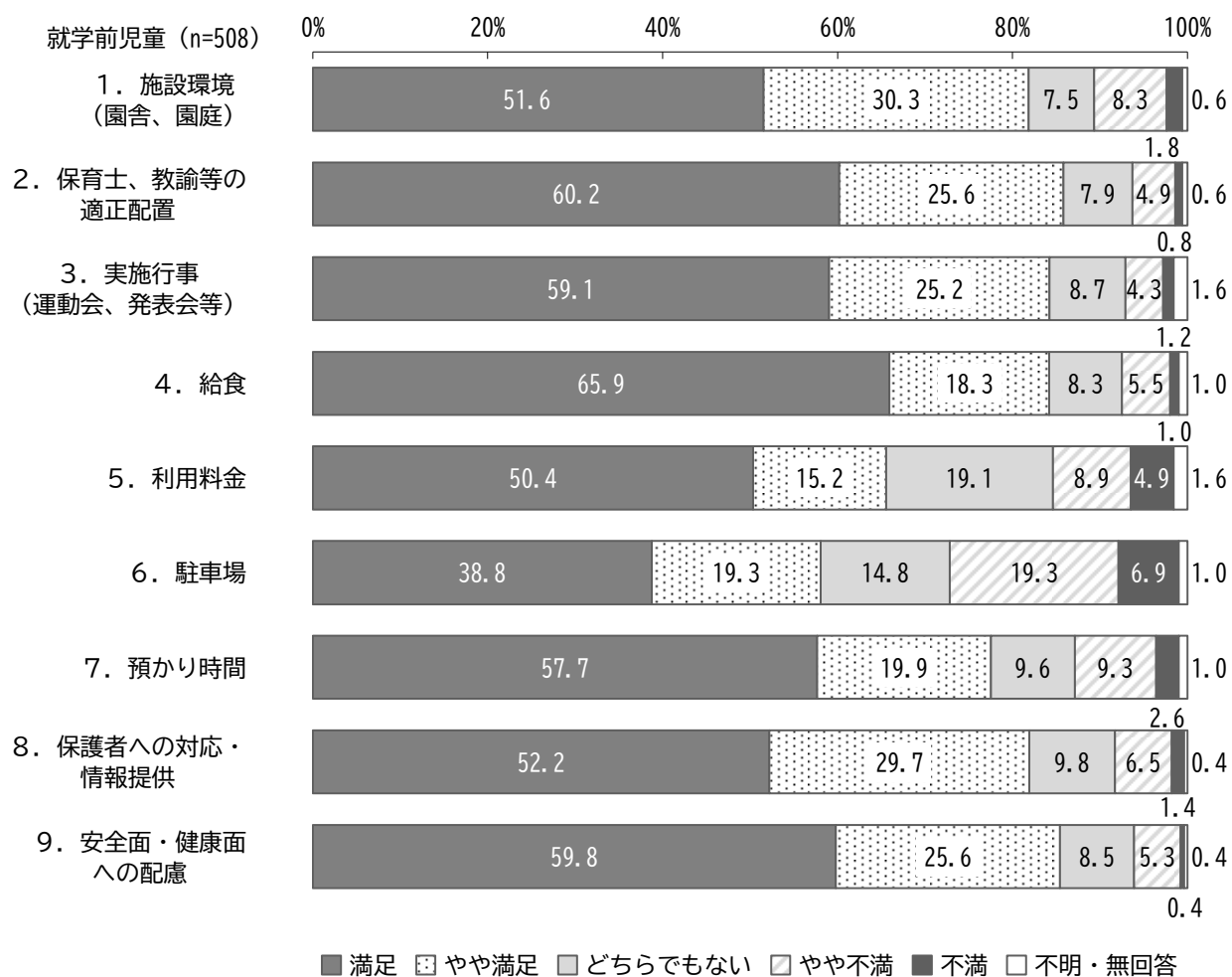
前回調査と比較すると、「子育てをしている方が現在就労している」が14.0ポイント高くなっている一方で、「子どもの教育や発達のため」が10.5ポイント低くなっています。



〔定期的な幼児教育・保育事業を利用している方〕

(6) 利用している施設の満足度 〔前：問 11-5〕 〈単数回答〉

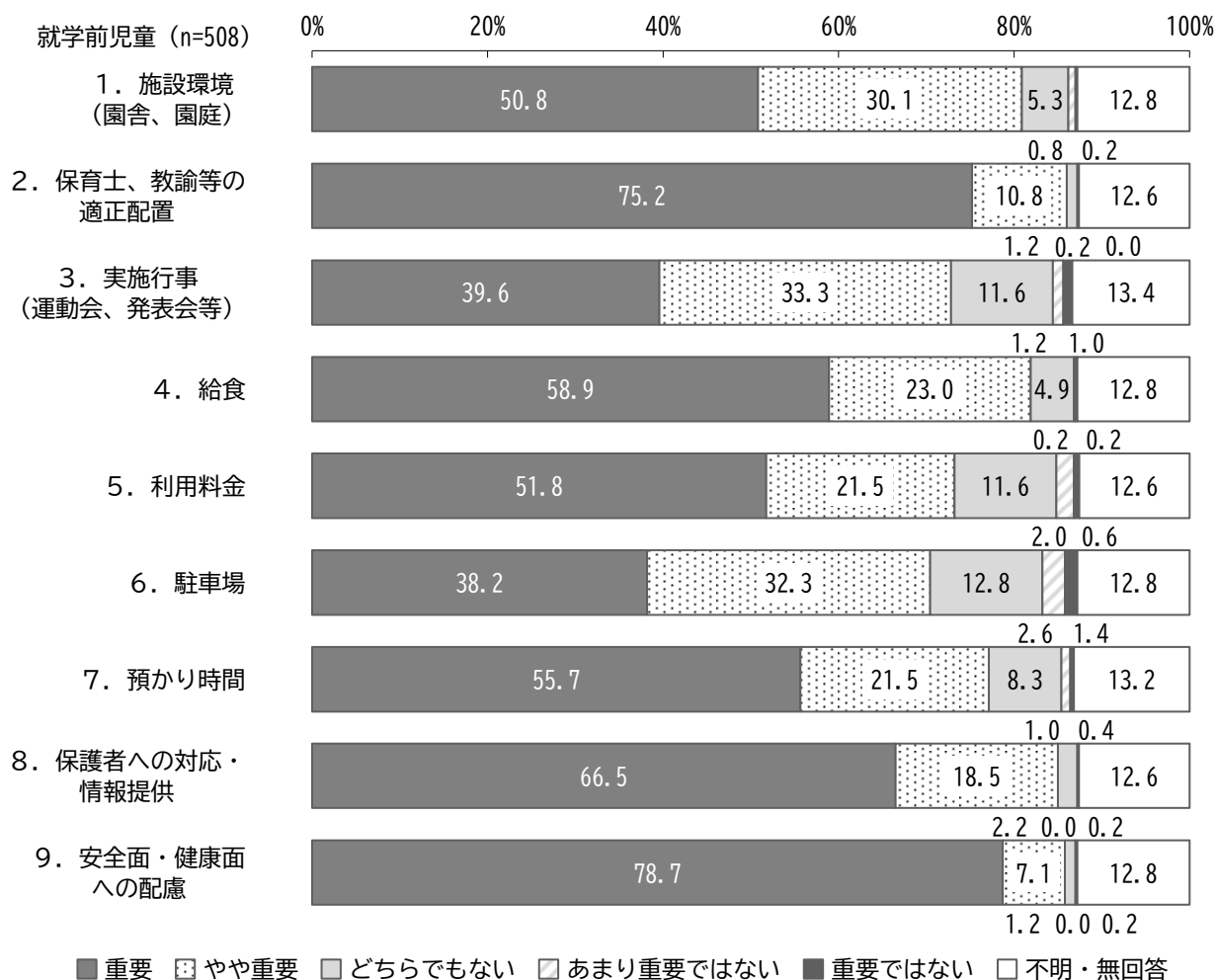
『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）では、〔5. 利用料金〕〔6. 駐車場〕の割合がそれぞれ6割前後と、他の項目に比べてやや低くなっています。



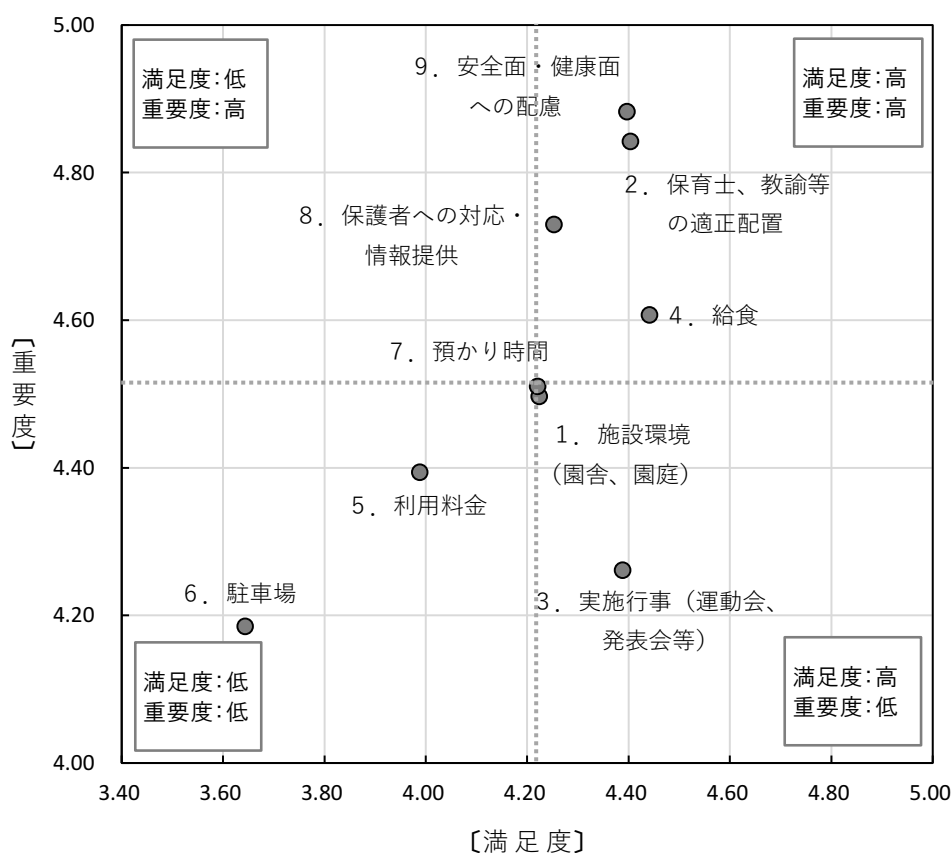
〔定期的な幼児教育・保育事業を利用している方〕

(7) 利用している施設の重要度 〔前：問 11-5〕 〈単数回答〉

『重要』（「重要」と「やや重要」の合計）では、いずれの項目も7割以上となっています。



満足度・重要度ともに高い項目は、〔2. 保育士・教諭等の適正配置〕〔4. 給食〕〔8. 保護者への対応・情報提供〕〔9. 安全面・健康面への配慮〕となっています。一方で、満足度・重要度ともに低い項目は、〔5. 利用料金〕〔6. 駐車場〕となっています。



《加重平均》

全9項目の平均点は、満足度で4.22、重要度で4.55となっており、全体では、満足度よりも重要度が高い結果となりました。

	満足度	重要度
1. 施設環境（園舎、園庭）	4.22	4.50
2. 保育士、教諭等の適正配置	4.40	4.84
3. 実施行事（運動会、発表会等）	4.39	4.26
4. 給食	4.44	4.61
5. 利用料金	3.99	4.39
6. 駐車場	3.64	4.19
7. 預かり時間	4.22	4.51
8. 保護者への対応・情報提供	4.25	4.73
9. 安全面・健康面への配慮	4.40	4.88
全体	4.22	4.55

加重平均とは…

全9項目について、「満足度」「重要度」ともに5段階評価で、各点数にその点数の回答者数を乗じ、点数ごとに算出した値の合計を総回答者数で割って算出したものを、それぞれの項目の指数とします。

●指数化の設定

現状の満足度	
満足	5点
やや満足	4点
どちらでもない	3点
やや不満	2点
不満	1点

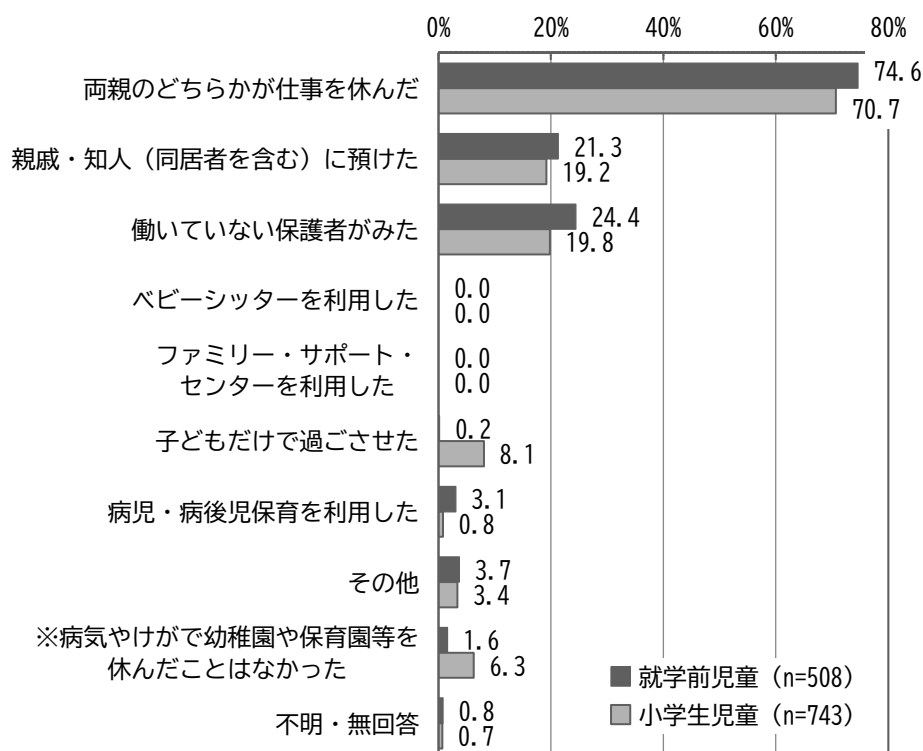
今後の重要度	
重要	5点
やや重要	4点
どちらでもない	3点
あまり重要ではない	2点
重要ではない	1点

〔定期的な幼児教育・保育事業を利用している方〕

(8) この1年間に、お子さんが病気やけがで幼稚園や保育園等を休んだときの対処法

〔前：問12、小：問13〕 〈複数回答〉

就学前・小学生ともに「両親のどちらかが仕事を休んだ」がそれぞれ74.6%、70.7%と最も高く、次いで「働いていない保護者がみた」、「親戚・知人（同居者を含む）に預けた」となっています。



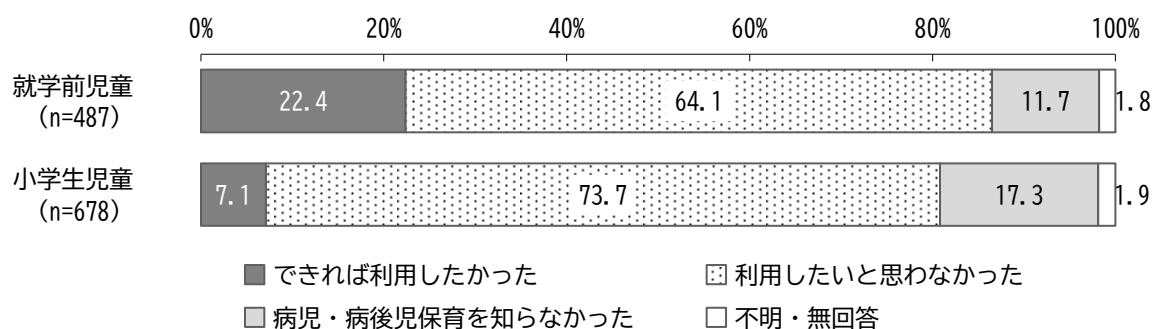
※小学生調査では選択肢が「病気やけがで小学校を休んだことはなかった」となっています。

〔病児・病後児保育を利用していない方〕

(9) 病児・病後児保育を利用したかったか

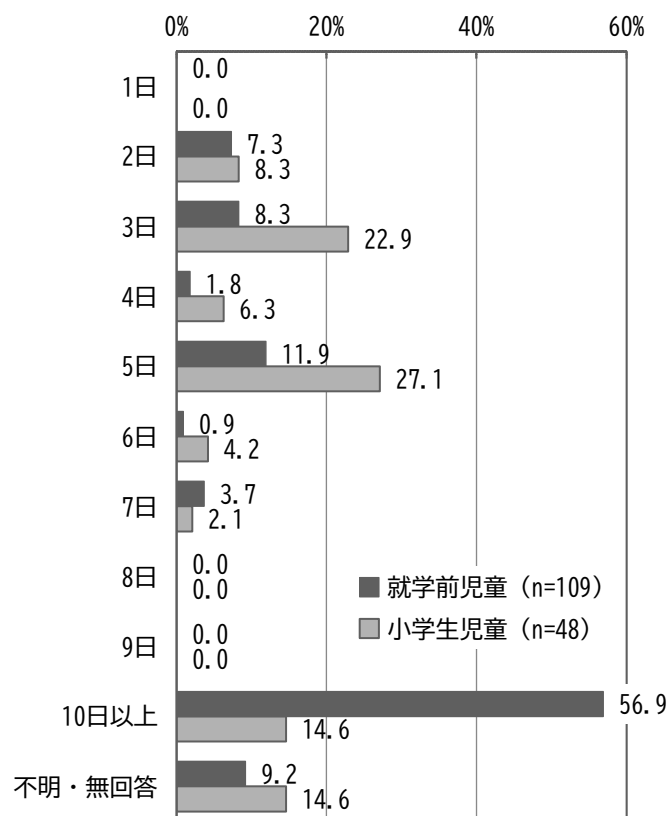
〔前：問12-1、小：問13-1〕 〈単数回答・数量回答〉

就学前・小学生ともに「利用したいと思わなかった」がそれぞれ64.1%、73.7%と最も高くなっています。



就学前では、「10日以上」が56.9%と最も高く、次いで「5日」が11.9%、「3日」が8.3%となっています。小学生では、「5日」が27.1%と最も高く、次いで「3日」が22.9%、「10日以上」が14.6%となっています。

■利用したいと思った日数（年間）

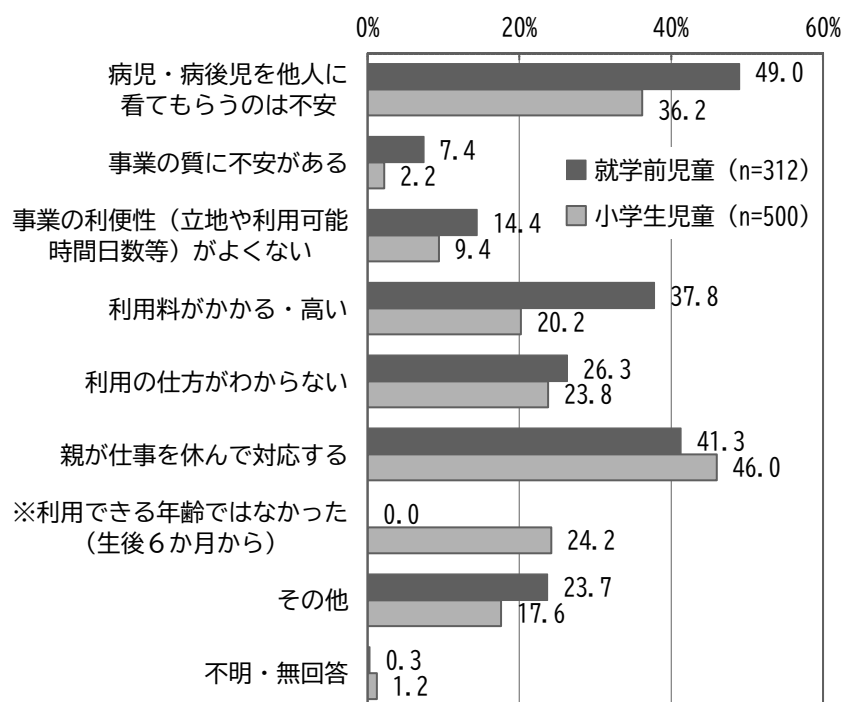


〔病児・病後児保育を利用したいと思わなかった方〕

(10) 利用したいと思わなかった理由 [前：問 12-2、小：問 13-2] <複数回答>

就学前では、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 49.0%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が 41.3%、「料金がかかる・高い」が 37.8%となっています。

小学生では、「親が休んで対応する」が 46.0%と最も高く、次いで、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 36.2%となっています。



※小学生児童では選択肢が「利用できる年齢ではなかった（小学校3年生まで）」となっています。

◆その他回答（就学前児童） ※主なものを抜粋

回答内容
母親等が仕事を休むことができるため
母親等が自宅でみることができるため
実家を頼ることができるため
体調が悪い時に普段と違うところに預けることが不安である・こどもがかわいそう
医師のサインが必要であり、病院に行ってから預けるのでは遅刻するため
感染症にかかる恐れがある、他の病気をもらってくるのではないかと不安
こどもが体調不良の時はできる限りそばにいてあげたい
弁当等の準備が大変であるため
こどもに障がいがあるため
場所が遠い
登録の負担があることや早朝からやっていない

◆その他回答（小学生児童）

回答内容
母親等が仕事を休むことができるため
母親等が自宅でみることができるため
実家を頼ることができるため
在宅勤務が可能であるため

回答内容
出勤時間が早いので預け場所まで送ることが困難
こども自身が希望しないため
事前の登録や医師の書類などが負担、利用時間が短い
こどもが病気の際はそばにいてあげたいため
感染症にかかる恐れがある、他の病気をもらってくるのではないかと不安
送迎できる時間がないため
こどもに知的障害、自閉症があるため
場所が不便であるため

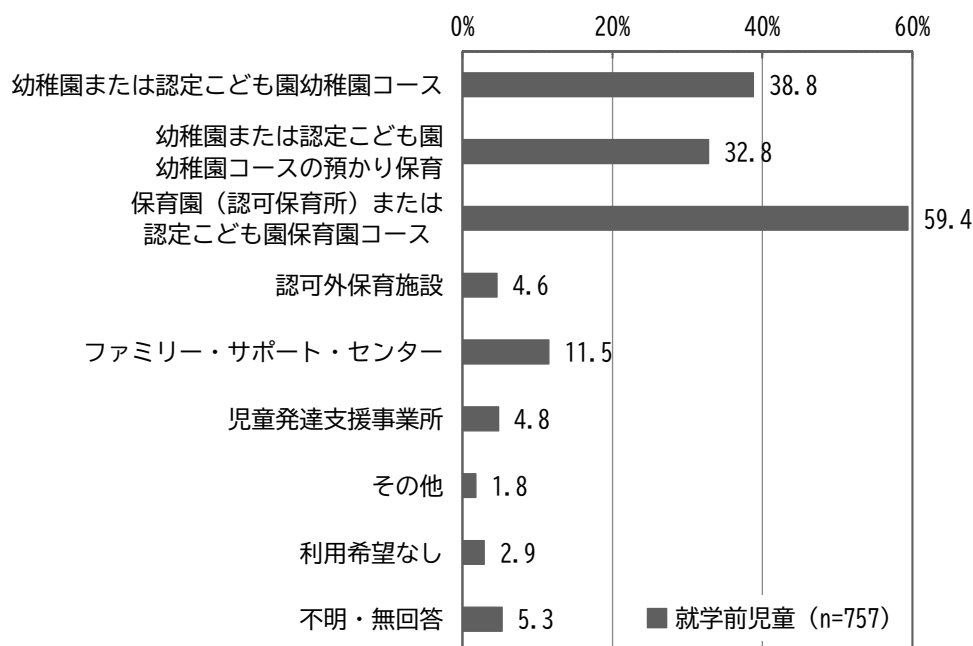
4. 定期的に利用したい幼児保育・保育事業について

※就学前児童のみ

(1) お子さんの幼児教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業

〔前：問13〕 〈複数回答〉

「保育園（認可保育所）または認定こども園保育園コース」が59.4%と最も高く、次いで「幼稚園または認定こども園幼稚園コース」が38.8%、「幼稚園または認定こども園幼稚園コースの預かり保育」が32.8%となっています。

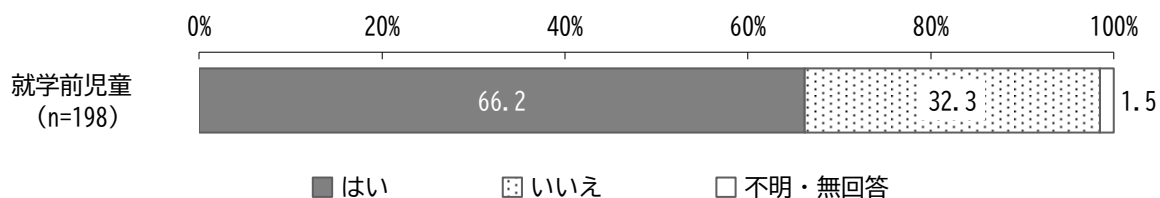


〔幼児保育・保育事業を「定期的に」利用したいと考える事業がある方〕

(2) 幼稚園または認定こども園幼稚園コースの利用希望

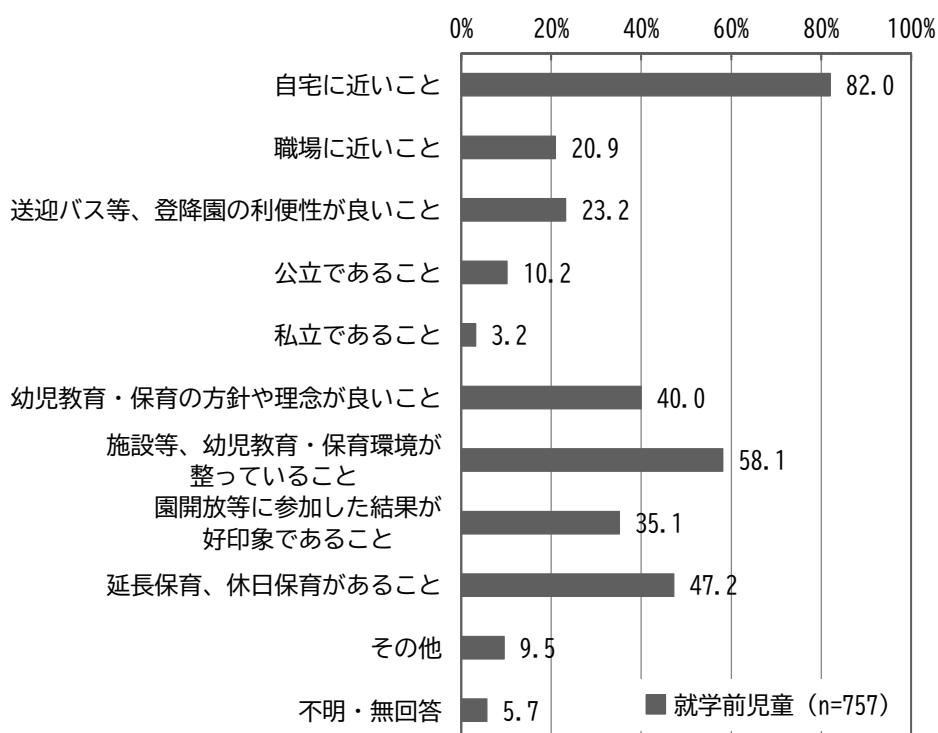
〔前：問13-1〕 〈単数回答〉

「はい」が66.2%、「いいえ」が32.3%となっています。



(3) 幼稚園・保育園・認定こども園等を選ぶ視点 [前：問 14] <複数回答>

「自宅に近いこと」が 82.0%と最も高く、次いで「施設等、幼児教育・保育環境が整っていること」が 58.1%、「延長保育、休日保育があること」が 47.2%となっています。



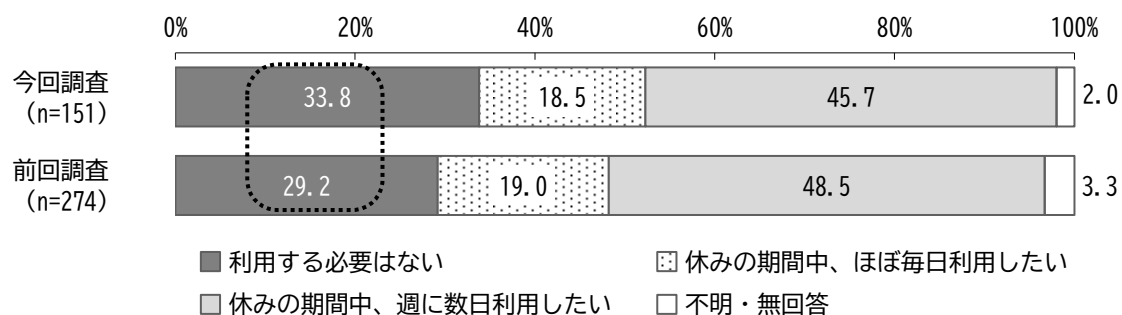
[幼稚園または認定こども園幼稚園コースに通園している方]

(4) 長期休暇期間中の幼稚園または認定こども園幼稚園コースの利用希望

[前：問 15] <単数回答・複数回答・数量回答>

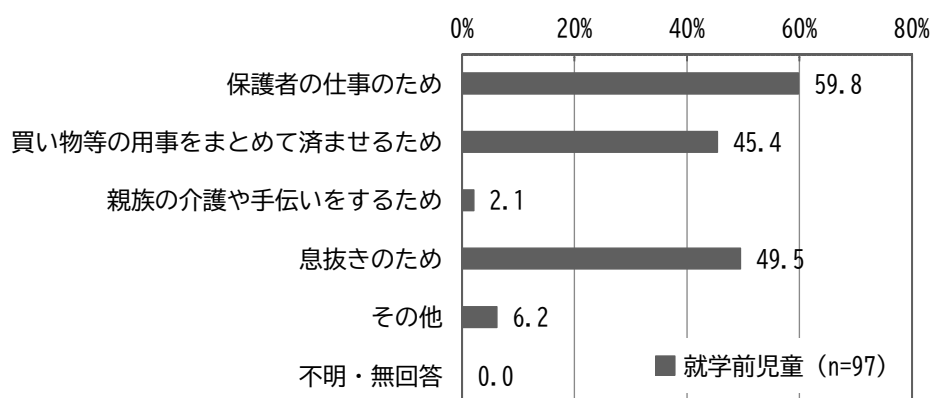
「利用する必要はない」が 33.8%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 18.5%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 45.7%となっています。

前回調査と比較すると、「利用する必要はない」が 4.6ポイント高くなっています。



「保護者の仕事のため」が59.8%と最も高く、次いで「息抜きのため」が49.5%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が45.4%となっています。

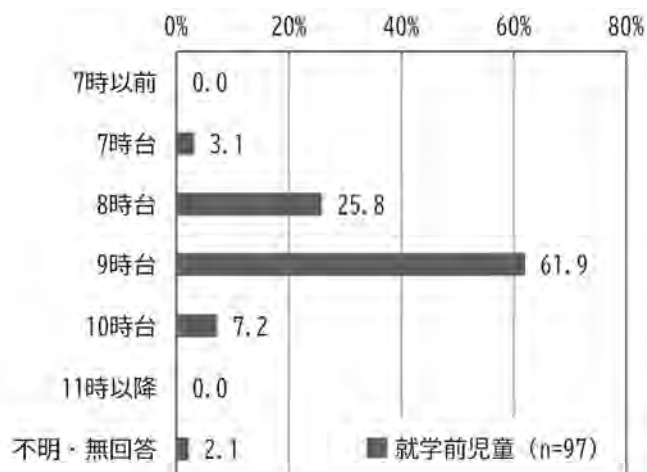
■利用したい理由



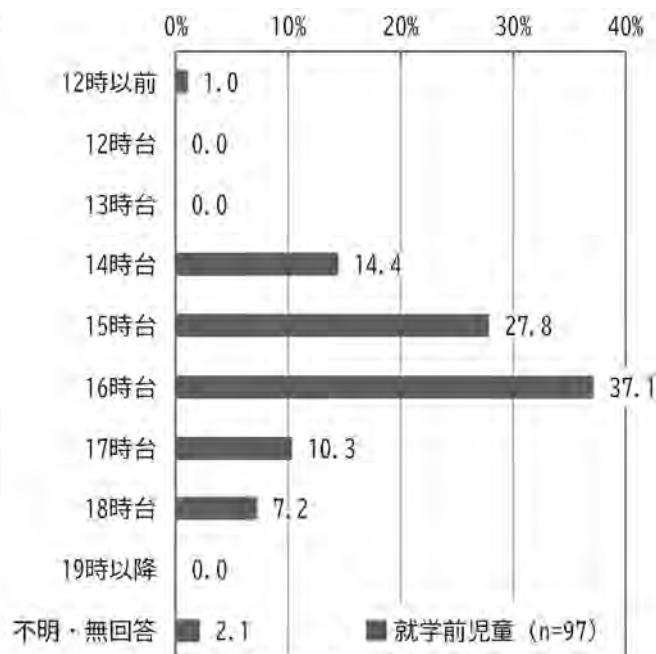
利用開始時間は、「9時台」が61.9%と最も高く、次いで「8時台」が25.8%、「10時台」が7.2%となっています。

利用終了時間は、「16時台」が37.1%と最も高く、次いで「15時台」が27.8%、「14時台」が14.4%となっています。

■利用開始時間



■利用終了時間



5. 子育て支援事業の利用について

※就学前児童のみ

(1) 現在の地域子育て支援事業の利用状況 [前：問16] <複数回答・数量回答>

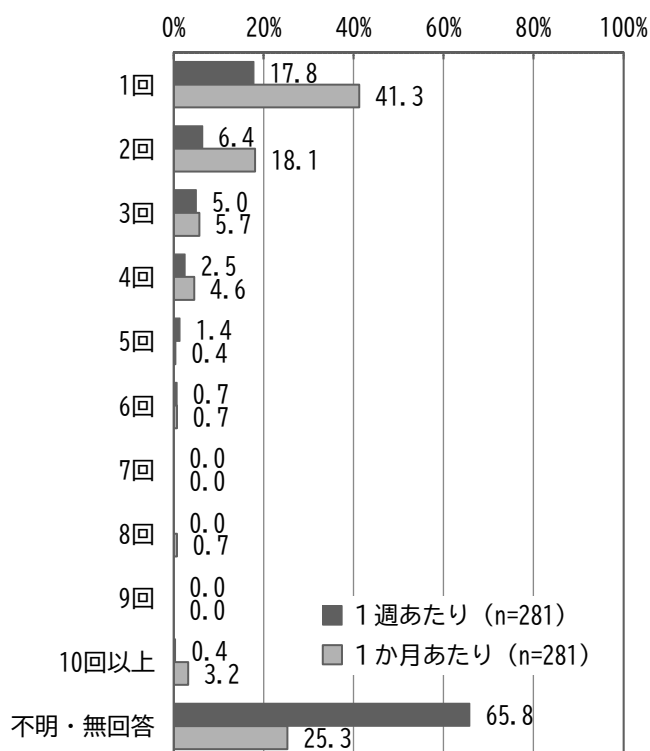
「安城市における子育て支援事業」が37.1%、「その他安城市で実施している類似事業」が6.9%、「利用していない」が60.5%となっています。

地域子育て支援拠点事業の1週あたりの利用回数、1か月あたりの利用回数ともに「1回」が、それぞれ17.8%、41.3%と最も高くなっています。

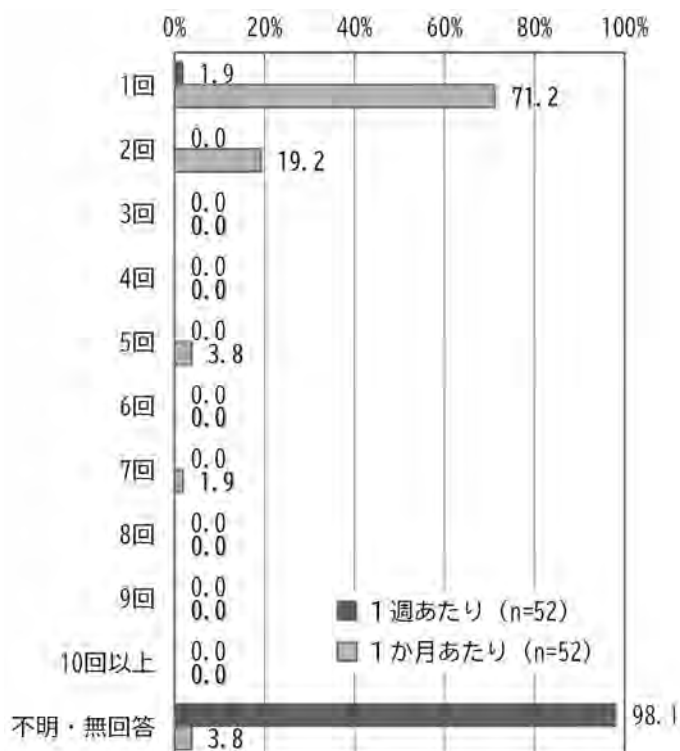
その他安城市で実施している類似事業でも、1週あたりの利用回数、1か月あたりの利用回数ともに「1回」が、それぞれ1.9%、71.2%と最も高くなっています。



■ 地域子育て支援拠点事業



■ その他安城市で実施している類似事業

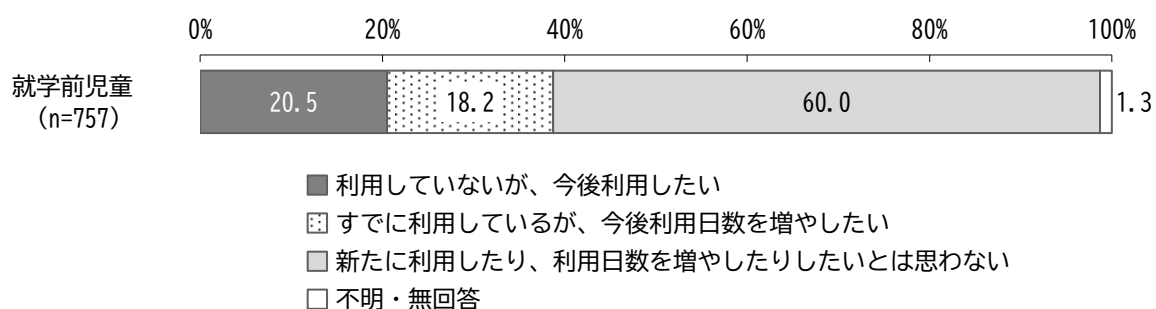


(2) 地域子育て支援事業の今後の利用意向 [前：問17] <単数回答・数量回答>

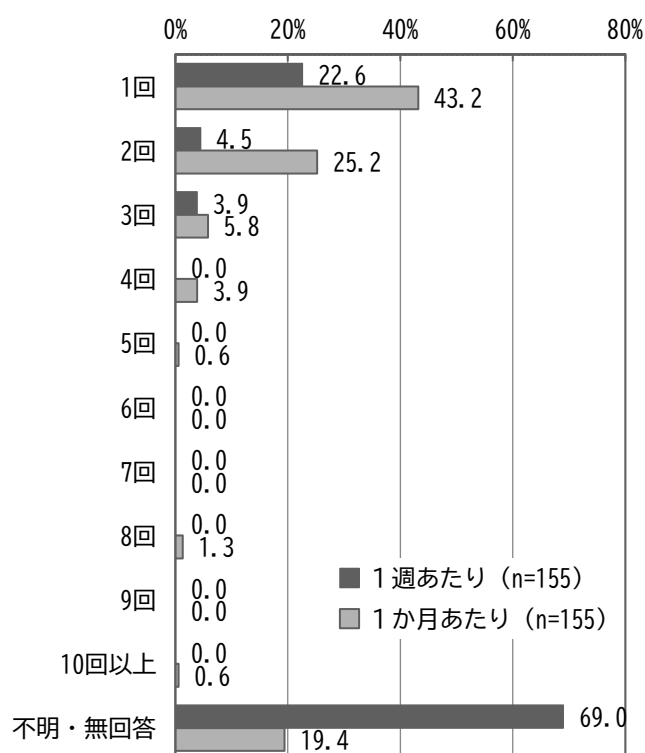
「利用していないが、今後利用したい」が20.5%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が18.2%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が60.0%となっています。

「利用していないが、今後利用したい」方の利用希望回数は、1週あたりの利用回数、1か月あたりの利用回数ともに「1回」が、それぞれ22.6%、43.2%と最も高くなっています。

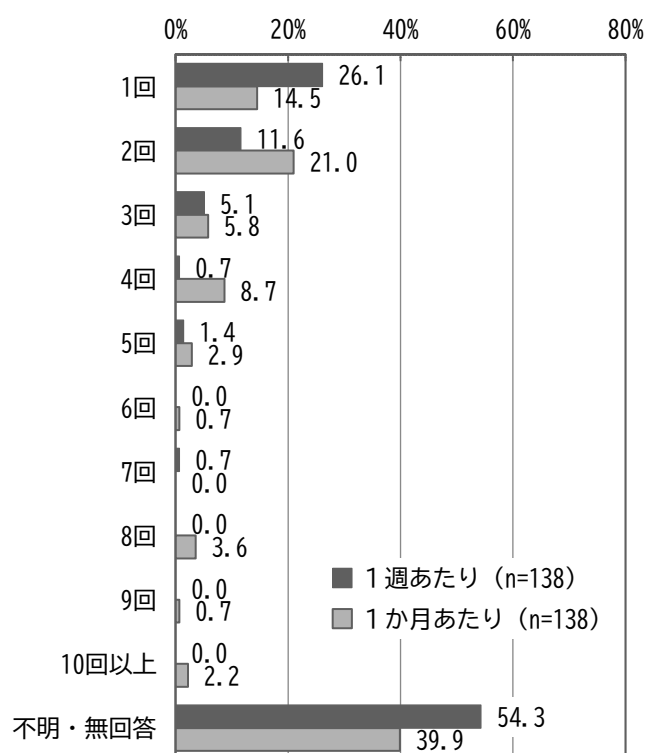
「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」方の利用希望回数は、1週あたりの利用回数では「1回」が26.1%と最も高く、1か月あたりの利用回数では「2回」が21.0%とそれぞれ最も高くなっています。



■ 「利用していないが、今後利用したい」方の利用希望回数



■ 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」方の利用希望回数



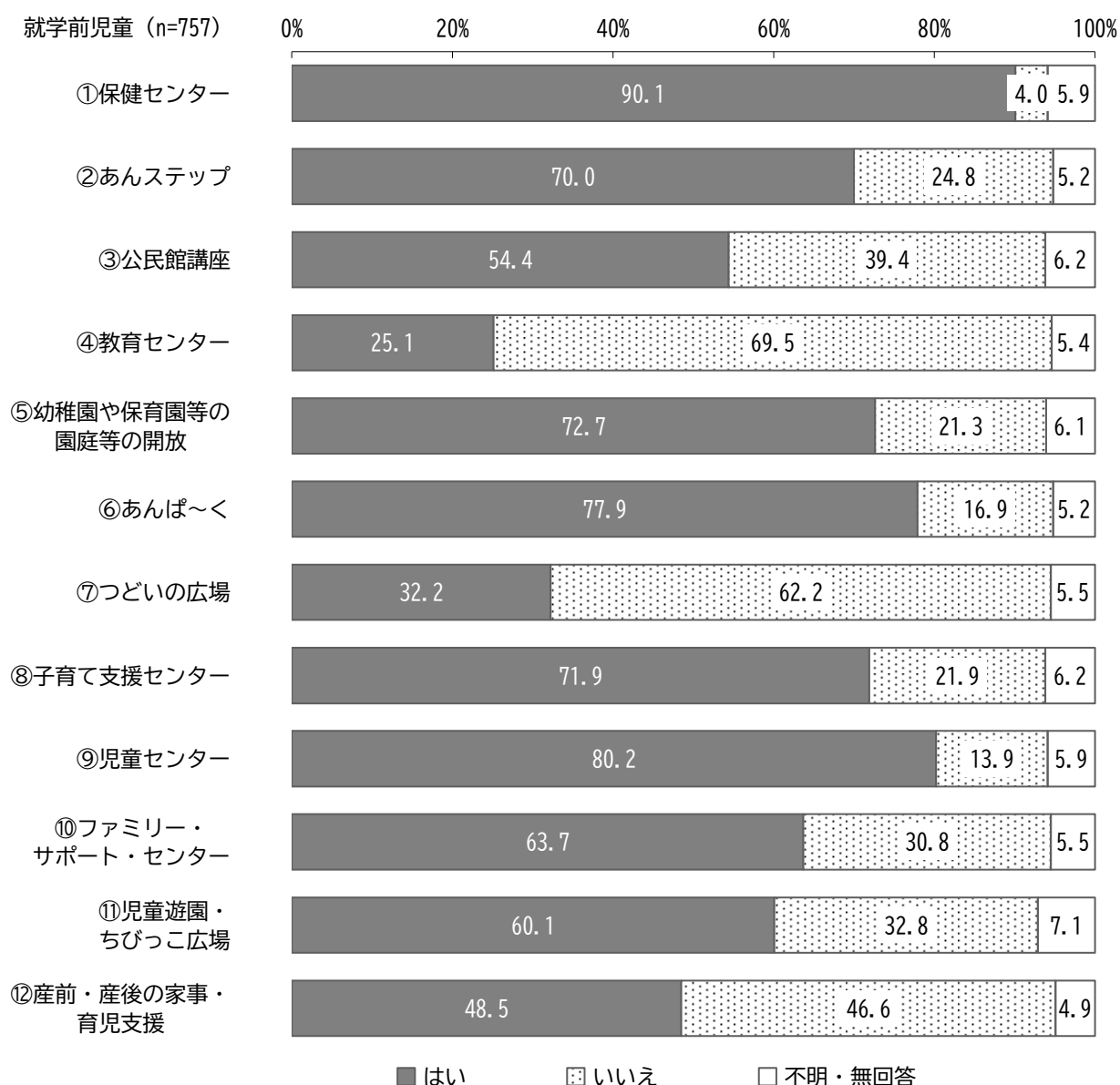
(3) 知っている事業やこれまで利用したことがある事業、今後利用したいと思う事業

〔前：問18〕 〈単数回答〉

知っている事業では、〔①保健センター〕〔②あんステップ〕〔⑤幼稚園や保育園等の園庭等の開放〕〔⑥あんぱ〜く〕〔⑧子育て支援センター〕〔⑨児童センター〕で、「はい」（知っている）がそれぞれ7割以上と高くなっています。

なお、前回調査と比較すると、〔②あんステップ〕で「はい」（知っている）が20.3ポイント、〔⑫産前・産後の家事・育児支援〕で12.4ポイント、〔⑪児童遊園・ちびっこ広場〕で10.6ポイントとそれぞれ高くなっています。

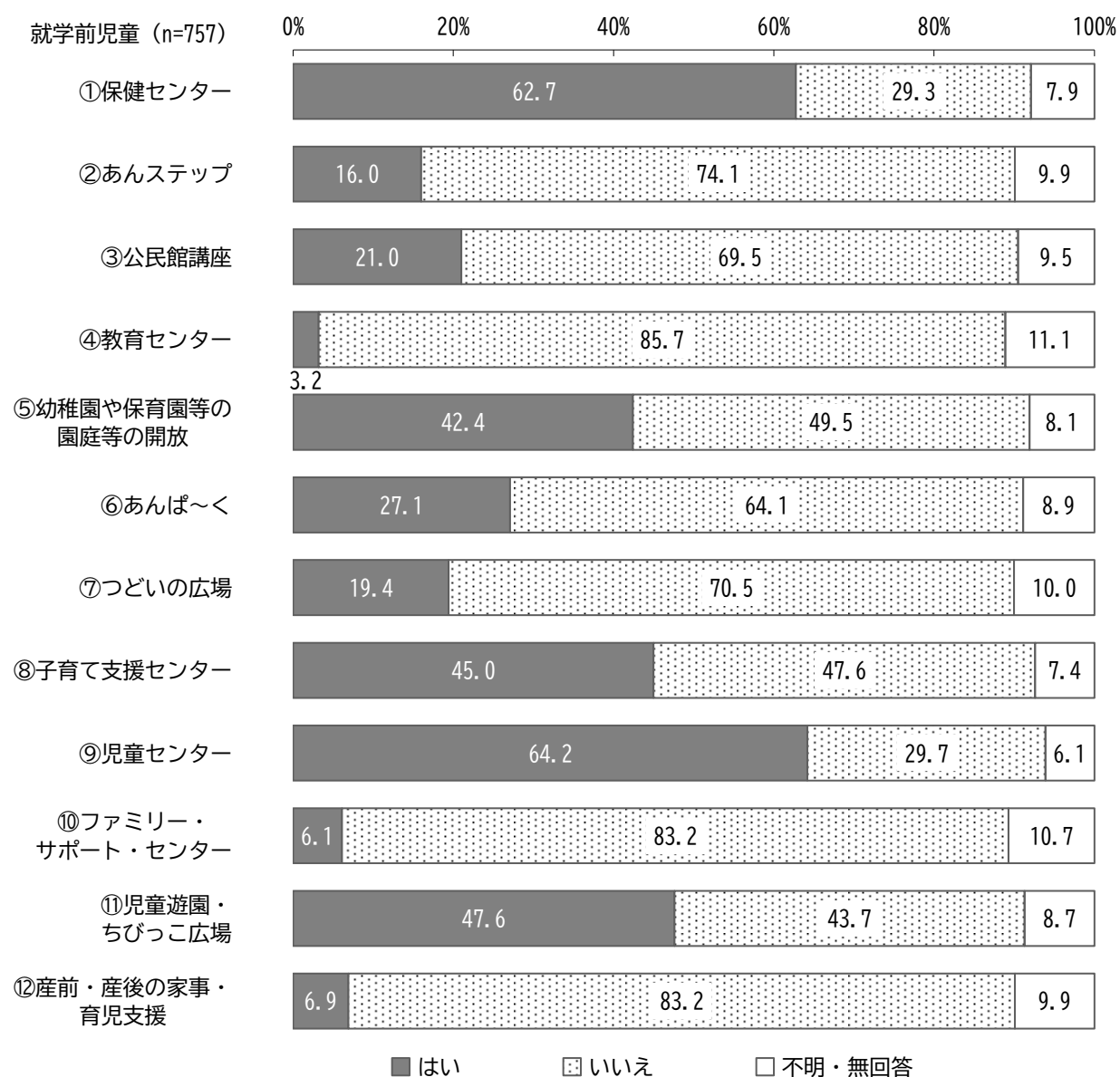
A. 知っている事業（今回調査）



利用したことがある事業では、〔①保健センター〕〔⑨児童センター〕で、「はい」（利用したことがある）がそれぞれ6割以上と高くなっています。

なお、前回調査と比較すると、〔⑪児童遊園・ちびっこ広場〕で「はい」（利用したことがある）が12.6ポイント高くなっている一方で、〔⑥あんぱ〜く〕で8.5ポイント低くなっています。

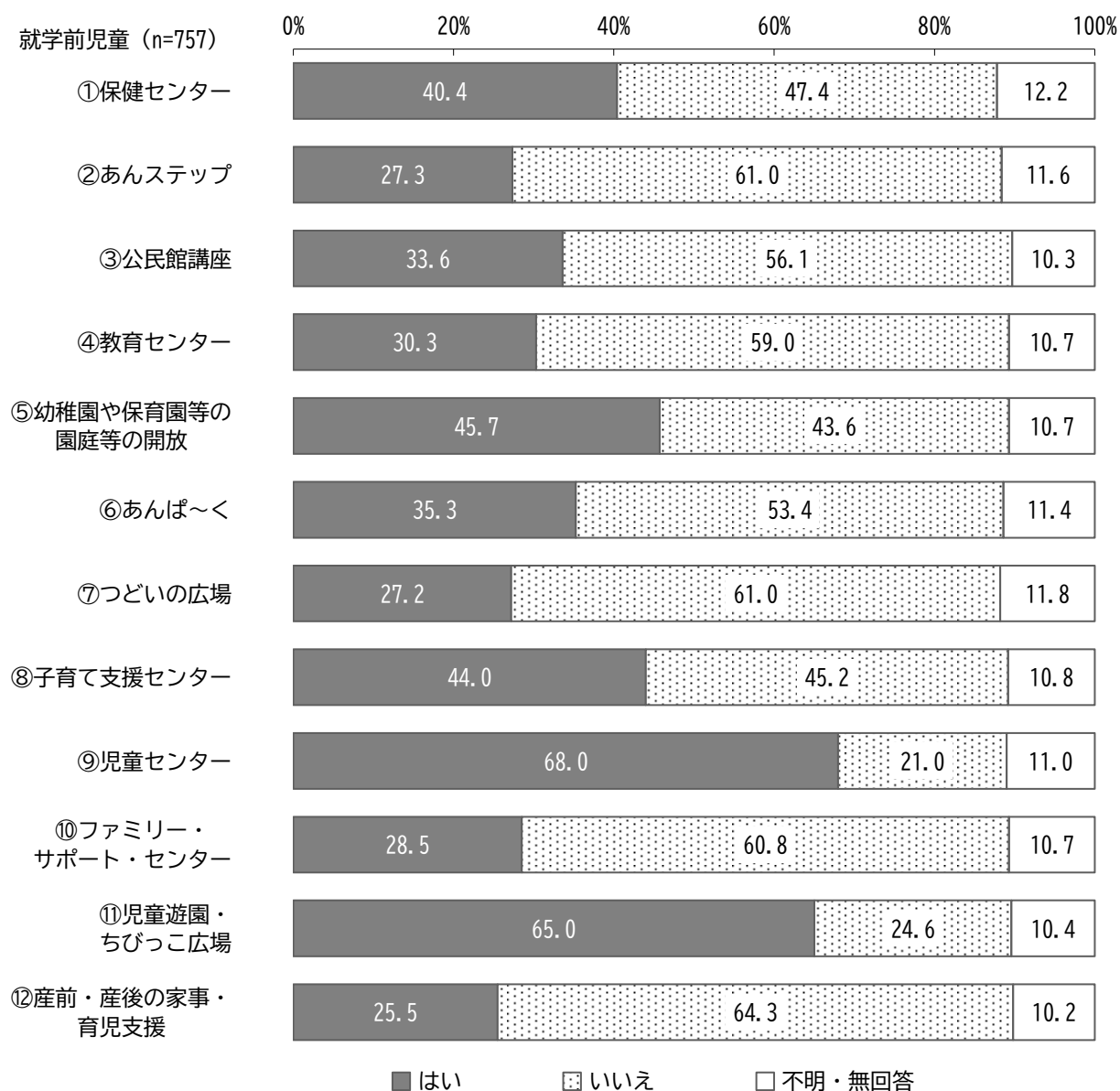
B. これまでに利用したことがある事業



今後利用したい事業では〔⑨児童センター〕〔⑪児童遊園・ちびっこ広場〕で、「はい」（今後利用したい）がそれぞれ6割以上と高くなっています。

なお、前回調査と比較すると、〔⑤幼稚園や保育園等の園庭等の開放〕で「はい」（今後利用したい）が17.1ポイント、〔①保健センター〕で14.3ポイント、〔⑥あんぱ〜く〕で12.7ポイントと、それぞれ低くなっています。

C. 今後利用したい事業



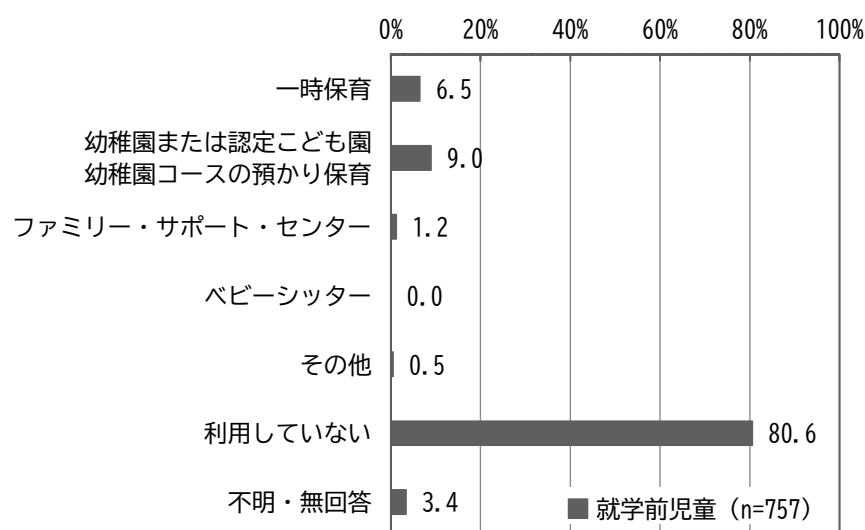
6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりについて

(1) 保護者の私用、通院、不定期の仕事等の目的で、不定期に利用している子育て支援事業

〔前：問 19〕 〈複数回答・数量回答〉

「利用していない」が80.6%と最も高くなっています。利用している事業では、「幼稚園または認定こども園幼稚園コースの預かり保育」が9.0%、「一時保育」が6.5%となっています。

年間利用日数では、「一時保育」「幼稚園または認定こども園幼稚園コースの預かり保育」で、「10日以上」がそれぞれ55.1%、54.4%と最も高くなっています。



■ 利用日数（年間）

(単位：%)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	不明・無回答
一時保育 (n=49)	8.2	12.2	8.2	8.2	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	55.1	4.1
幼稚園または認定こども園幼稚園コースの預かり保育 (n=68)	2.9	5.9	10.3	4.4	10.3	1.5	1.5	1.5	0.0	54.4	7.4
ファミリー・サポート・センター (n=9)	44.4	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
その他 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0

※「ベビーシッター」は回答者がありませんでした。

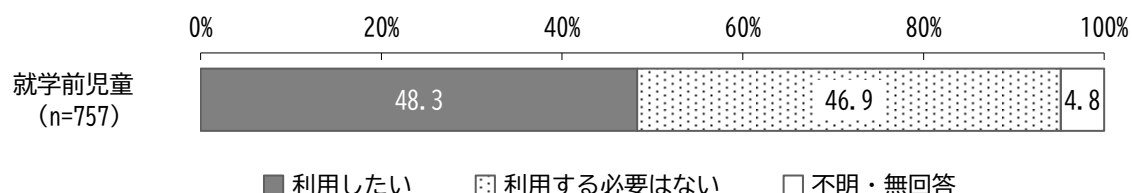
(2) 保護者の私用、通院、不定期の仕事等の目的による子育て支援事業の利用希望

[前：問 20] <単数回答・複数回答・数量回答>

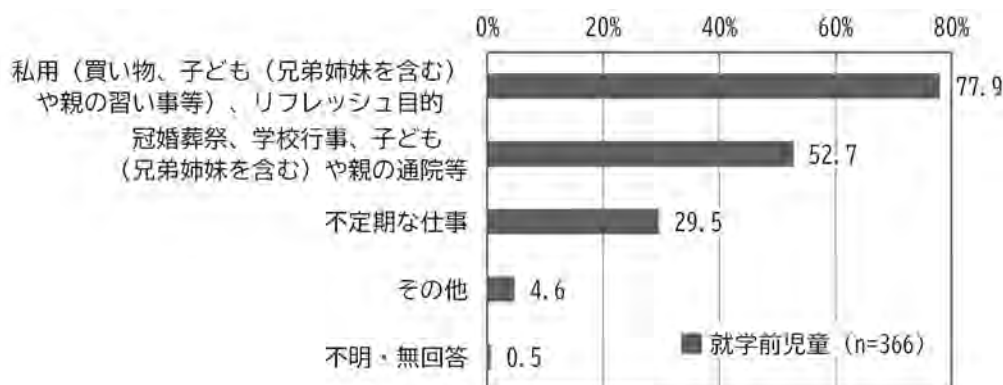
「利用したい」が48.3%、「利用する必要はない」が46.9%となっています。

利用したい目的では、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が77.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が52.7%、「不定期な仕事」が29.5%となっています。

利用希望日数では、いずれも「10日以上」が4割以上と最も高くなっています。



■利用したい目的



■利用希望日数

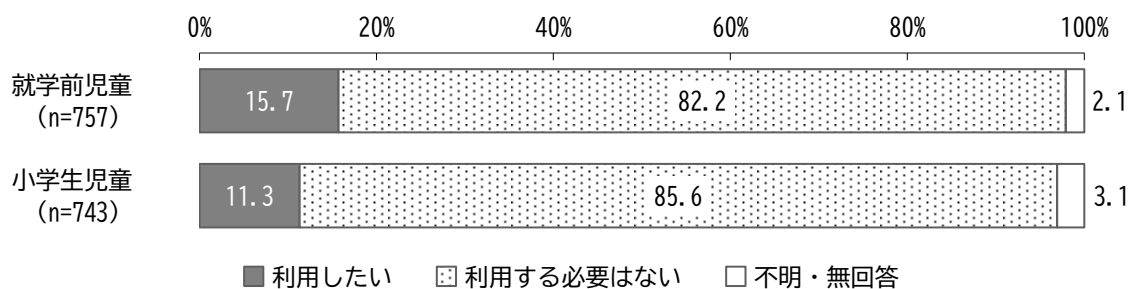
(単位：%)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	不明・無回答
私用、リフレッシュ目的 (n=285)	1.4	3.9	3.9	1.4	13.0	3.5	1.4	0.0	0.0	67.0	4.6
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等 (n=193)	2.1	3.6	12.4	1.0	19.2	2.6	3.6	0.0	0.0	47.7	7.8
不定期な仕事 (n=108)	0.9	3.7	2.8	0.0	13.0	3.7	2.8	0.0	0.0	60.2	13.0
その他 (n=17)	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	11.8	0.0	0.0	64.7	11.8

(3) 短期入所生活支援事業の利用希望 [前：問 21、小：問 14] <単数回答>

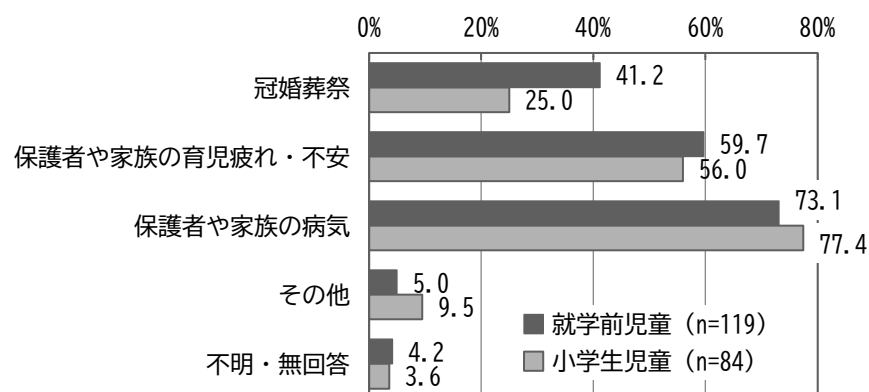
就学前・小学生ともに「利用する必要はない」がそれぞれ 82.2%、85.6%と最も高くなっています。

利用したい目的では、就学前・小学生ともに「保護者や家族の病気」がそれぞれ 73.1%、77.4%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」、「冠婚葬祭」となっています。

利用希望日数では、就学前児童、小学生児童ともに「1泊」「2泊」が高くなっています。



■利用したい目的



■ 利用希望日数

(単位：％)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊以上	不明・無回答
【就学前児童】											
冠婚葬祭 (n=49)	40.8	24.5	12.2	2.0	12.2	0.0	4.1	0.0	0.0	2.0	2.0
保護者や家族の育児疲れ・不安 (n=71)	28.2	23.9	9.9	2.8	5.6	5.6	5.6	1.4	0.0	14.1	2.8
保護者や家族の病気 (n=87)	13.8	26.4	14.9	1.1	12.6	4.6	5.7	1.1	1.1	14.9	3.4
その他 (n=6)	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7
【小学生児童】											
冠婚葬祭 (n=21)	33.3	42.9	19.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
保護者や家族の育児疲れ・不安 (n=47)	25.5	21.3	12.8	2.1	14.9	10.6	4.3	0.0	0.0	4.3	4.3
保護者や家族の病気 (n=65)	23.1	23.1	13.8	1.5	15.4	4.6	9.2	0.0	0.0	4.6	4.6
その他 (n=8)	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5

7. 放課後の過ごし方について

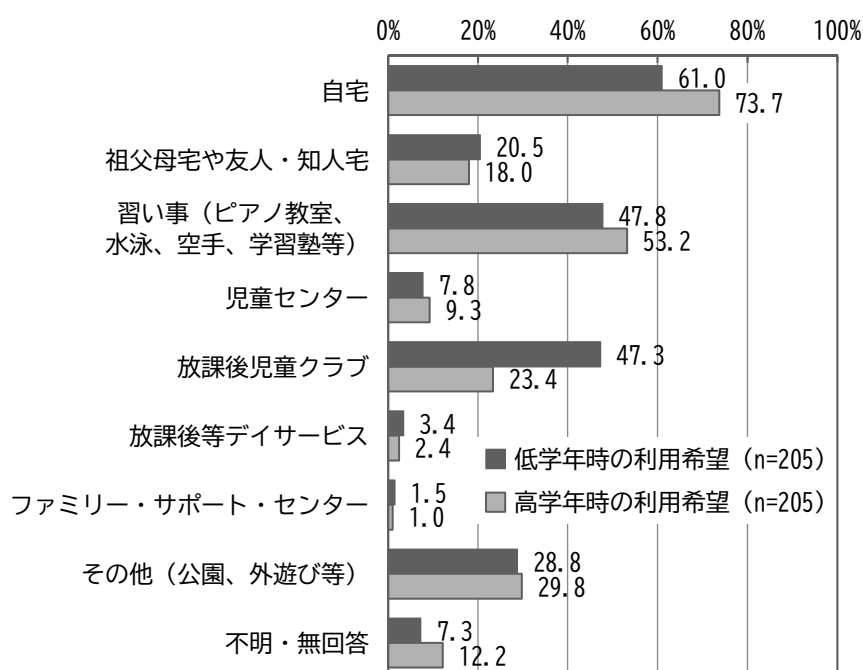
※就学前児童は5歳以上

(1) 小学校就学後の希望する放課後の過ごし方 [前：問 22] <複数回答・数量回答>

低学年時の利用希望・高学年時の利用希望ともに「自宅」がそれぞれ61.0%、73.7%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、水泳、空手、学習塾等）」となっています。

利用日数では、低学年時の利用希望、高学年時の利用希望ともに「自宅」「放課後児童クラブ」で「5日」、[祖父母宅や友人・知人宅][児童センター]で「1日」、[習い事][その他]で「2日」がそれぞれ最も高くなっています。

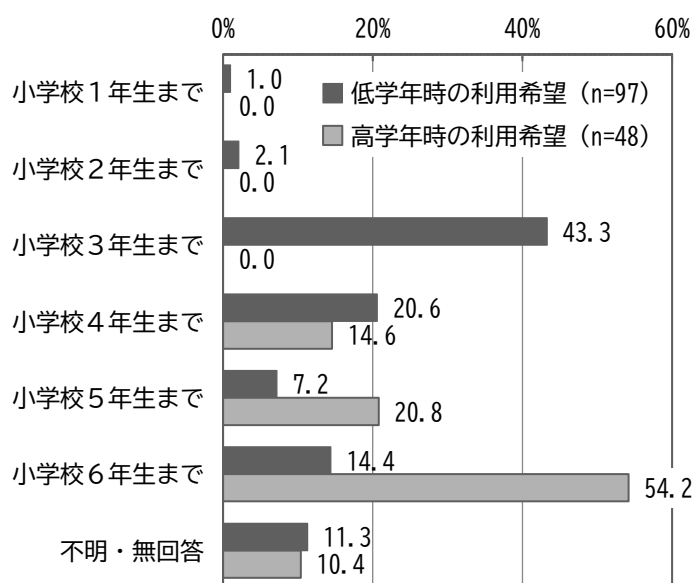
放課後児童クラブの利用希望では、低学年時の利用希望は「小学校3年生まで」が43.3%、高学年時の利用希望は「小学校6年生まで」が54.2%と、それぞれ最も高くなっています。



■利用希望日数

(単位：％)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
【低学年時の利用希望】								
自宅(n=125)	9.6	22.4	18.4	6.4	30.4	0.8	5.6	6.4
祖父母宅や友人・知人宅(n=42)	52.4	21.4	14.3	0.0	4.8	0.0	0.0	7.1
習い事(n=98)	29.6	37.8	26.5	0.0	1.0	0.0	0.0	5.1
児童センター(n=16)	37.5	18.8	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	18.8
放課後児童クラブ(n=97)	2.1	7.2	12.4	8.2	61.9	2.1	0.0	6.2
放課後等デイサービス(n=7)	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3
ファミリー・サポート・センター(n=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
その他(n=59)	32.2	35.6	16.9	0.0	6.8	0.0	1.7	6.8
【高学年時の利用希望】								
自宅(n=151)	7.9	21.2	13.9	6.6	35.1	2.0	4.6	8.6
祖父母宅や友人・知人宅(n=37)	45.9	24.3	13.5	2.7	5.4	0.0	0.0	8.1
習い事(n=109)	21.1	39.4	32.1	2.8	0.9	0.0	0.0	3.7
児童センター(n=19)	36.8	26.3	0.0	0.0	21.1	0.0	0.0	15.8
放課後児童クラブ(n=48)	6.3	4.2	10.4	10.4	54.2	4.2	0.0	10.4
放課後等デイサービス(n=5)	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター(n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(n=61)	32.8	34.4	9.8	3.3	9.8	0.0	1.6	8.2

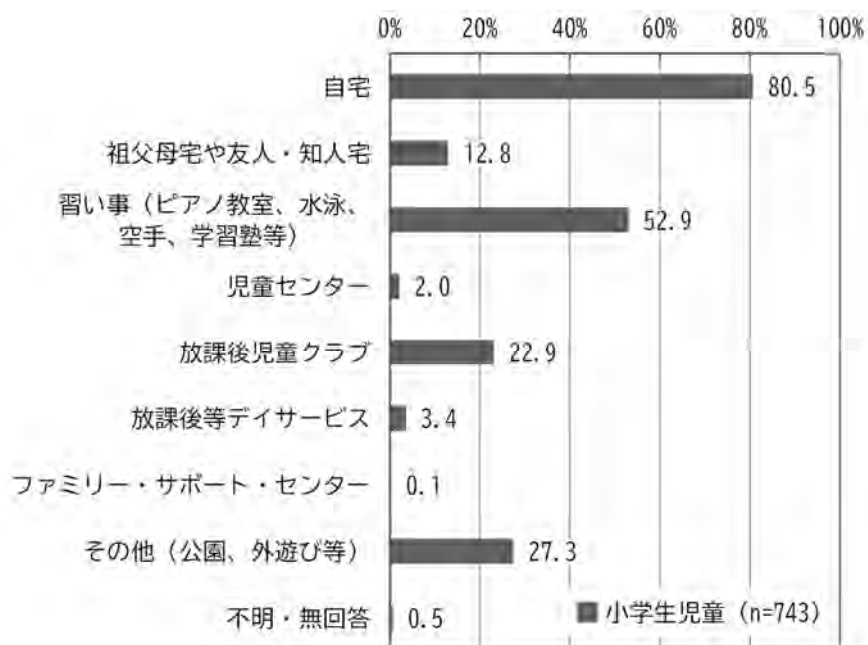
■放課後児童クラブの利用希望（何年生まで）



(2) 放課後に過ごす場所 [小：問 12] <複数回答・数量回答>

「自宅」が80.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、水泳、空手、学習塾等）」が52.9%、「その他（公園、外遊び等）」が27.3%となっています。

利用日数では、[自宅][放課後児童クラブ]で「5日」、[祖父母宅や友人・知人宅][児童センター][その他]で「1日」、[習い事][放課後等デイサービス]で「2日」がそれぞれ最も高くなっています。



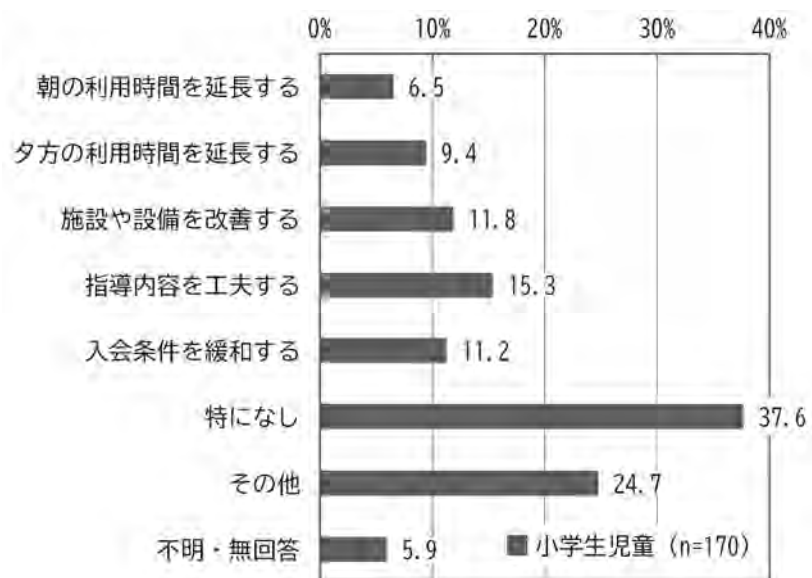
■ 利用日数

(単位：%)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
【小学生児童】								
自宅(n=598)	10.7	16.6	16.9	6.5	41.6	0.2	5.0	2.5
祖父母宅や友人・知人宅(n=95)	44.2	27.4	10.5	3.2	10.5	0.0	0.0	4.2
習い事(n=393)	22.9	37.4	21.9	12.0	4.3	0.0	0.0	1.5
児童センター(n=15)	33.3	26.7	13.3	20.0	6.7	0.0	0.0	0.0
放課後児童クラブ(n=170)	2.4	11.8	20.6	17.6	45.9	0.6	0.0	1.2
放課後等デイサービス(n=25)	8.0	40.0	12.0	16.0	24.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(n=203)	46.8	30.5	13.8	3.9	3.0	0.0	0.5	1.5

〔放課後児童クラブを利用している方〕

(3) 放課後児童クラブへの希望 [小：問 12-1] <複数回答>

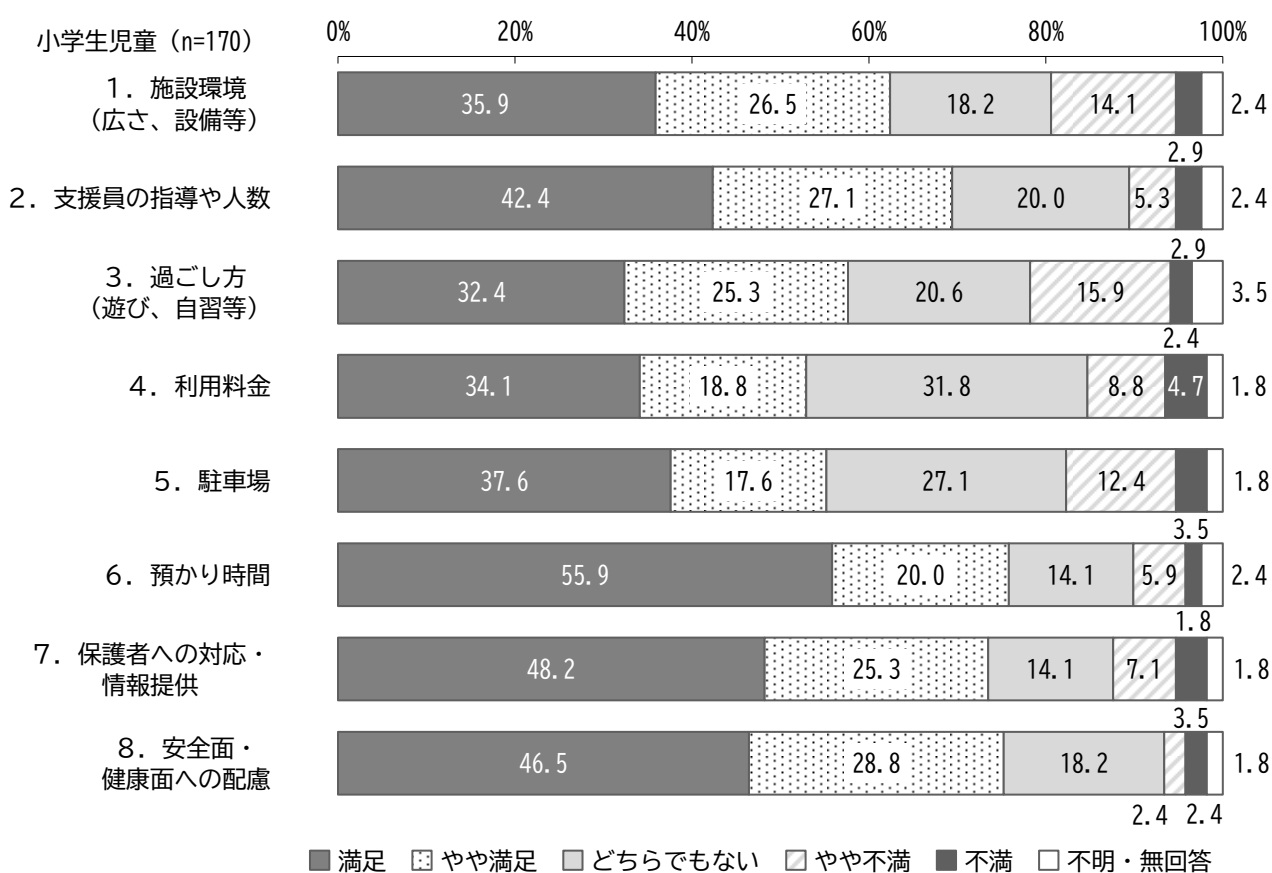
「特になし」が37.6%と最も高く、次いで「その他」が24.7%、「指導内容を工夫する」が15.3%となっています。



〔放課後児童クラブを利用している方〕

(4) 放課後児童クラブの満足度 [小：問 12-2] <単数回答>

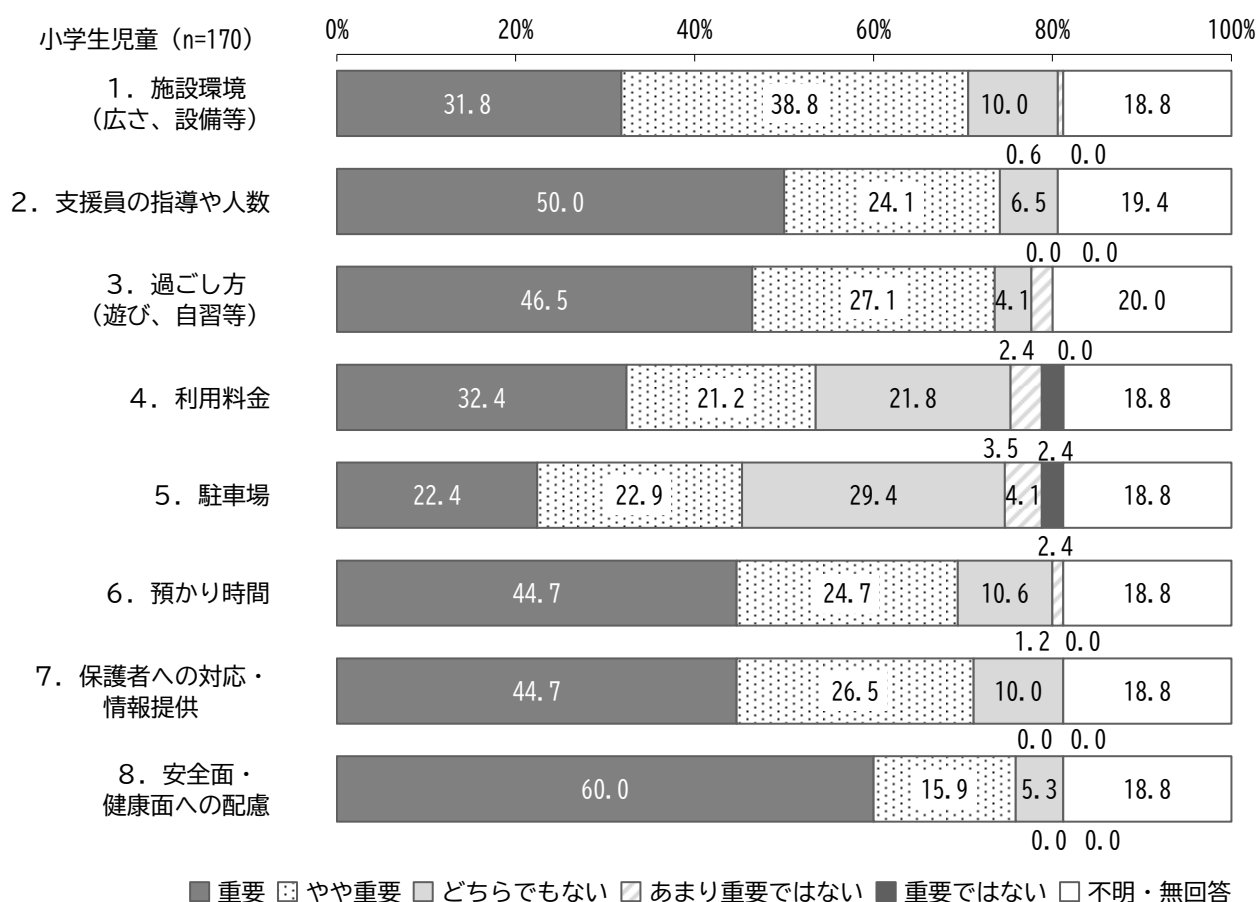
『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）は、〔3．過ごし方（遊び、自習等）〕〔4．利用料金〕〔5．駐車場〕の割合が5割台と、他の項目に比べてやや低くなっています。



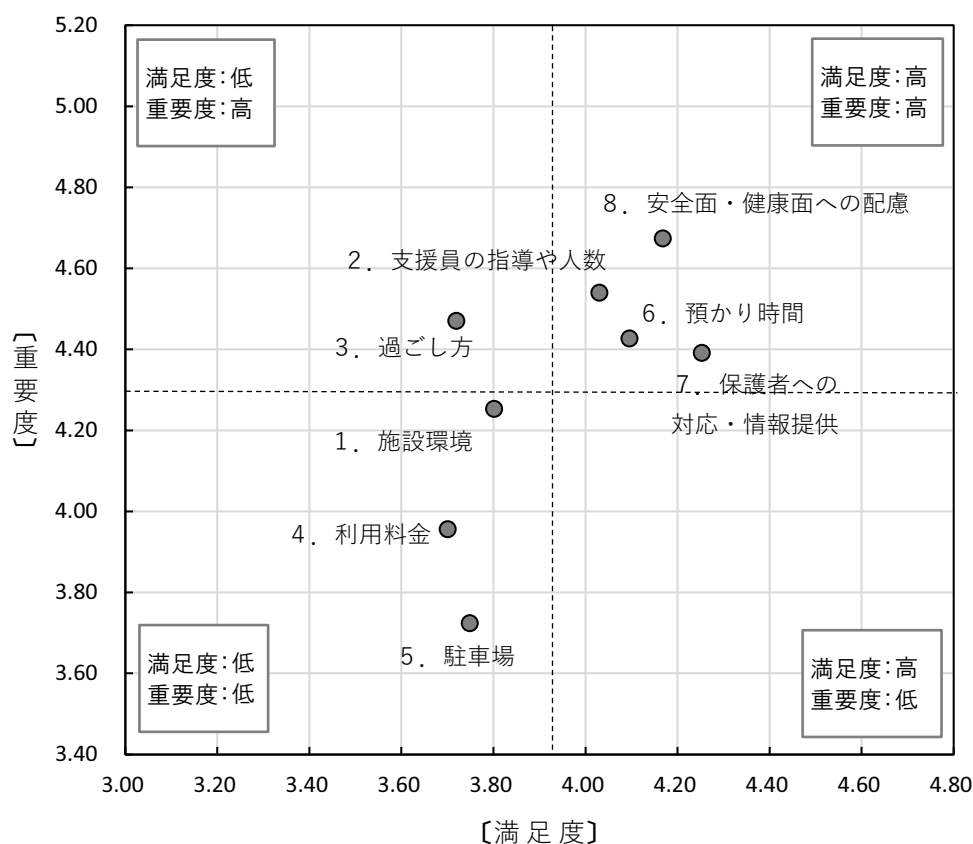
〔放課後児童クラブを利用している方〕

(5) 放課後児童クラブの重要度 [小：問 12-2] <単数回答>

『重要』（「重要」と「やや重要」の合計）は、〔4．利用料金〕〔5．駐車場〕以外の項目で、それぞれ7割前後となっています。



満足度・重要度ともに高いものとしては、〔2．支援員の指導や人数〕〔6．預かり時間〕〔7．保護者への対応・情報提供〕〔8．安全面・健康面への配慮〕となっています。一方で、満足度・重要度ともに低い項目は、〔1．施設環境〕〔4．利用料金〕〔5．駐車場〕となっています。



《加重平均》

全8項目の平均点は、満足度で3.94、重要度で4.30となっており、全体では、満足度よりも重要度が高い結果となりました。

	満足度	重要度
1. 施設環境	3.80	4.25
2. 支援員の指導や人数	4.03	4.54
3. 過ごし方	3.72	4.47
4. 利用料金	3.70	3.96
5. 駐車場	3.75	3.72
6. 預かり時間	4.25	4.39
7. 保護者への対応・情報提供	4.10	4.43
8. 安全面・健康面への配慮	4.17	4.67
放課後児童クラブ全体	3.94	4.30

加重平均とは…

全8項目について、「満足度」「重要度」ともに5段階評価で、各点数にその点数の回答者数を乗じ、点数ごとに算出した値の合計を総回答者数で割って算出したものを、それぞれの項目の指数とします。

●指数化の設定

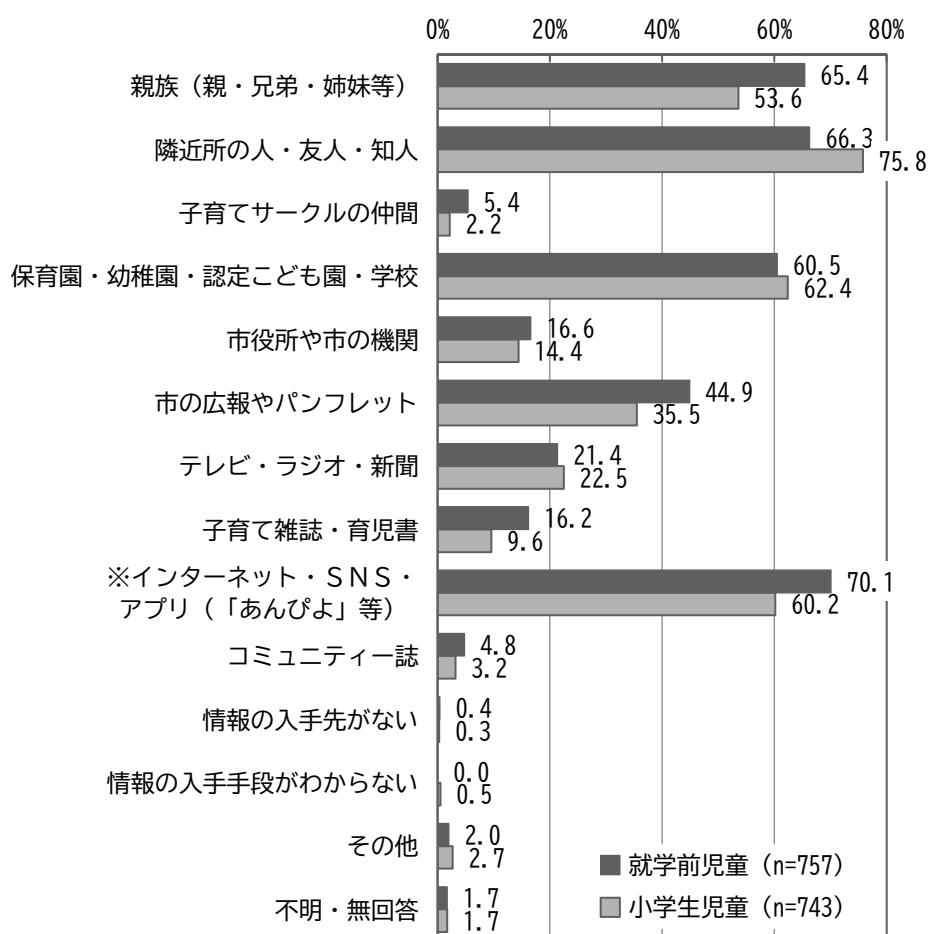
現状の満足度		今後の重要度	
満 足	5 点	重 要	5 点
やや満足	4 点	やや重要	4 点
どちらでもない	3 点	どちらでもない	3 点
やや不満	2 点	あまり重要ではない	2 点
不 満	1 点	重要ではない	1 点

8. 子育て全般について

(1) 子育て(教育を含む)に関する情報の入手方法 [前：問23、小：問15] <複数回答>

就学前では、「インターネット・SNS・アプリ（「あんぴよ」等）」が70.1%と最も高く、次いで「隣近所の人・友人・知人」が66.3%、「親族（親・兄弟・姉妹等）」が65.4%となっています。

小学生では、「隣近所の人・友人・知人」が75.8%と最も高く、次いで「保育園・幼稚園・認定こども園・学校」が62.4%、「インターネット・SNS・アプリ（「あんぴよ」等）」が60.2%となっています。

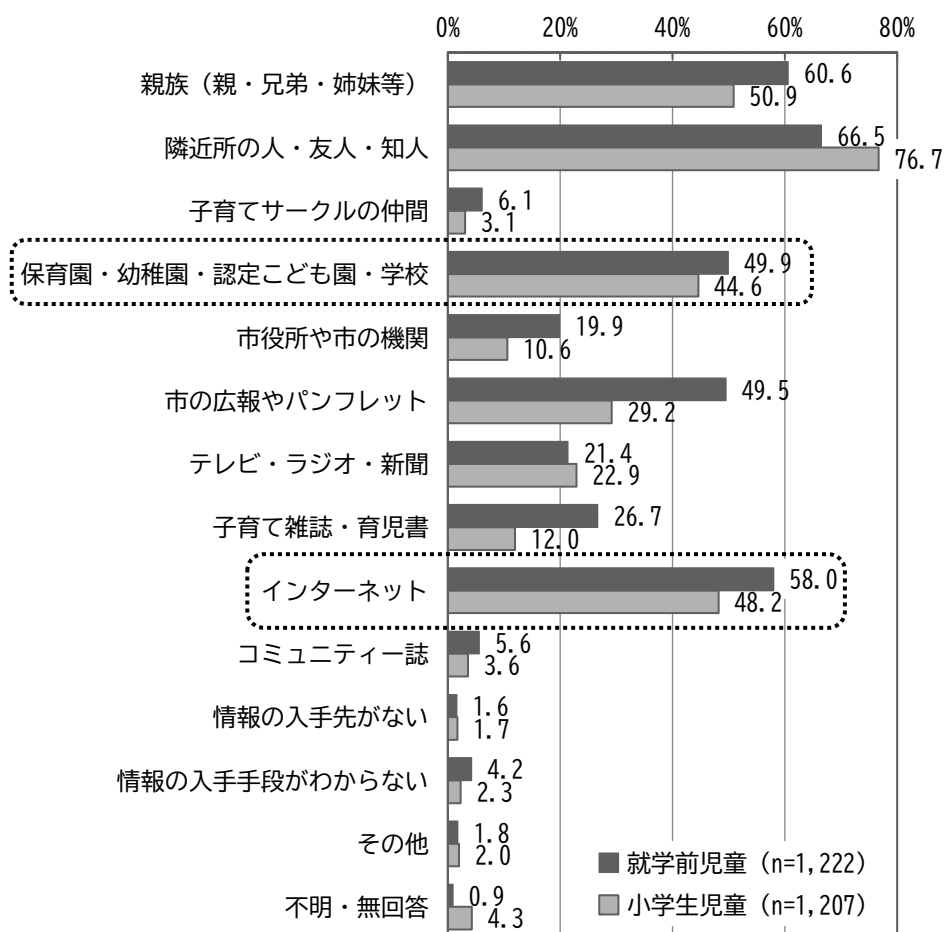


※小学生児童では選択肢が「インターネット・SNS」となっています。

前回調査と比較すると、就学前では、「インターネット・SNS・アプリ（「あんぴよ」等）」が12.1ポイント、「保育園・幼稚園・認定こども園・学校」が10.6ポイントと、それぞれ高くなっている一方で、「子育て雑誌・育児書」が10.5ポイント低くなっています。

小学生では、「保育園・幼稚園・認定こども園・学校」が17.8ポイント、「インターネット・SNS・アプリ（「あんぴよ」等）」が12.0ポイント高くなっています。

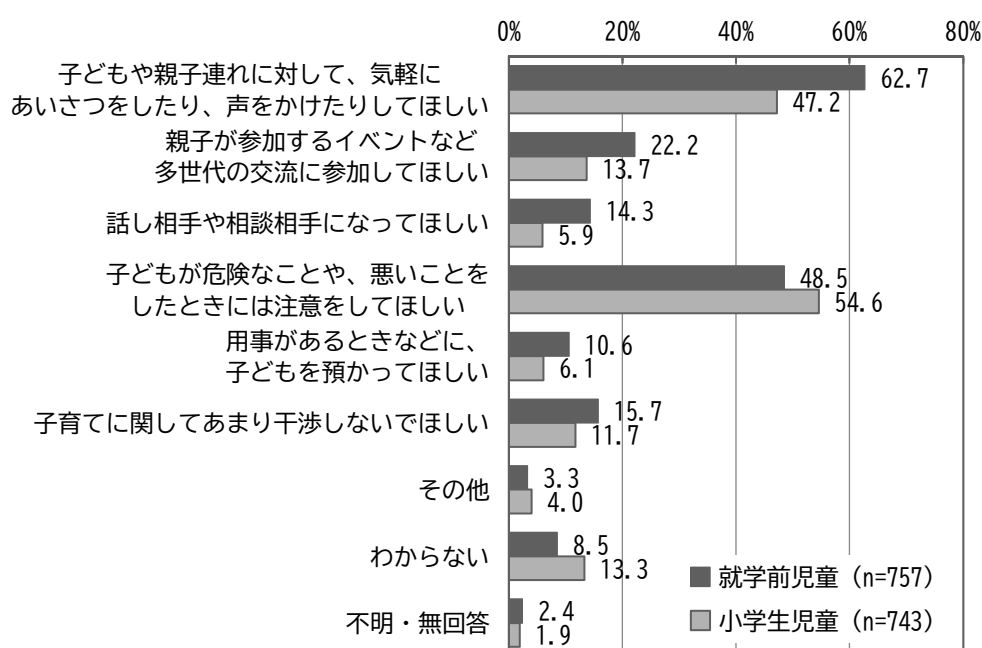
◆前回調査



(2) 子育てに関して、地域の人に望むこと [前：問 24、小：問 16] <複数回答>

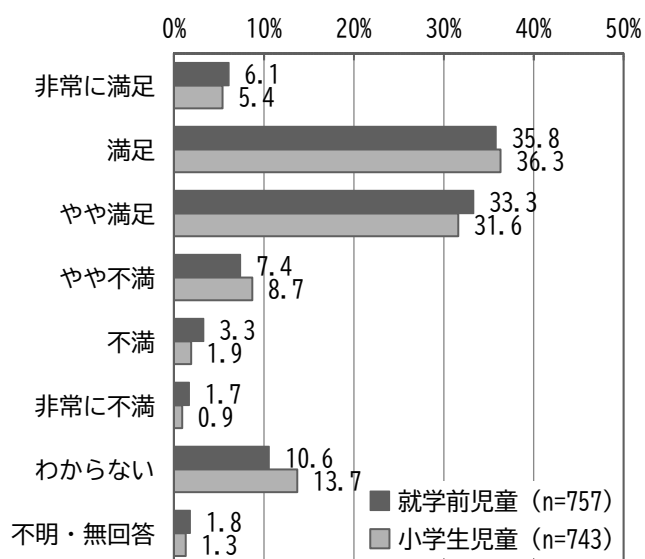
就学前では、「子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつをしたり、声をかけたりしてほしい」が 62.7%と最も高く、次いで「子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意をしてほしい」が 48.5%、「親子が参加するイベントなど多世代の交流に参加してほしい」が 22.2%となっています。

小学生では、「子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意をしてほしい」が 54.6%と最も高く、次いで「子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつをしたり、声をかけたりしてほしい」が 47.2%、「親子が参加するイベントなど多世代の交流に参加してほしい」が 13.7%となっています。



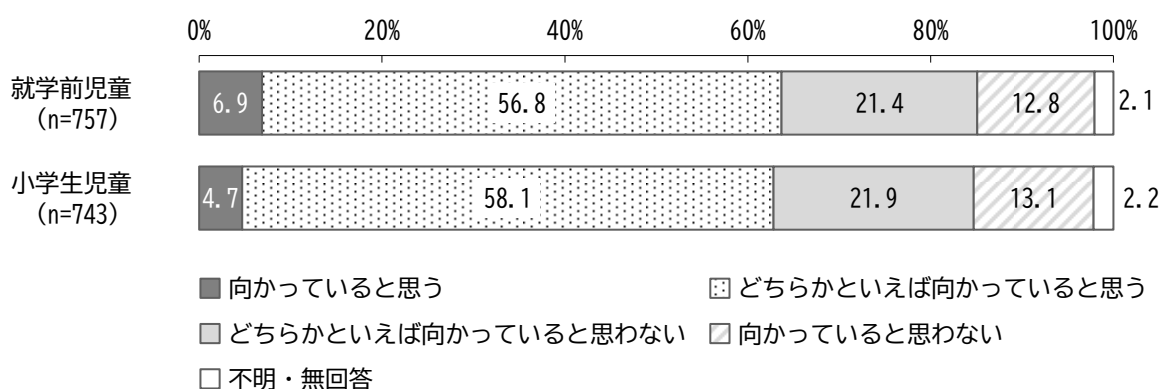
(3) 安城市の子育て環境の満足度 [前：問 25、小：問 17] <単数回答>

就学前・小学生ともに『満足』（「非常に満足」と「満足」と「やや満足」の合算）がそれぞれ 75.2%、73.3%と最も高くなっています。



(4) 安城市では「こどもまんなか社会」の実現に向かっているか [前：問 26、小：問 18] <単数回答>

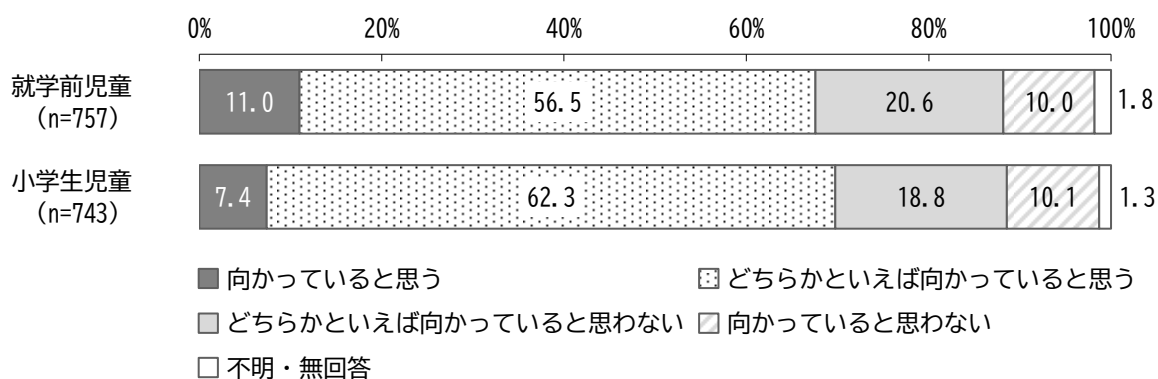
就学前・小学生ともに『向かっていると思う』（「向かっていると思う」と「どちらかといえば向かっていると思う」の合算）がそれぞれ 63.7%、62.8%と最も高く、次いで『向かっているとは思わない』（「向かっているとは思わない」と「どちらかといえば向かっているとは思わない」の合算）となっています。



(5) 安城市では結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっていると思うか

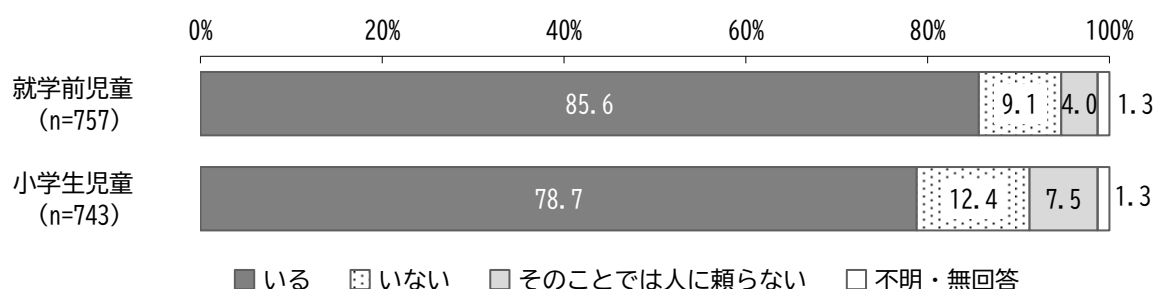
[前：問 27、小：問 19] <単数回答>

就学前・小学生ともに『向かっていると思う』（「向かっていると思う」と「どちらかといえば向かっていると思う」の合算）がそれぞれ 67.5%、69.7%と最も高く、次いで『向かっているとは思わない』（「向かっているとは思わない」と「どちらかといえば向かっているとは思わない」の合算）となっています。



(6) 子どもの世話や看病で頼れる人の有無 [前：問 28、小：問 20] <単数回答>

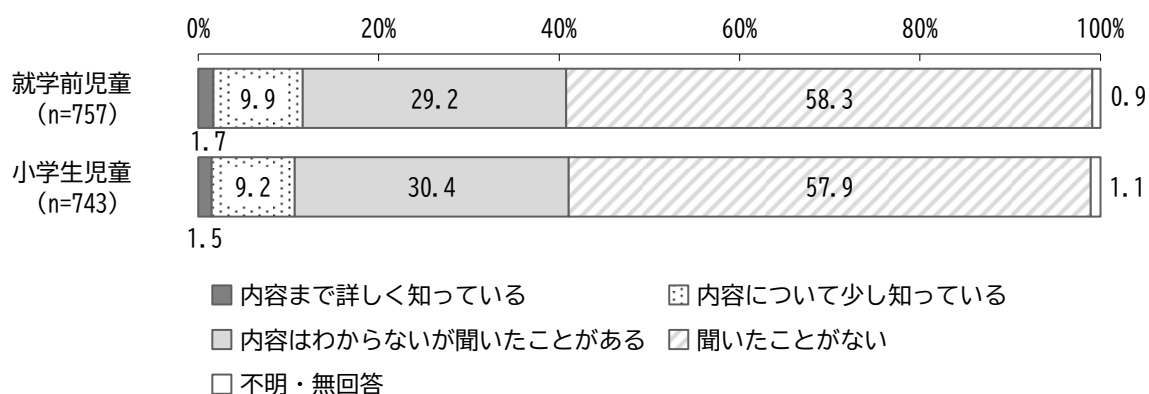
就学前・小学生ともに「いる」がそれぞれ 85.6%、78.7%と最も高くなっています。



9. 「こどもの権利」について

(1) 「こども基本法」の認知度 [前：問 29、小：問 21] <単数回答>

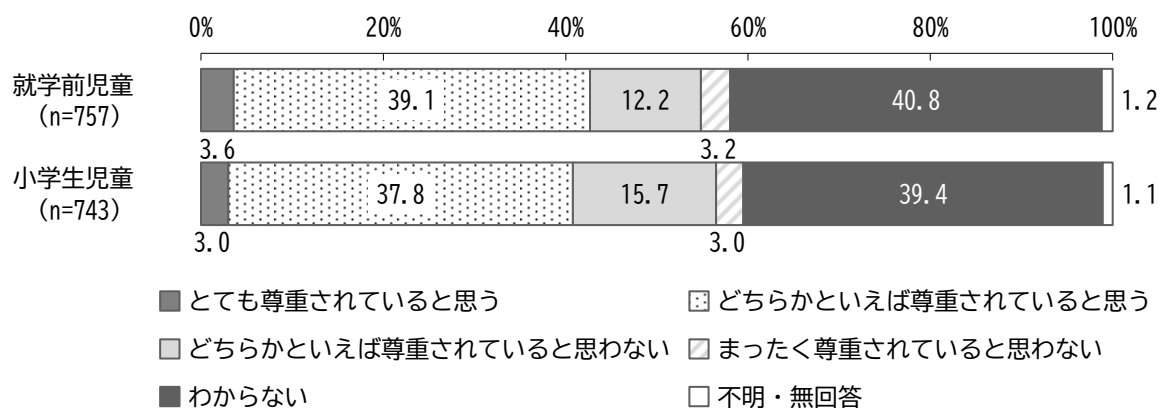
就学前・小学生ともに「聞いたことがない」がそれぞれ 58.3%、57.9%と最も高く、次いで「内容は分からないが聞いたことがある」、「内容について少し知っている」となっています。



(2) 安城市では、こどもの権利が十分に尊重されていると思うか

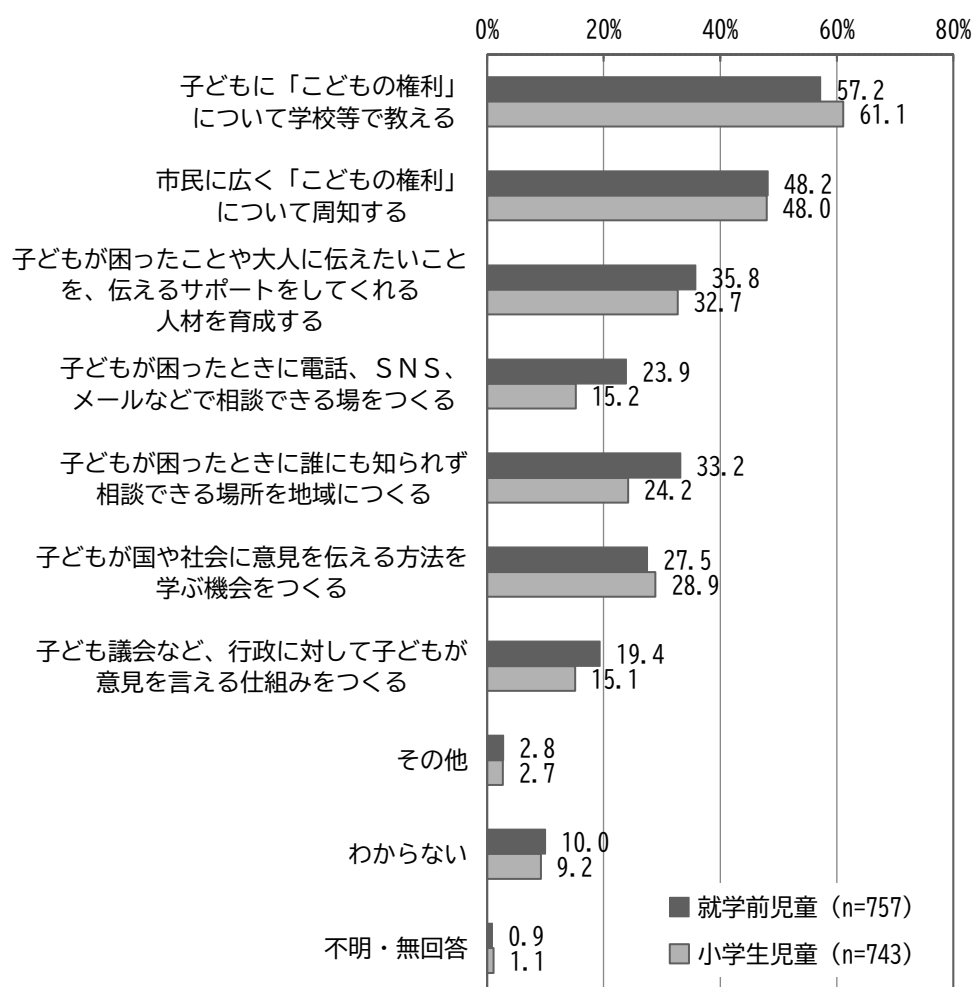
[前：問 30、小：問 22] <単数回答>

就学前・小学生ともに『尊重されていると思う（「とても尊重されていると思う」と「どちらかといえば尊重されていると思う」の合算）』がそれぞれ 42.7%、40.8%と最も高く、次いで「わからない」となっています。



(3) 「こどもの権利」を守るためにあると良いと思う仕組み [前：問31、小：問23] <複数回答>

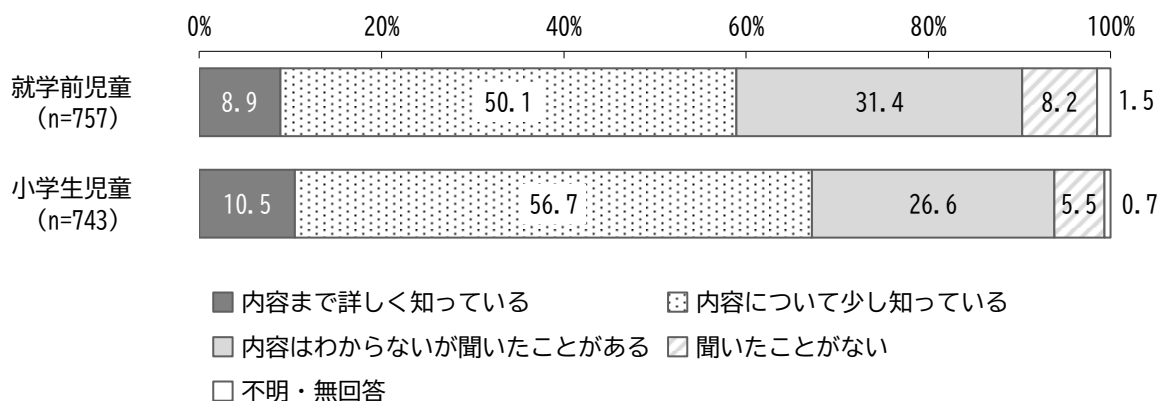
就学前・小学生ともに「子どもに「こどもの権利」について学校等で教える」がそれぞれ57.2%、61.1%と最も高く、次いで「市民に広く「こどもの権利」について周知する」、「子どもが困ったことや大人に伝えたいことを、伝えるサポートをしてくれる人材を育成する」となっています。



10. 子どもの貧困について

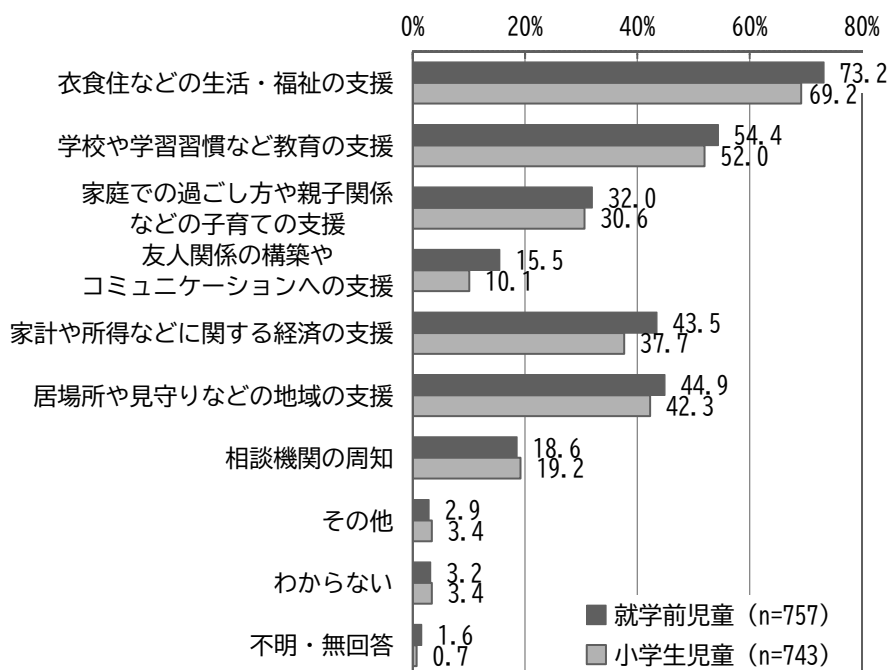
(1) 「子どもの貧困」が社会的な問題となっていることの認知度 [前：問 32、小：問 24] <単数回答>

就学前・小学生ともに「内容について少し知っている」がそれぞれ 50.1%、56.7%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことがある」、「内容まで詳しく知っている」となっています。



(2) 「子どもの貧困」に対して必要と思う支援 [前：問 33、小：問 25] <複数回答>

就学前・小学生ともに「衣食住などの生活・福祉の支援」がそれぞれ 73.2%、69.2%と最も高く、次いで「学校や学習習慣など教育の支援」、「居場所や見守りなどの地域の支援」となっています。

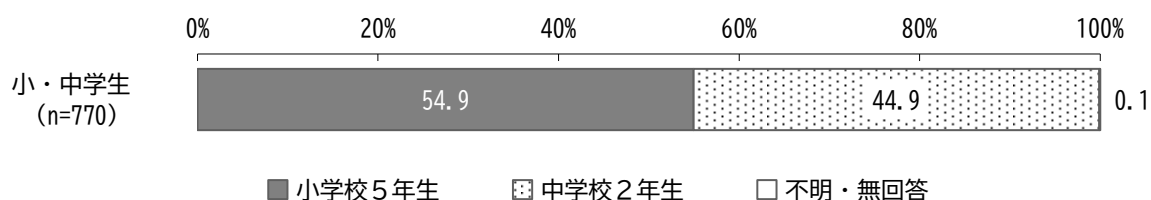


Ⅲ. 小学5年生・中学2年生調査結果

1. 回答者について

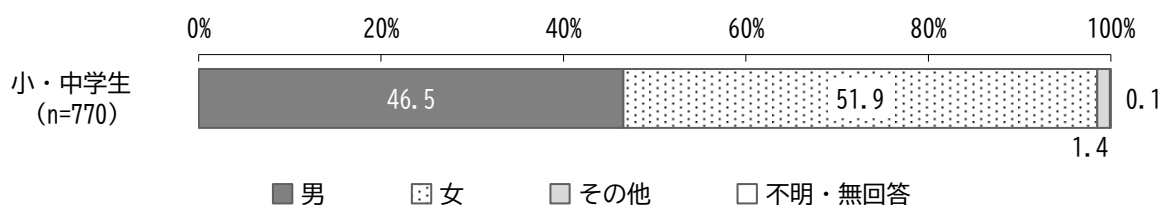
問1 回答者の学年 <単数回答>

「小学5年生」が54.9%、「中学2年生」が44.9%となっています。



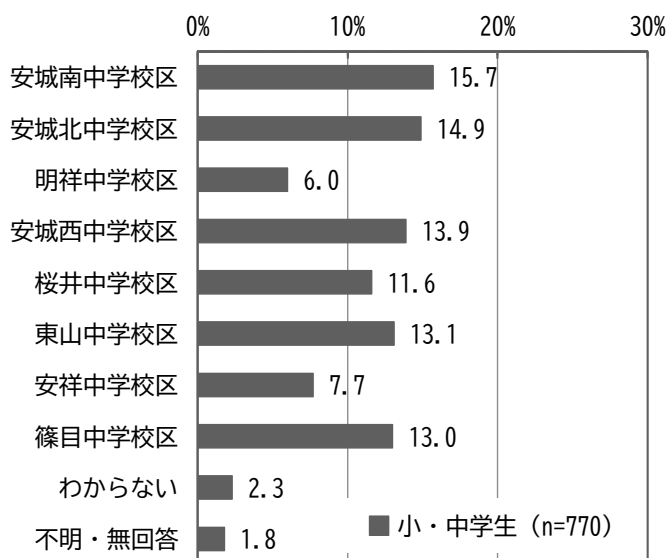
問2 回答者の性別 <単数回答>

「男」が46.5%、「女」が51.9%、「その他」が1.4%となっています。



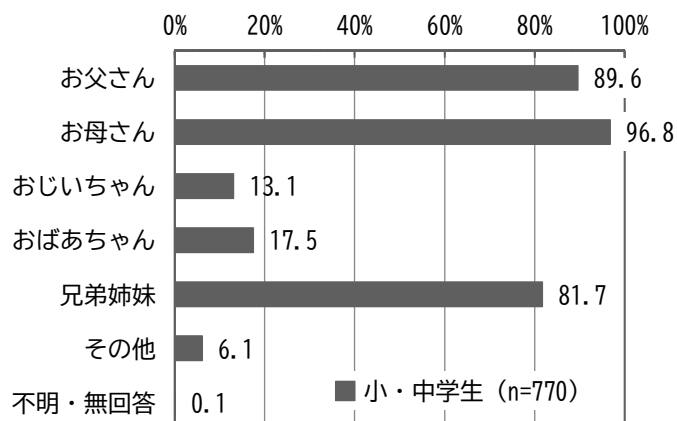
問3 回答者の居住中学校区 <単数回答>

「安城南中学校区」が15.7%と最も高く、次いで「安城北中学校区」が14.9%、「安城西中学校区」が13.9%となっています。



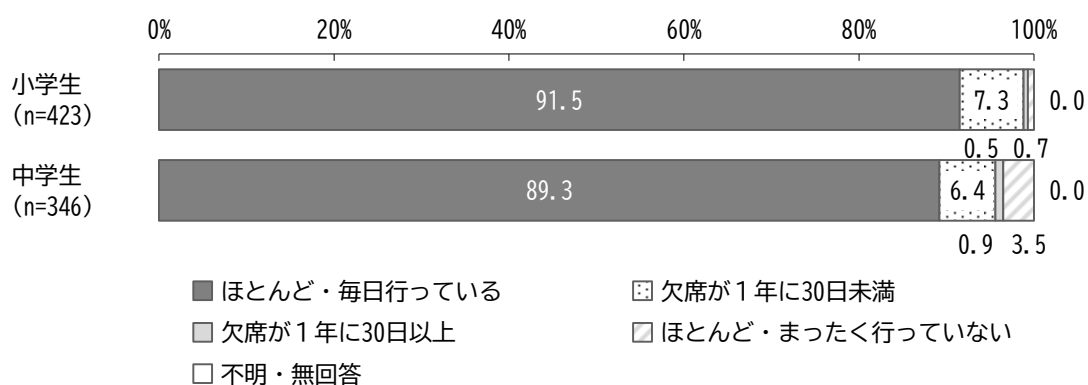
問4 同居している家族 〈複数回答〉

「お母さん」が96.8%と最も高く、次いで「お父さん」が89.6%、「兄弟姉妹」が81.7%となっています。



問5 学校への登校状況 〈単数回答〉

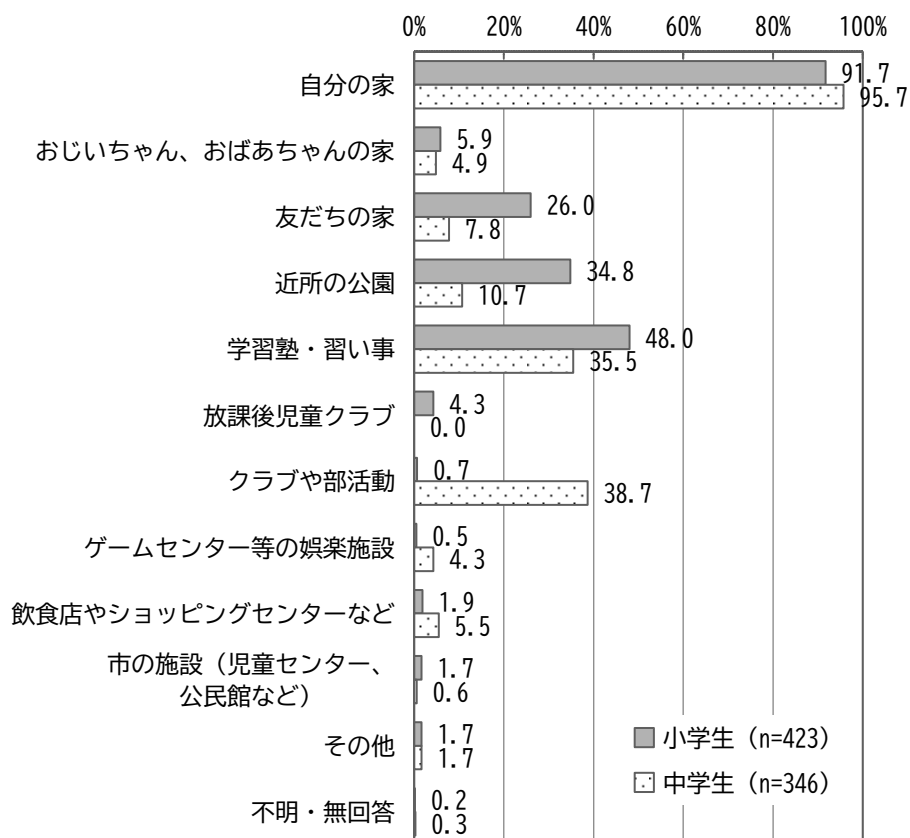
小学生と中学生で比較すると、中学生で「ほとんど・まったく行っていない」が3.5%と、小学生と比較して2.8ポイント高くなっています。



2. 放課後や休日の過ごし方について

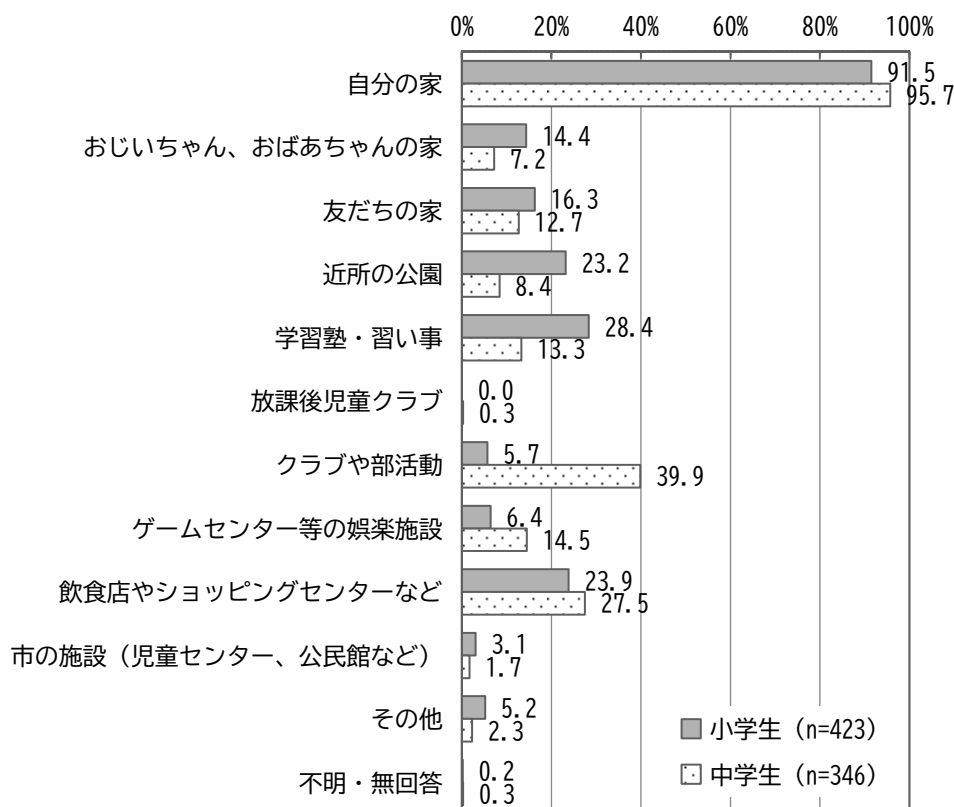
問6 放課後に過ごす場所 〈複数回答〉

小学生と中学生で比較すると、小学生で「近所の公園」が34.8%と、中学生と比較して24.1ポイント高くなっているほか、「友だちの家」が26.0%と18.2ポイント高くなっています。一方で、中学生で「クラブや部活動」が38.7%と、小学生と比較して38.0ポイント高くなっています。



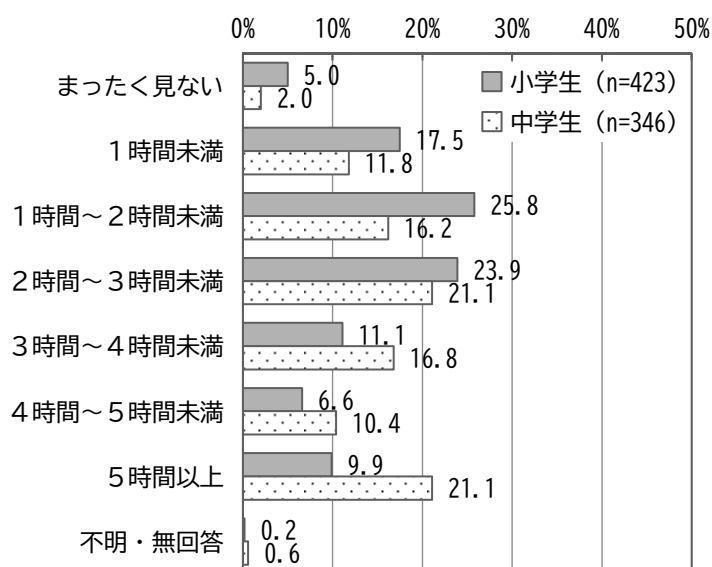
問7 休日に過ごす場所 〈複数回答〉

小学生と中学生で比較すると、小学生で「学習塾・習い事」が28.4%と、中学生と比較して15.1ポイント高くなっているほか、「近所の公園」が23.2%と14.8ポイント高くなっています。一方で、中学生で「クラブや部活動」が39.9%と、小学生と比較して34.2ポイント高くなっています。



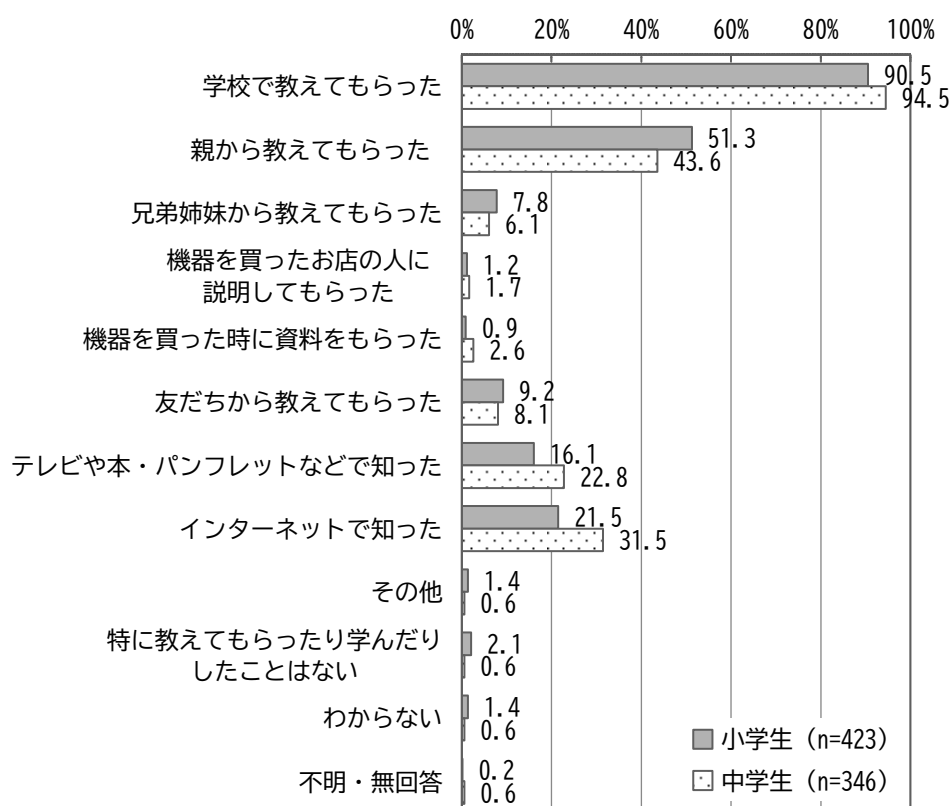
問8 1日の情報機器の使用時間 〈単数回答〉

小学生と中学生で比較すると、小学生で「1時間～2時間未満」が25.8%と、中学生と比較して9.6ポイント高くなっています。一方で、中学生で「5時間以上」が21.1%と、小学生と比較して11.2ポイント高くなっています。



問9 インターネットの危険性について、説明を受けたり学んだことがあるか <複数回答>

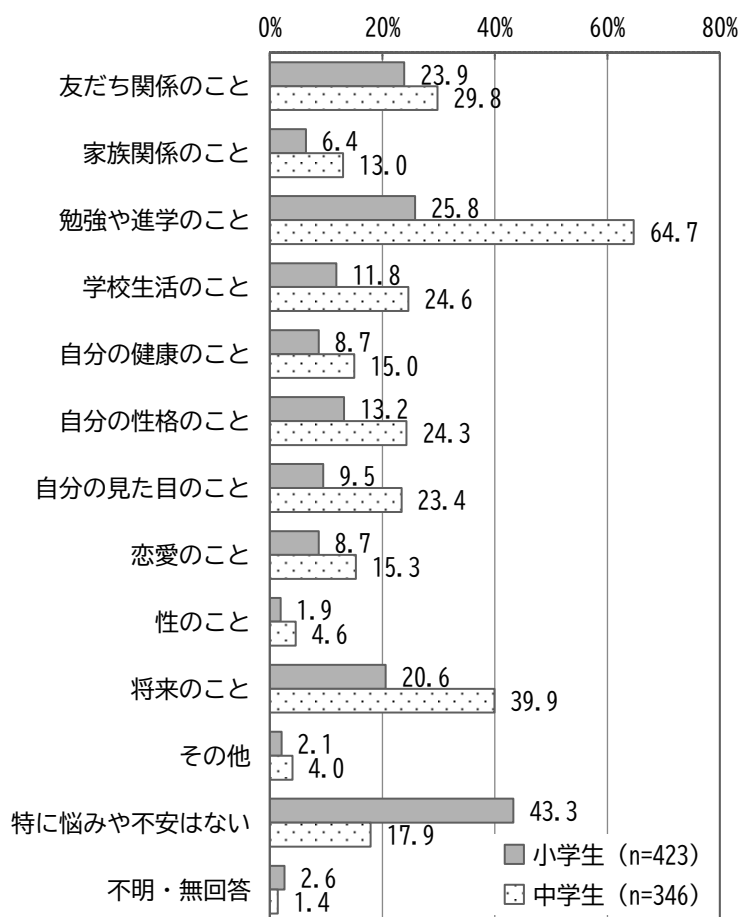
小学生と中学生で比較すると、小学生で「親から教えてもらった」が51.3%と、中学生と比較して7.7ポイント高くなっています。一方で、中学生で「インターネットで知った」が31.5%と、小学生と比較して10.0ポイント高くなっています。



3. 自分のことやふだんの生活について

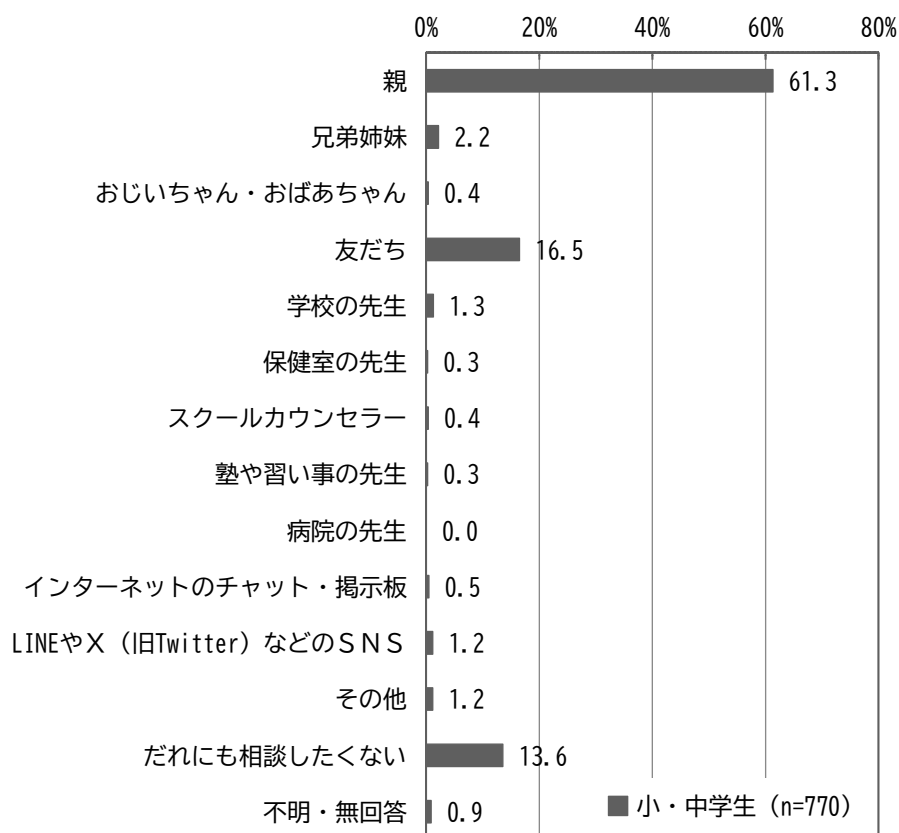
問 10 現在、悩んでいることや不安に感じていること 〈複数回答〉

小学生と中学生で比較すると、小学生で「特に悩みや不安はない」が43.3%と、中学生と比較して25.4ポイント高くなっています。一方で、中学生で「勉強や進学のこと」が64.7%と、小学生と比較して38.9ポイント高くなっているほか、「将来のこと」が39.9%と19.3ポイント高くなっています。



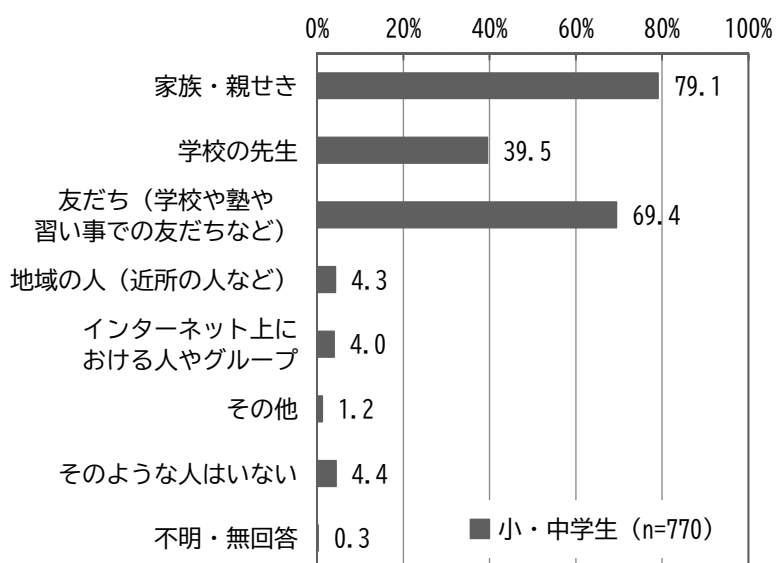
問 11 悩みや不安を感じた時の相談相手 〈複数回答〉

「親」が61.3%と最も高く、次いで「友だち」が16.5%、「だれにも相談したくない」が13.6%となっています。



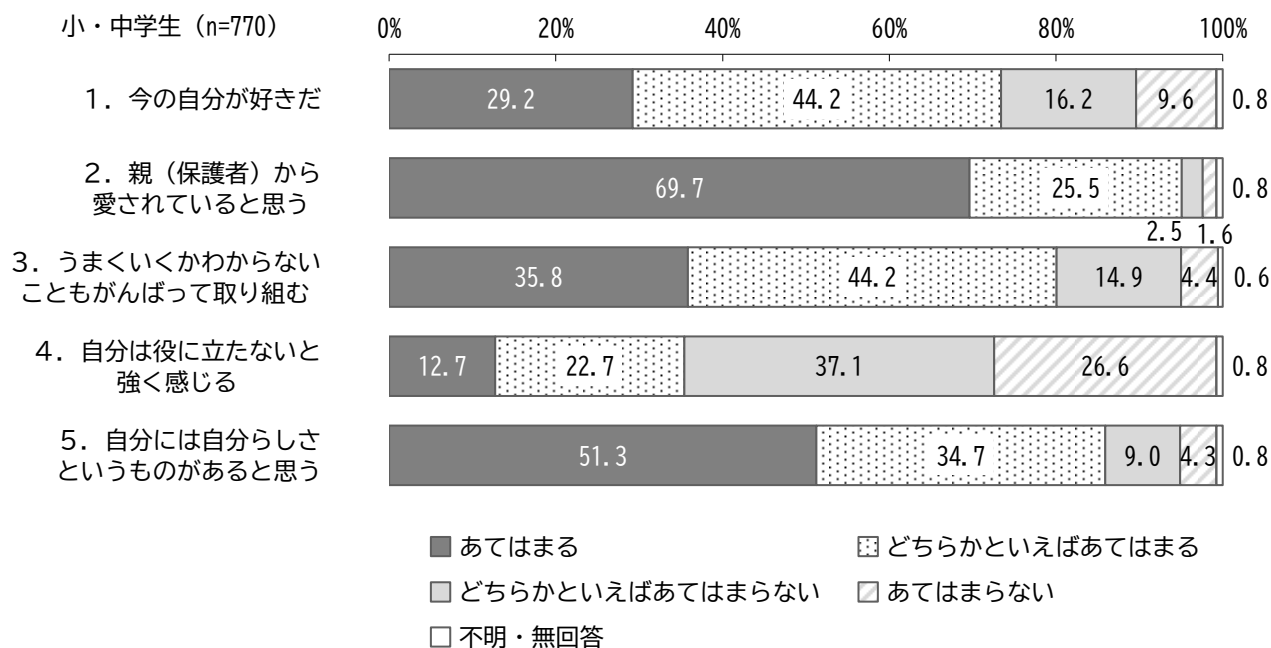
問 12 困った時に助けてくれる相手 〈複数回答〉

「家族・親せき」が79.1%と最も高く、次いで「友だち（学校や塾や習い事での友だちなど）」が69.4%、「学校の先生」が39.5%となっています。



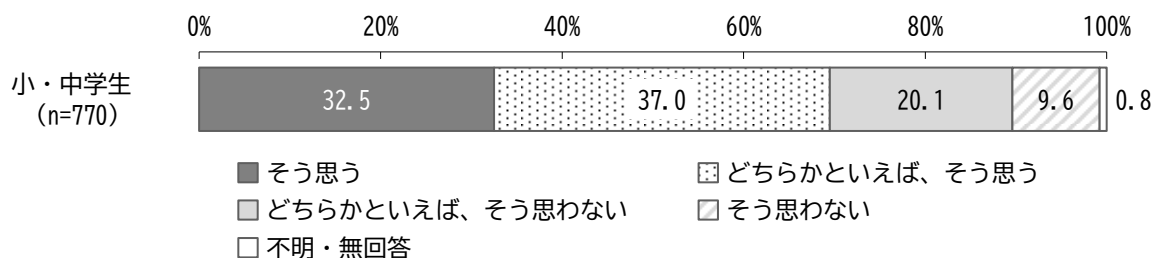
問 13 自身の思いや気持ちについて 〈単数回答〉

『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計）では、[2. 親（保護者）から愛されていると思う] の割合が 9 5. 2 % となっています。



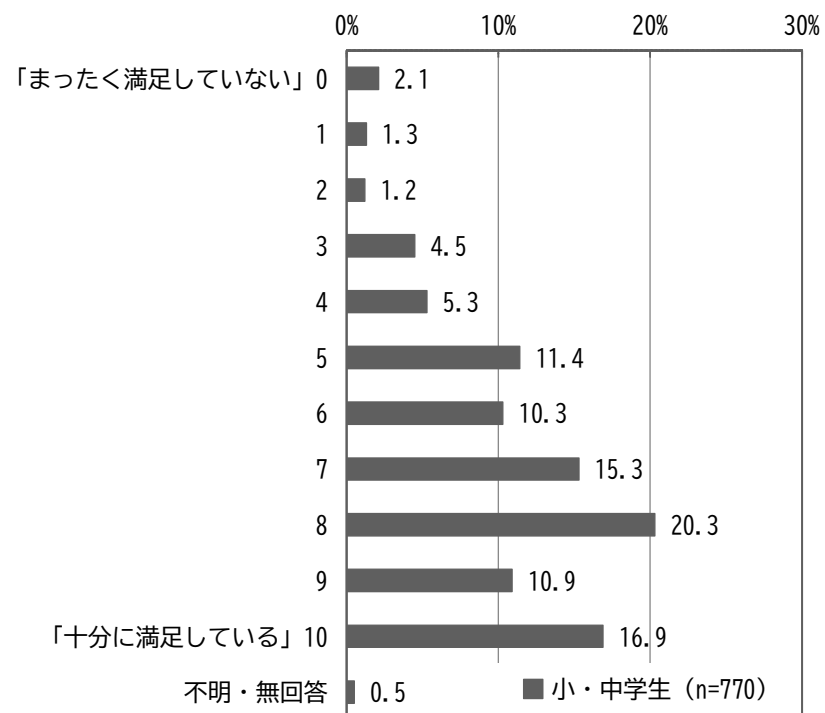
問 14 だれとでもすぐに仲良くなれるか 〈単数回答〉

『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が 6 9. 5 %、『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）が 2 9. 7 % となっています。



問 15 最近の生活全般への満足度 <単数回答>

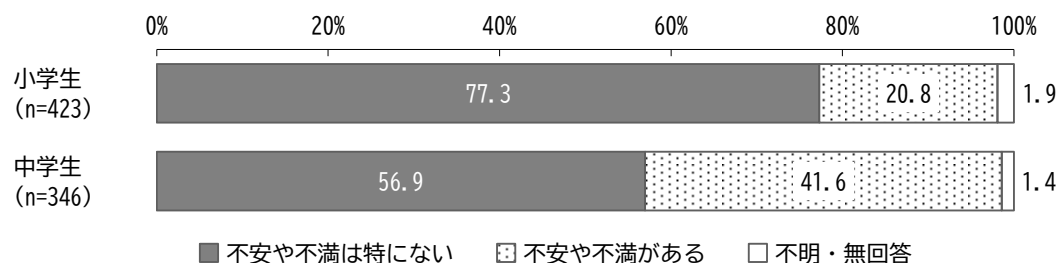
「満足度 8」が 20.3%と最も高く、次いで「満足度 10」が 16.9%、「満足度 7」が 15.3%となっています。



4. 学校生活について

問 16 学校生活について、不安や不満に感じていることがあるか〈単数回答〉

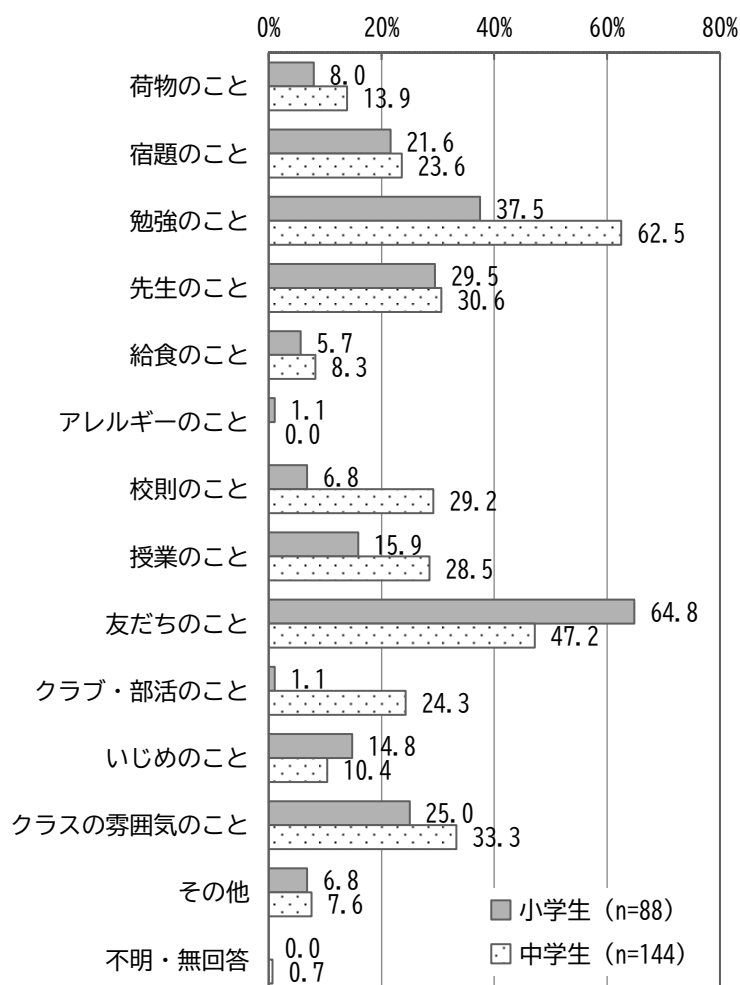
小学生と中学生で比較すると、中学生で「不安や不満がある」が41.6%と、小学生と比較して20.8ポイント高くなっています。



〔不安や不満がある方〕

問 16-1 学校生活のどのようなことに不安や不満に感じているか〈複数回答〉

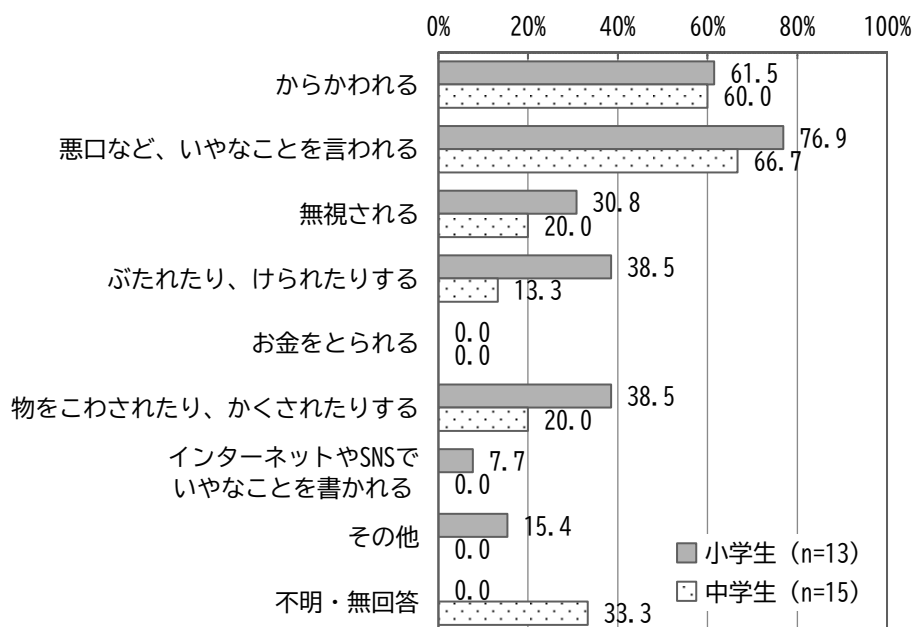
小学生と中学生で比較すると、小学生で「友だちのこと」が64.8%と、中学生と比較して17.6ポイント高くなっています。一方で、中学生で「勉強のこと」が62.5%と、小学生と比較して25.0ポイント高くなっているほか、「クラブ・部活のこと」が24.3%と23.2ポイント、「校則のこと」が29.2%と22.4ポイント高くなっています。



〔いじめを受けている方〕

問 17 どのようないじめを受けているか〈複数回答〉

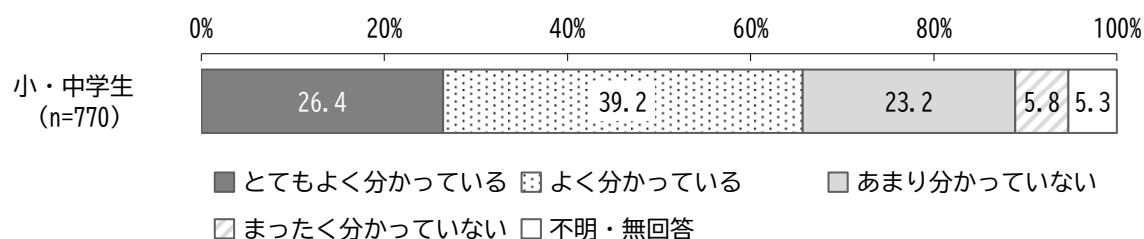
小学生と中学生で比較すると、小学生で「ぶたれたり、けられたりする」が38.5%と、中学生と比較して25.2ポイント高くなっているほか、「物をこわされたり、かくされたりする」が38.5%と18.5ポイント高くなっています。



5. 家庭について

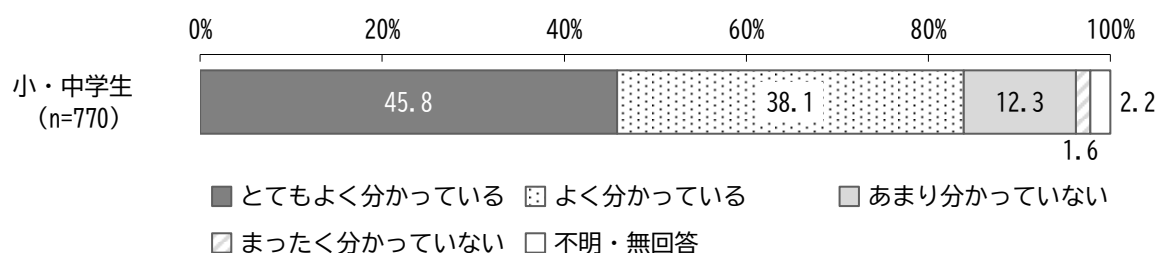
問 18 お父さんは気持ちを理解してくれているか 〈単数回答〉

『分かっている』（「とてもよく分かっている」と「よく分かっている」の合計）が65.6%、『分かっていない』（「あまり分かっていない」と「まったく分かっていない」の合計）が29.0%となっています。



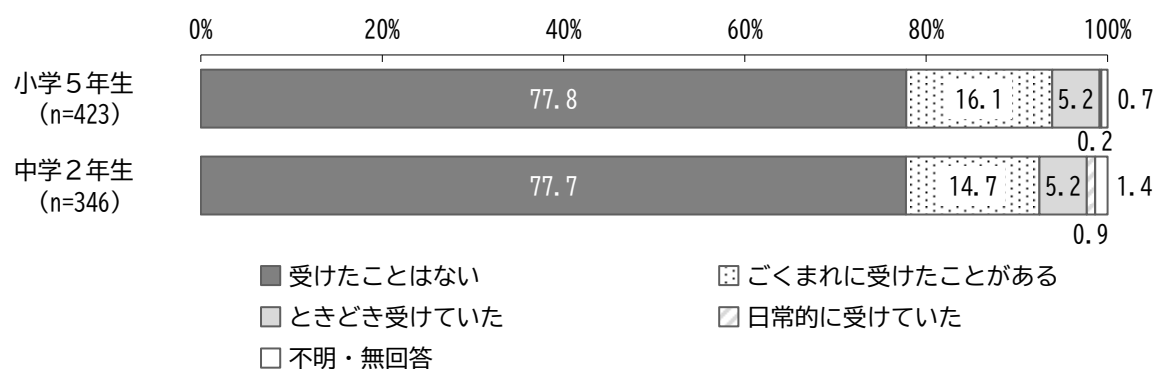
問 19 お母さんは気持ちを理解してくれているか 〈単数回答〉

『分かっている』（「とてもよく分かっている」と「よく分かっている」の合計）が83.9%、『分かっていない』（「あまり分かっていない」と「まったく分かっていない」の合計）が13.9%となっています。



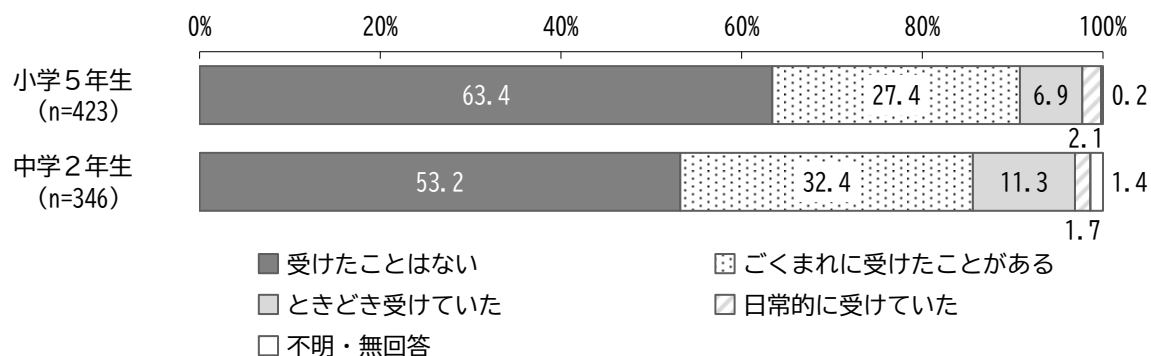
問 20 お父さんやお母さんから体罰を受けたことがあるか 〈単数回答〉

『受けたことがある』（「ごくまれに受けたことがある」と「ときどき受けていた」と「日常的に受けていた」の合算）が小学5年生で21.5%、中学2年生で20.8%となっています。



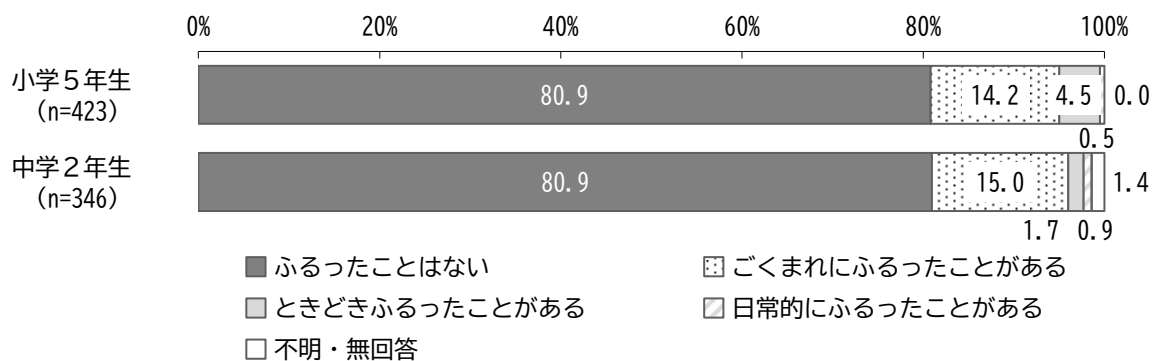
問 21 お父さんやお母さんから言葉によって傷つけられたことがあるか 〈単数回答〉

『受けたことがある』（「ごくまれに受けたことがある」と「ときどき受けていた」と「日常的に受けていた」の合算）が小学5年生で36.4%、中学2年生で45.4%となっています。



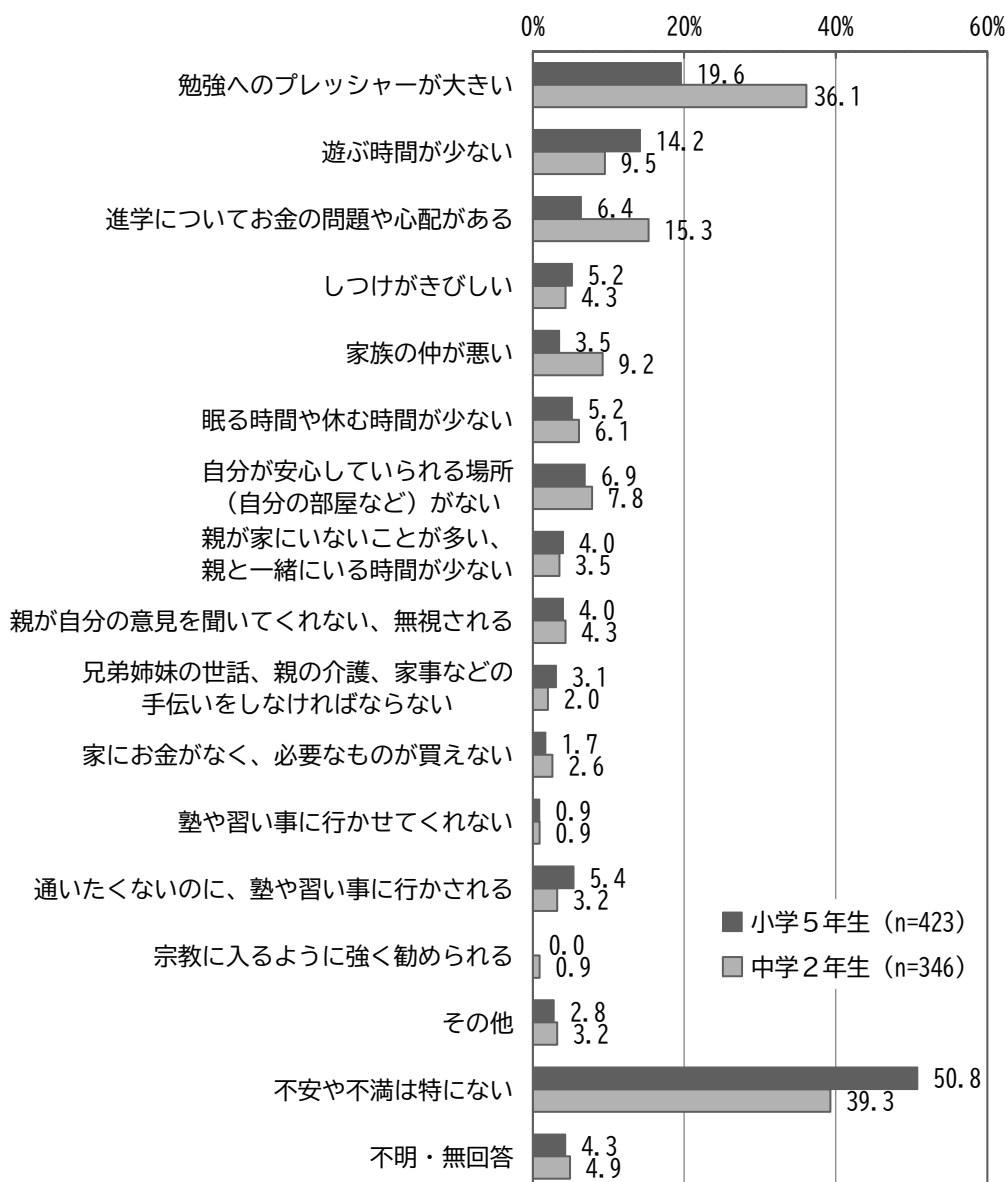
問 22 お父さんやお母さんに暴力をふるうことがあるか 〈単数回答〉

『ふるったことがある』（「ごくまれにふるったことがある」と「ときどきふるったことがある」と「日常的にふるったことがある」の合算）が小学5年生で19.2%、中学2年生で17.6%となっています。



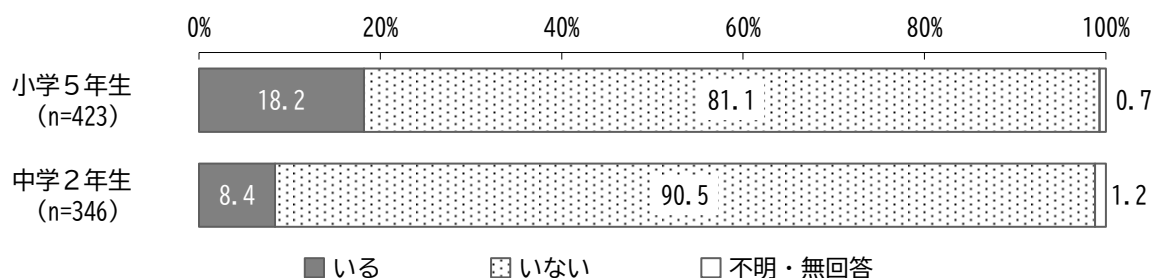
問 23 ふだんの家族との生活の中で、不安や不満に感じていることがあるか 〈複数回答〉

小学5年生、中学2年生ともに「勉強へのプレッシャーが大きい」が高くなっています。



問 24 家族の中にお世話をしている人がいるか 〈単数回答〉

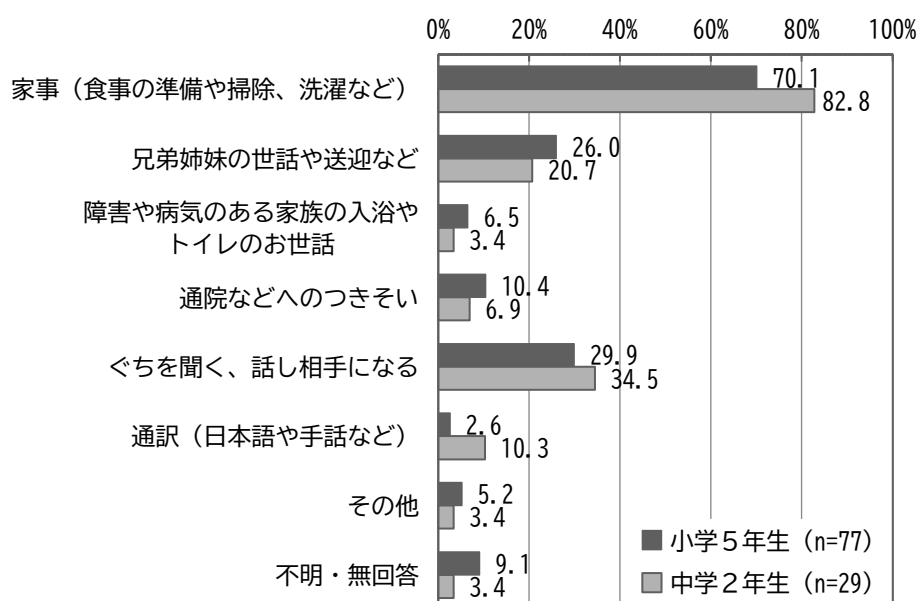
「いる」が小学5年生で18.2%、中学2年生で8.4%となっています。



〔世話をしている人がいる方〕

問 24-1 どのような世話をしているか<複数回答>

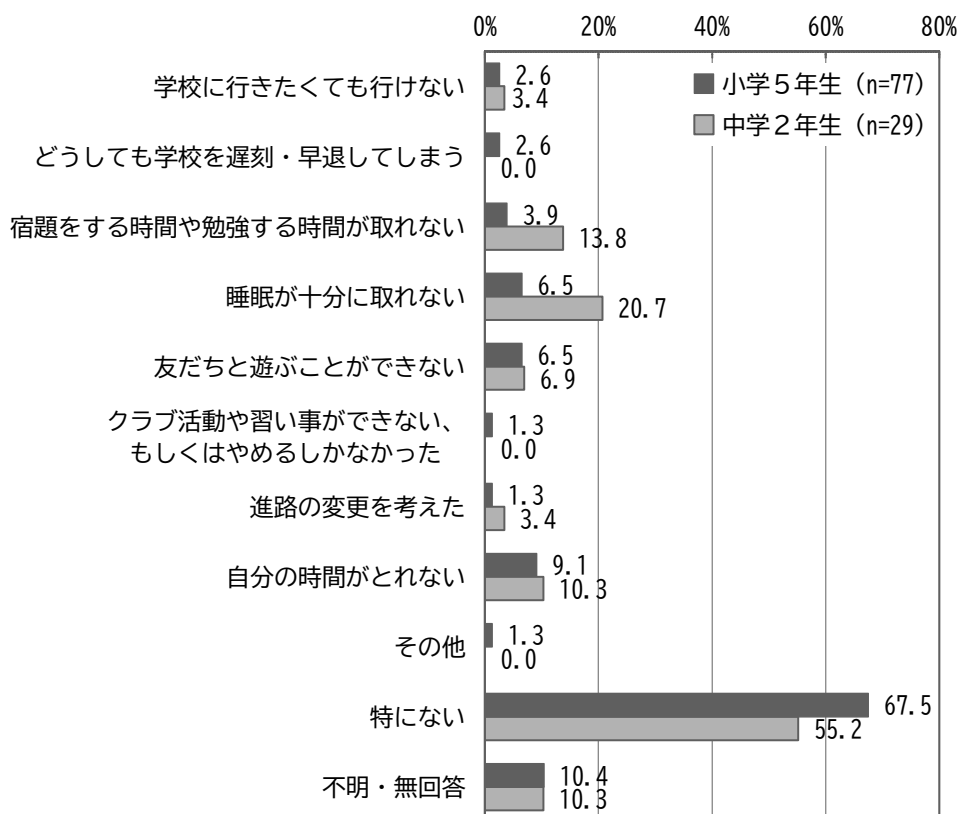
小学5年生、中学2年生ともに「家事（食事の準備や掃除、洗濯など）」が最も高くなっています。



〔世話をしている人がいる方〕

問 24-2 世話をしていることで、できていないこと<複数回答>

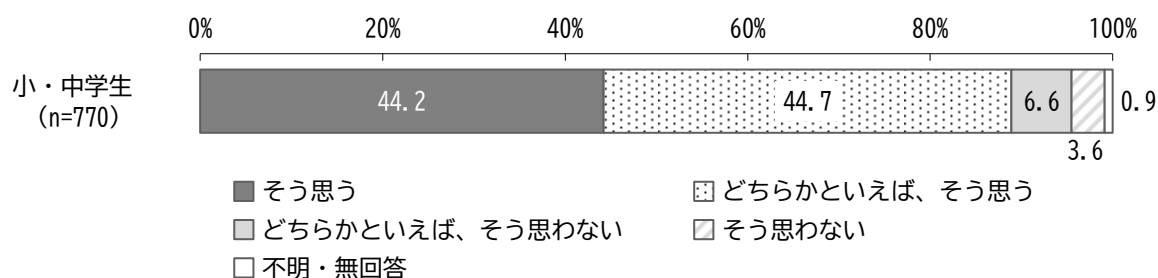
「特にない」「不明・無回答」を除いた割合は、小学5年生で22.1%（17人）、中学2年生で34.5%（10人）となっています。



6. 将来のことや働くことについて

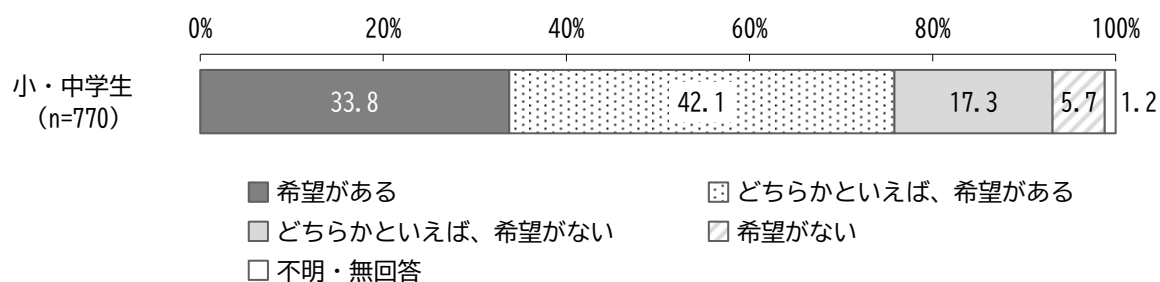
問 25 「社会のために役立つことをしたい」と思うか 〈単数回答〉

『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が 88.9%、『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）が 10.2%となっています。



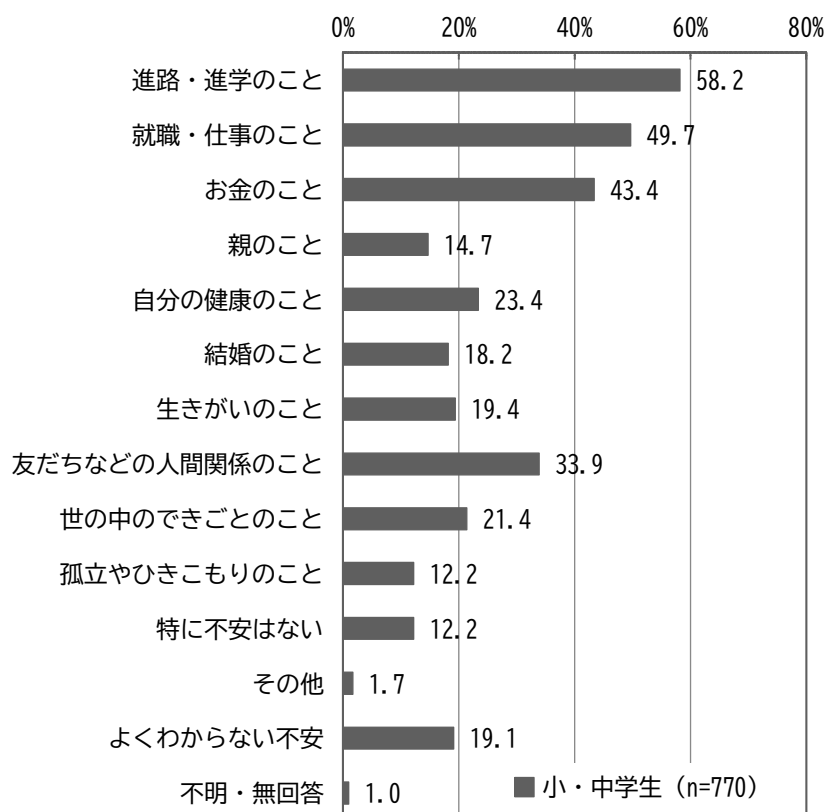
問 26 自分の将来について明るい希望を持っているか 〈単数回答〉

『希望がある』（「希望がある」と「どちらかといえば、希望がある」の合計）が 75.9%、『希望がない』（「希望がない」と「どちらかといえば、希望がない」の合計）が 23.0%となっています。



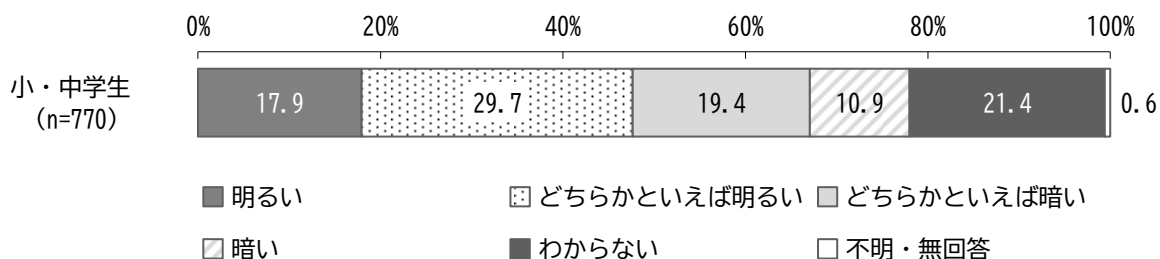
問 27 将来に対してどのようなことに不安を感じるか 〈複数回答〉

「進路・進学のこと」が58.2%と最も高く、次いで「就職・仕事のこと」が49.7%、「お金のこと」が43.4%となっています。



問 28 日本の将来は明るいと思うか 〈単数回答〉

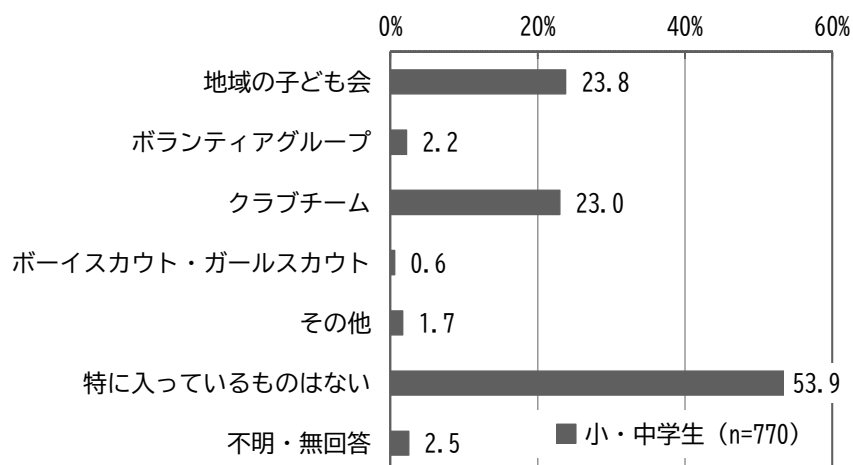
『明るい』（「明るい」と「どちらかといえば明るい」の合計）が47.6%、『暗い』（「暗い」と「どちらかといえば暗い」の合計）が30.3%、「わからない」が21.4%となっています。



7. 地域とのかかわりについて

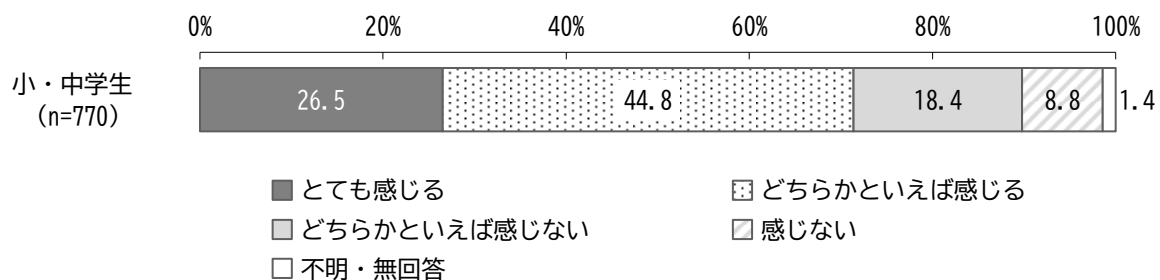
問 29 地域の中で入っているもの <複数回答>

「特に入っているものはない」が53.9%と最も高く、次いで「地域の子ども会」が23.8%、「クラブチーム」が23.0%となっています。



問 30 ふだんから地域の人に見守られていると感じるか <単数回答>

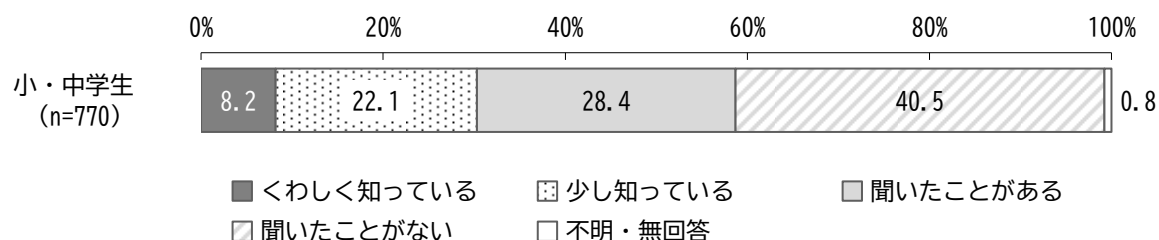
『感じる』（「とても感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計）が71.3%、『感じない』（「感じない」と「どちらかといえば感じない」の合計）が27.2%となっています。



8. こどもの権利について

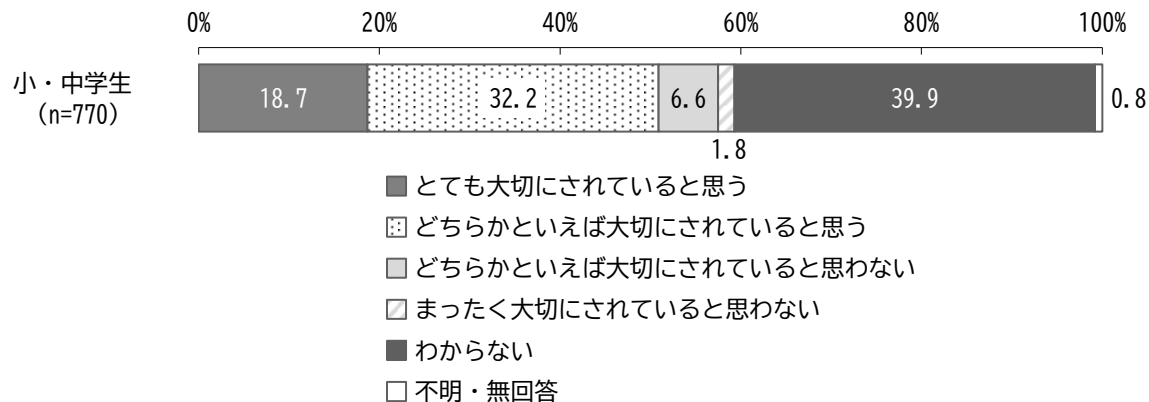
問 31 「こどもの権利」について知っているか 〈単数回答〉

「聞いたことがない」が40.5%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が28.4%、「少し知っている」が22.1%となっています。



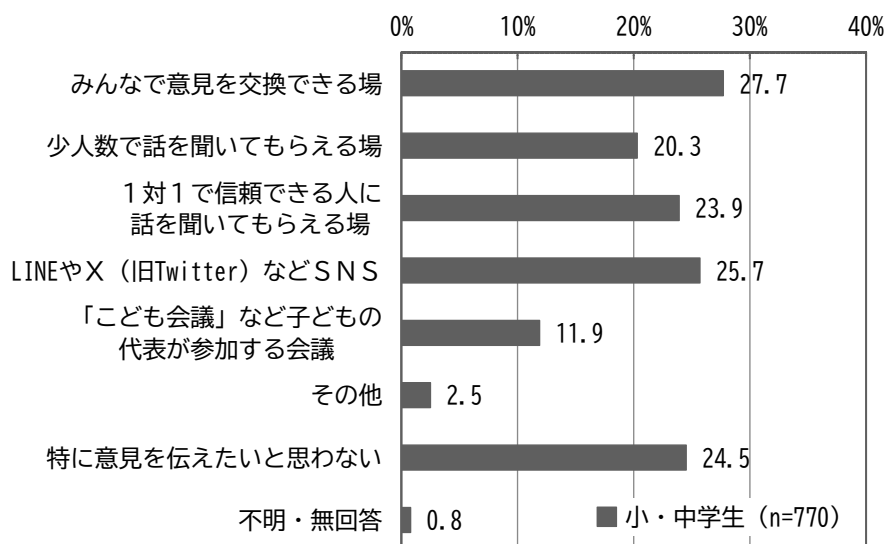
問 32 安城市において、こどもの権利が大切にされていると思うか 〈単数回答〉

『大切にされていると思う』（「とても大切にされていると思う」と「どちらかといえば大切にされていると思う」の合計）が50.9%、『大切にされていると思わない』（「まったく大切にされていると思わない」と「どちらかといえば大切にされていると思わない」の合計）が39.9%、「わからない」が1.8%となっています。



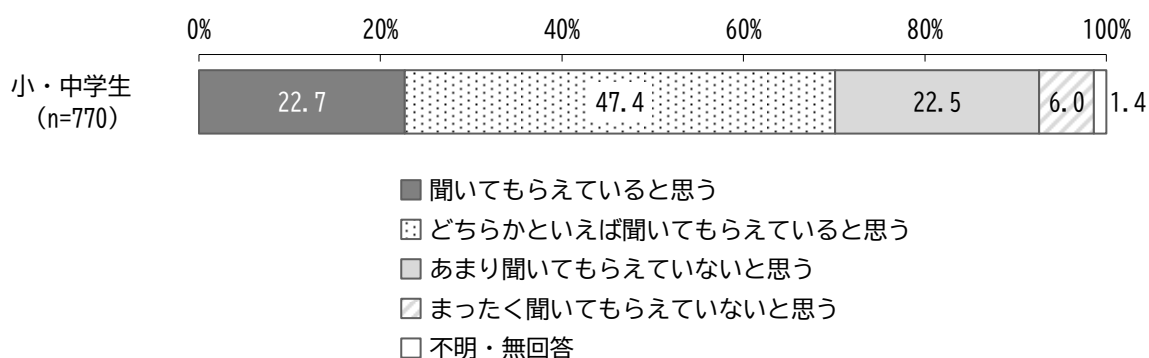
問 33 みんなの意見を市役所に伝えるための参加しやすい方法 〈複数回答〉

「みんなで意見を交換できる場」が27.7%と最も高く、次いで「LINEやX（旧Twitter）などSNS」が25.7%、「特に意見を伝えたいと思わない」が24.5%となっています。



問 34 安城市の取組において、こども・若者の意見を聞いてもらえていると思うか 〈単数回答〉

『聞いてもらえていると思う』（「聞いてもらえていると思う」と「どちらかといえば聞いてもらえていると思う」の合計）が70.1%、『聞いてもらえていないと思う』（「まったく聞いてもらえていないと思う」と「あまり聞いてもらえていないと思う」の合計）が28.5%となっています。



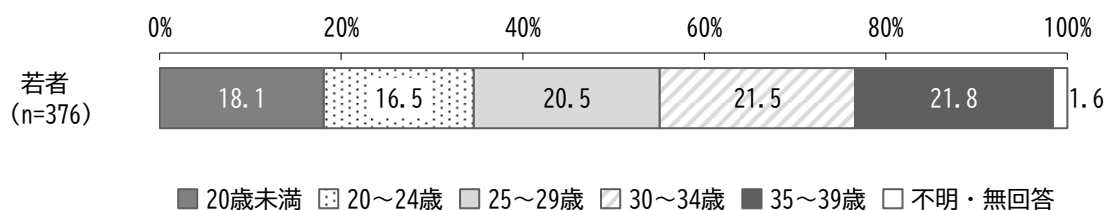
IV. 16 歳～39 歳調査結果

1. 回答者について

問1 回答者の年齢 <数量回答>

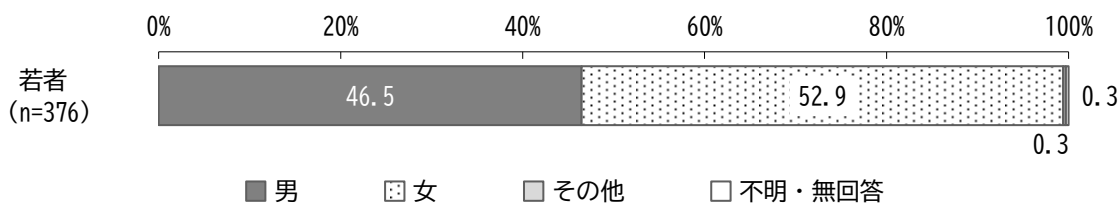
「35～39歳」が21.8%と最も高く、次いで「30～34歳」が21.5%、「25～29歳」が20.5%となっています。

※令和6年1月1日現在



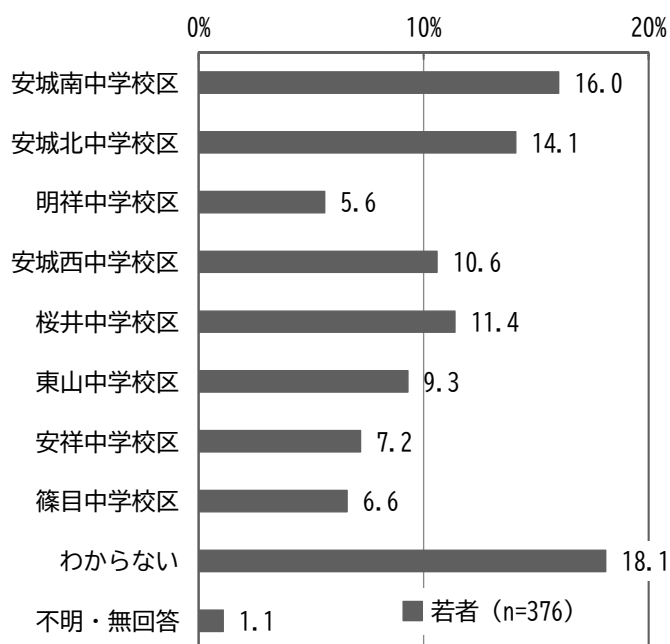
問2 回答者の性別 <単数回答>

「男」が46.5%、「女」が52.9%、「その他」が0.3%となっています。



問3 回答者の居住中学校区 <単数回答>

「わからない」が18.1%と最も高く、次いで「安城南中学校区」が16.0%、「安城北中学校区」が14.1%となっています。

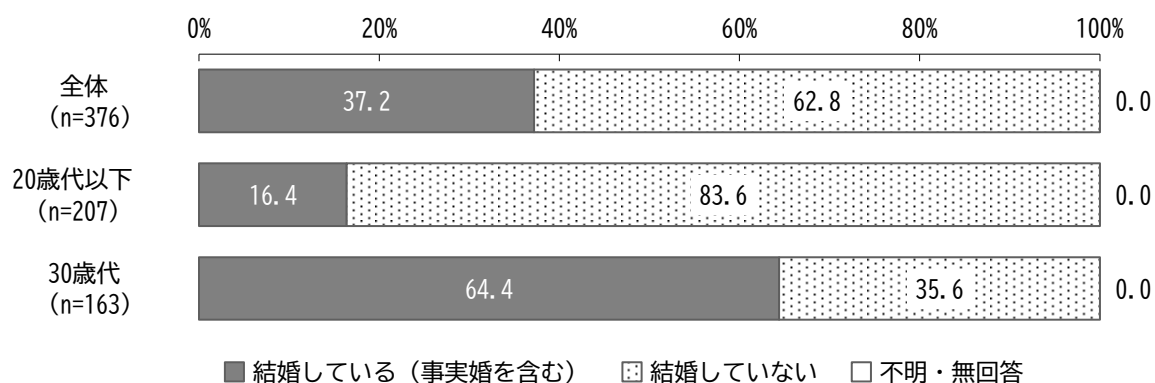


問4 回答者の結婚の有無 <単数回答>

全体では、「結婚している（事実婚を含む）」が37.2%、「結婚していない」が62.8%となっています。

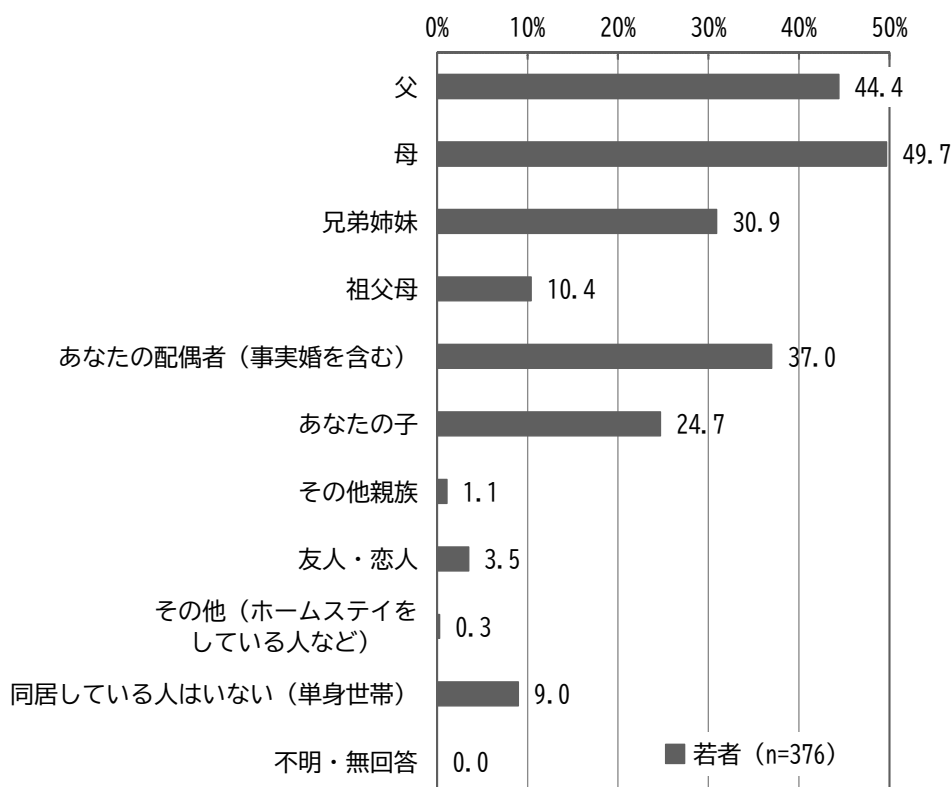
20歳代以下では、「結婚している（事実婚を含む）」が16.4%、「結婚していない」が83.6%となっています。

30歳代では、「結婚している（事実婚を含む）」が64.4%、「結婚していない」が35.6%となっています。



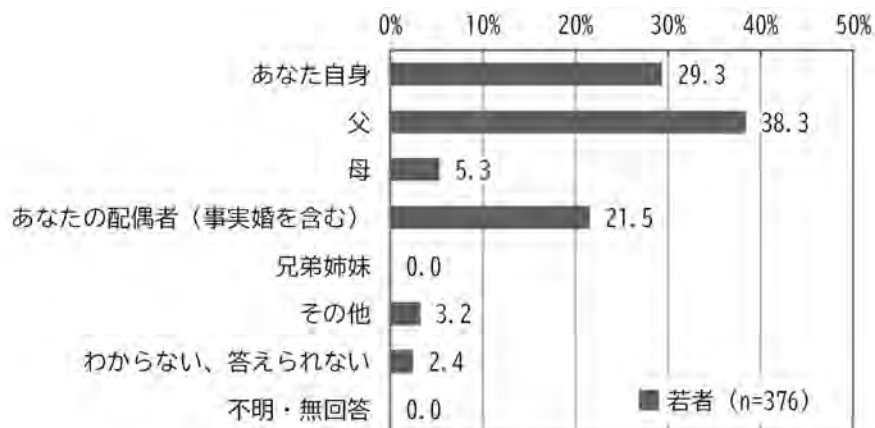
問5 同居している家族 <複数回答>

「母」が49.7%と最も高く、次いで「父」が44.4%、「あなたの配偶者（事実婚を含む）」が37.0%となっています。



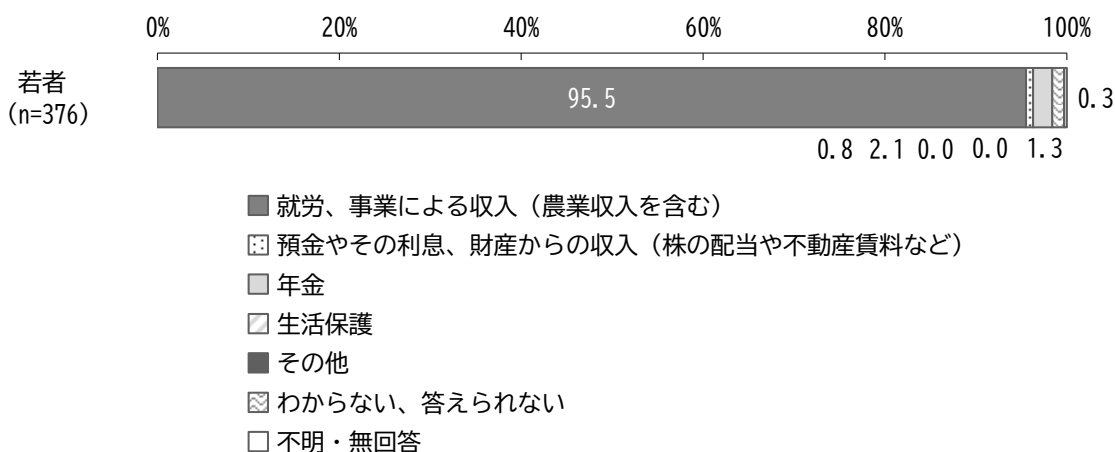
問6-(1) 生計を支えている方、または仕送りを主にしてくれている方 〈単数回答〉

「父」が38.3%と最も高く、次いで「あなた自身」が29.3%、「あなたの配偶者（事実婚を含む）」が21.5%となっています。



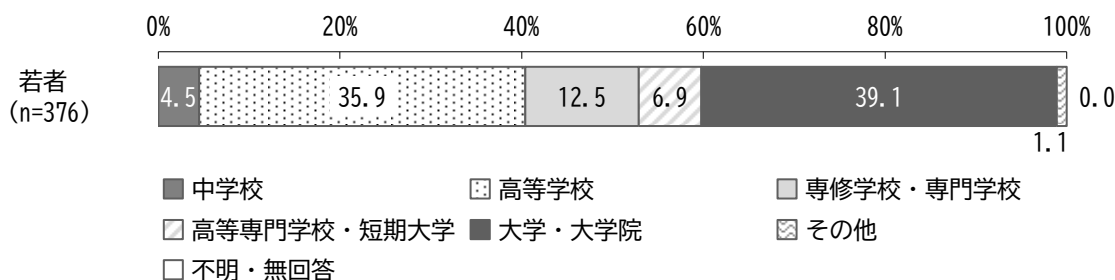
問6-(2) 生計を支えている方の主な収入源 〈単数回答〉

「就労、事業による収入（農業収入を含む）」が95.5%と最も高く、次いで「年金」が2.1%、「わからない、答えられない」が1.3%となっています。



問7 最後に卒業(中退含む)した学校、または在学中の学校 〈単数回答〉

「大学・大学院」が39.1%と最も高く、次いで「高等学校」が35.9%、「専修学校・専門学校」が12.5%となっています。



問8 現在の状況 <単数回答>

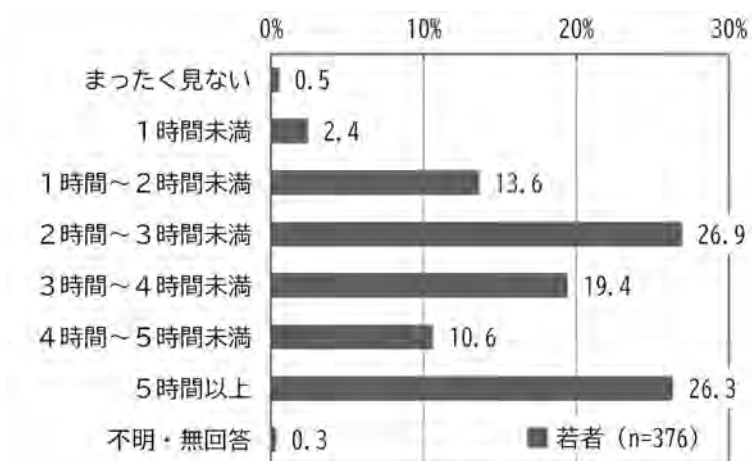
「正規の社員・職員・従業員」が54.3%と最も高く、次いで「生徒・学生（予備校生などを含む）」が23.1%、「パート・アルバイト」が8.2%となっています。



2. 普段の生活について

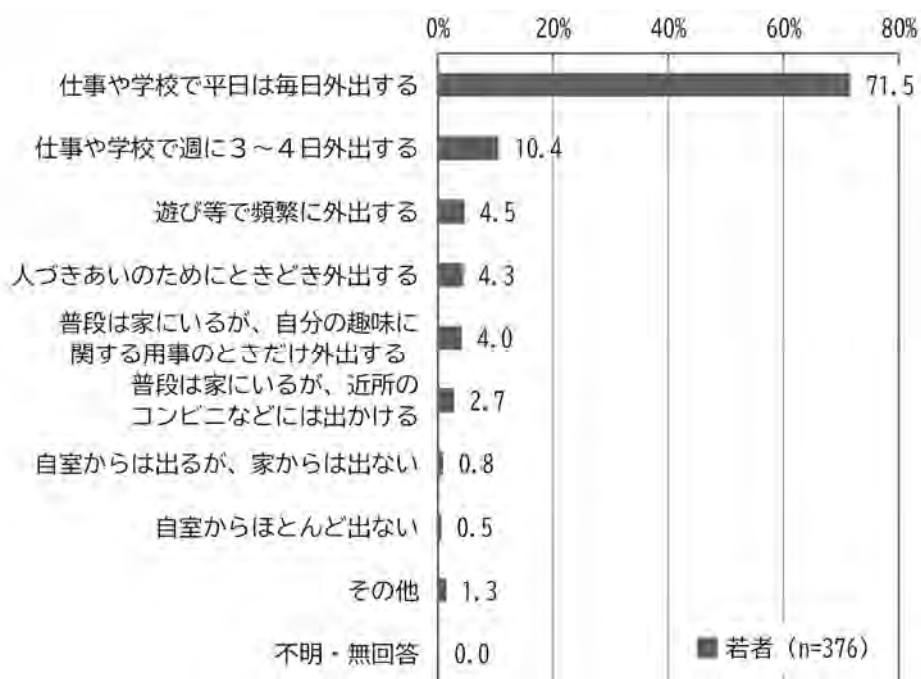
問9 1日の情報機器の使用時間 〈単数回答〉

「2時間～3時間未満」が26.9%と最も高く、次いで「5時間以上」が26.3%、「3時間～4時間未満」が19.4%となっています。



問10 普段の外出の頻度 〈単数回答〉

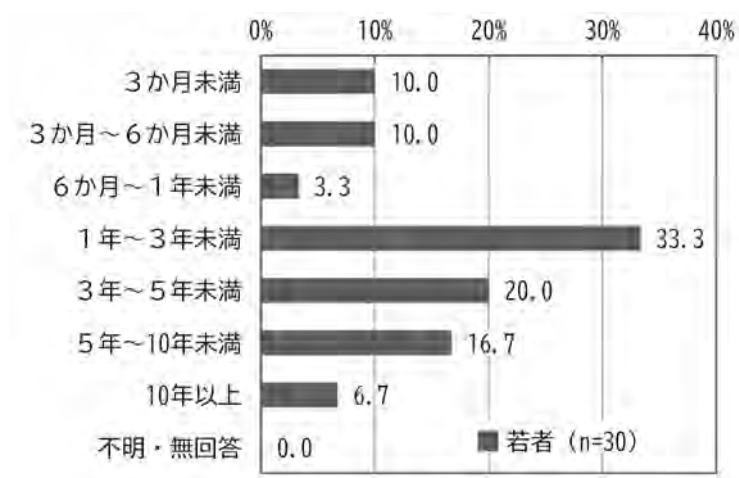
「仕事や学校で平日は毎日外出する」が71.5%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」が10.4%、「遊び等で頻繁に外出する」が4.5%となっています。



〔普段、家から出ない方〕

問 11 外出状況が現在の状態となってどのくらい経つか 〈単数回答〉

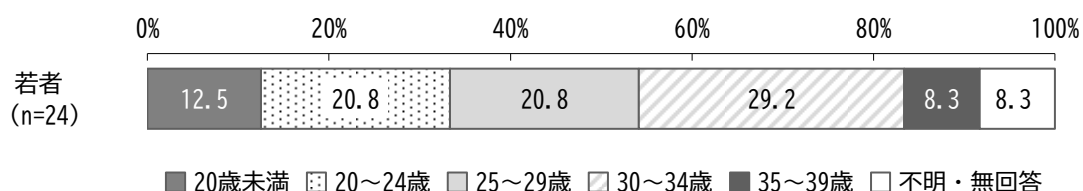
「1年～3年未満」が33.3%と最も高く、次いで「3～5年未満」が20.0%、「5年～10年未満」が16.7%となっています。



〔6か月以上ほとんど外出していない方〕

問 12 外出状況が現在の状態となったのは何歳くらいの頃か 〈数量回答〉

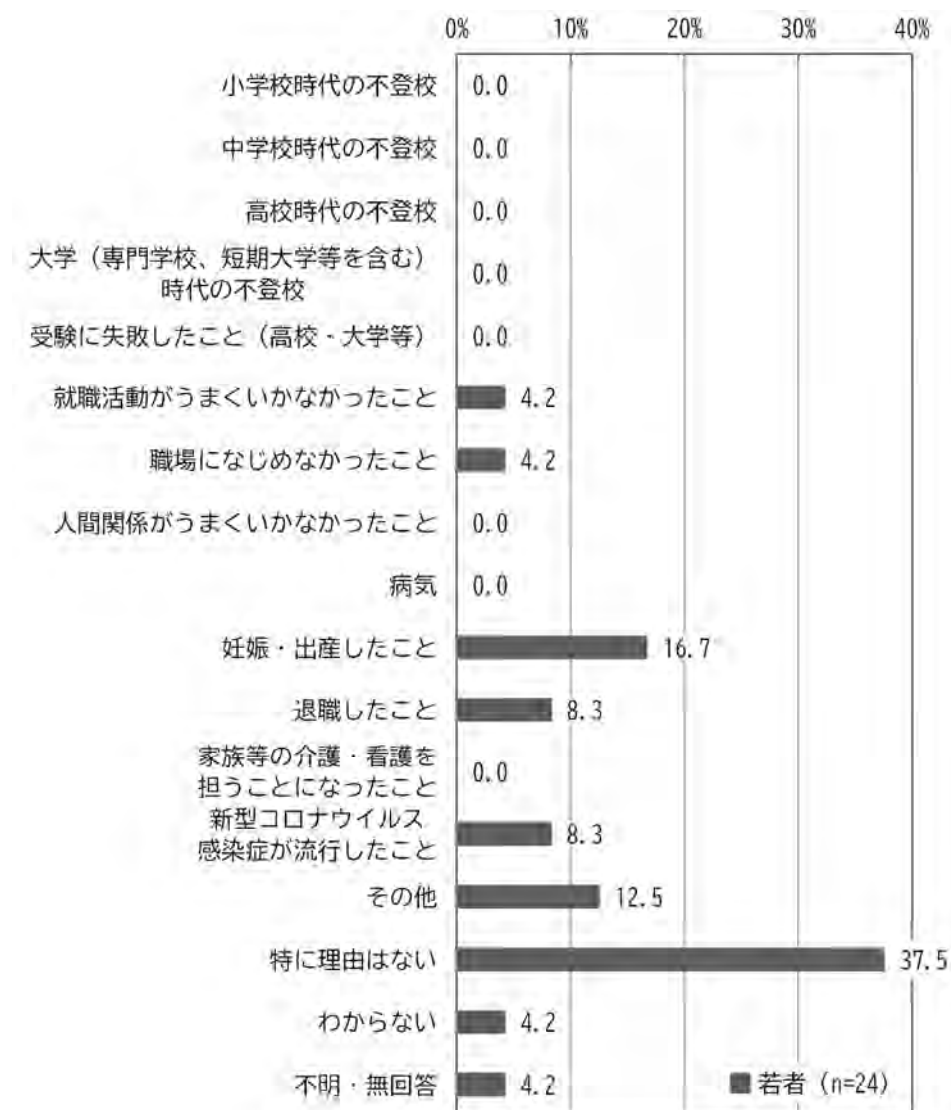
「30～34歳」が29.2%と最も高く、次いで「20～24歳」「25～29歳」がそれぞれ20.8%、「20歳未満」が12.5%となっています。



[6ヶ月以上ほとんど外出していない方]

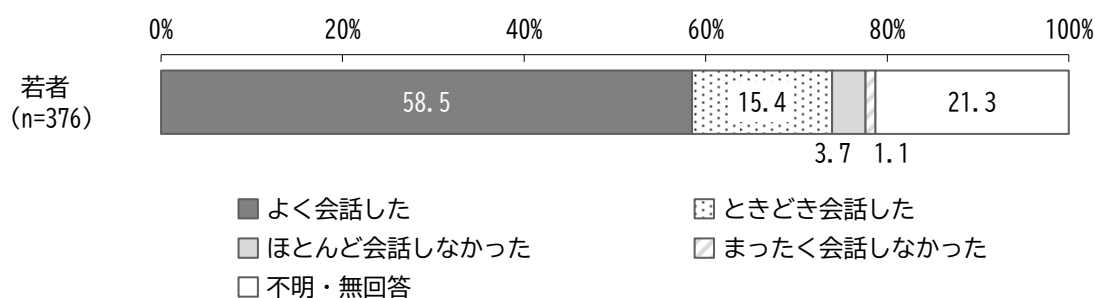
問 13 外出状況が現在の状態となった理由 <単数回答>

「特に理由はない」が37.5%と最も高く、次いで「妊娠・出産したこと」が16.7%、「その他」が12.5%となっています。



問 14 最近6か月で家族以外と会話したか <単数回答>

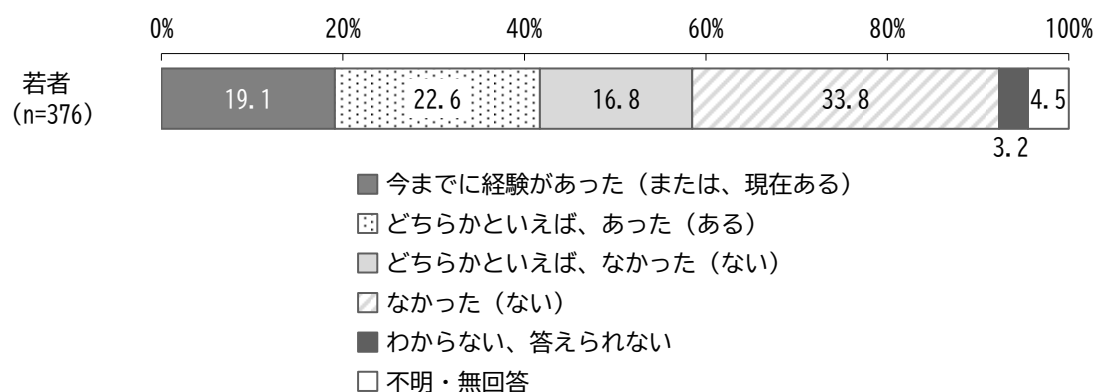
『会話した』（「よく会話した」と「ときどき会話した」の合計）が73.9%、『会話しなかった』（「ほとんど会話しなかった」と「まったく会話しなかった」の合計）が4.8%となっています。



問 15 今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験があったか

<単数回答>

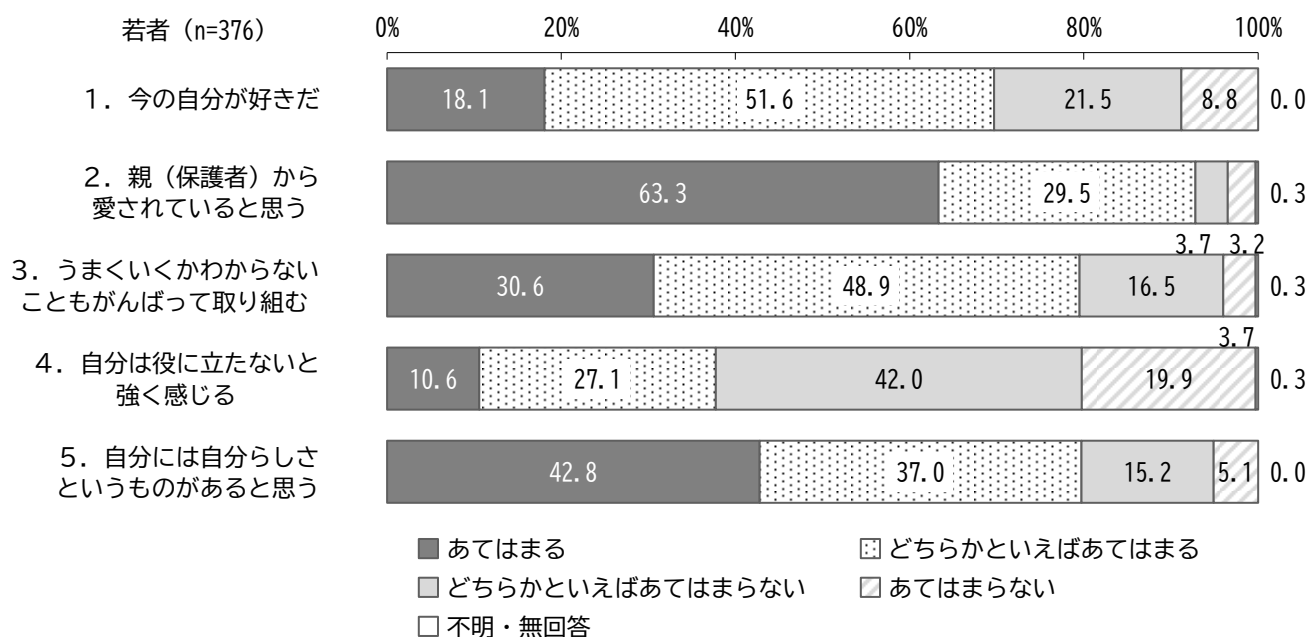
『今までに経験があった』（「今までに経験があった（または、現在ある）」と「どちらかといえば、あった（ある）」の合計）が41.7%、『今までに経験がなかった』（「どちらかといえば、なかった（ない）」と「なかった（ない）」の合計）が50.6%、「わからない、答えられない」が3.2%となっています。



3. 自分自身について

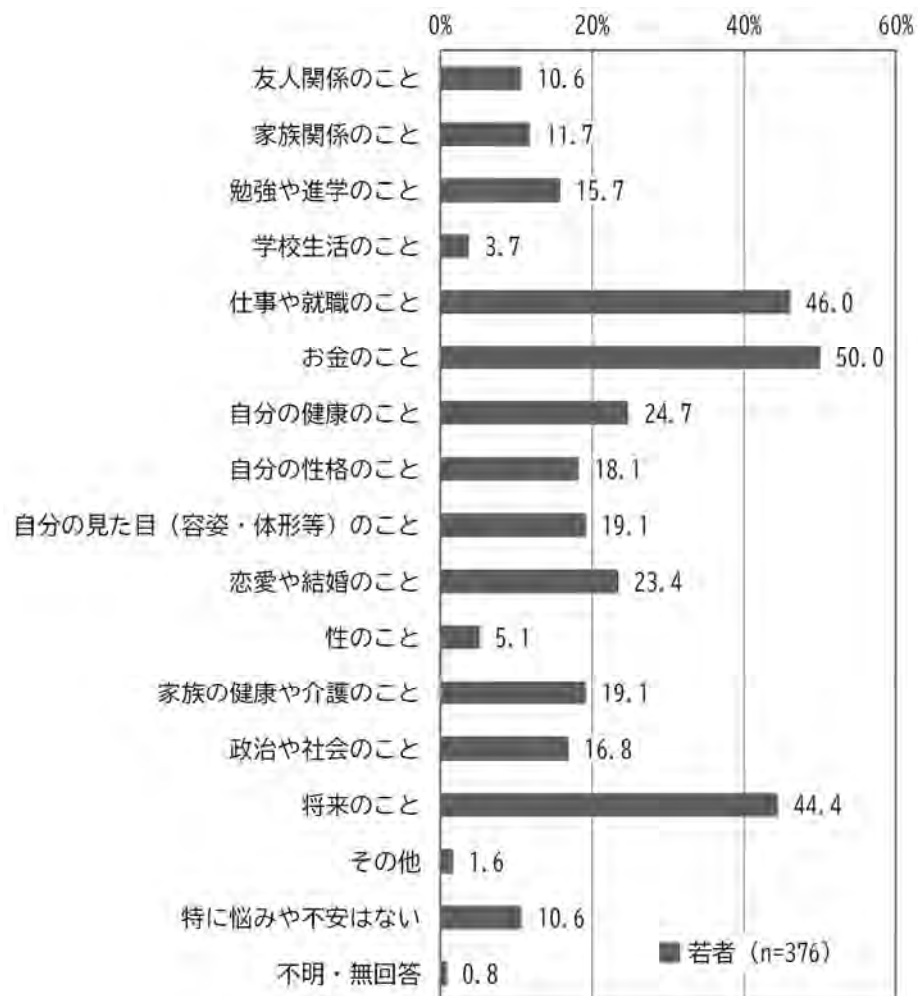
問 16 自身の思いや気持ちについて 〈単数回答〉

『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計）では、[2. 親（保護者）から愛されていると思う] の割合が 92.8% となっています。



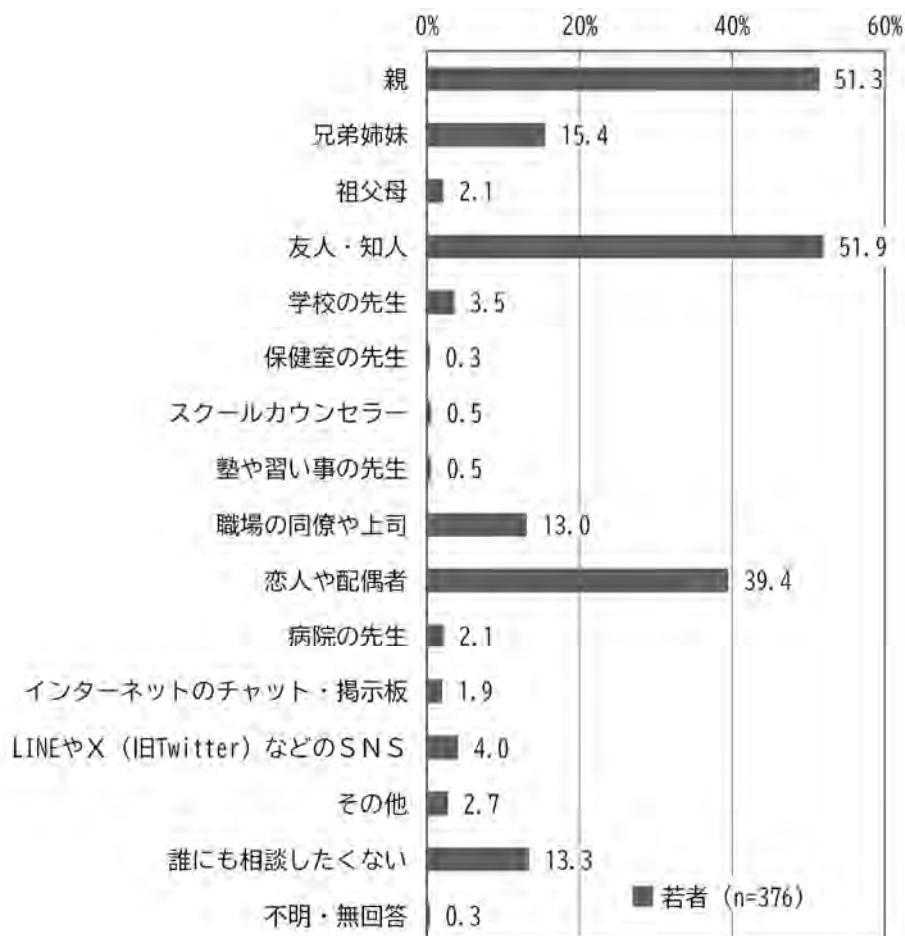
問 17 悩んでいることや不安に感じていること 〈複数回答〉

「お金のこと」が50.0%と最も高く、次いで「仕事や就職のこと」が46.0%、「将来のこと」が44.4%となっています。



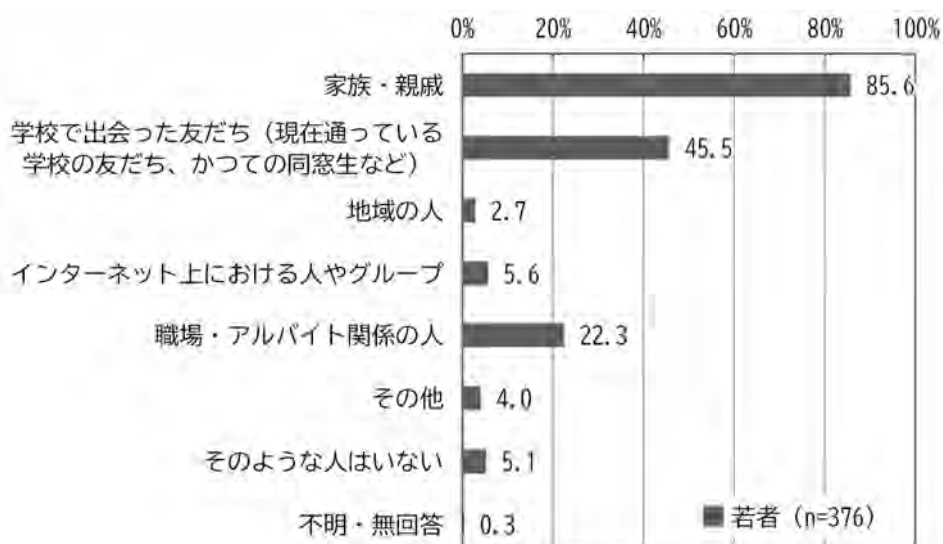
問 18 悩みや不安に感じたときの相談相手 〈複数回答〉

「友人・知人」が51.9%と最も高く、次いで「親」が51.3%、「恋人や配偶者」が39.4%となっています。



問 19 「困ったときは助けてくれる」人は誰か 〈複数回答〉

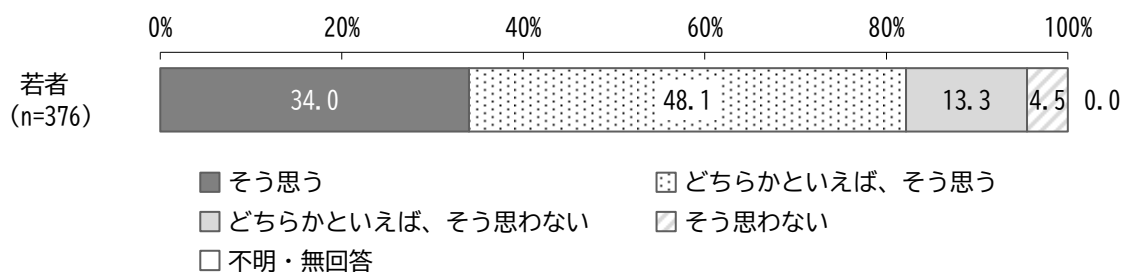
「家族・親戚」が85.6%と最も高く、次いで「学校で出会った友だち（現在通っている学校の友だち、かつての同窓生など）」が45.5%、「職場・アルバイト関係の人」が22.3%となっています。



4. 将来のことや働くことについて

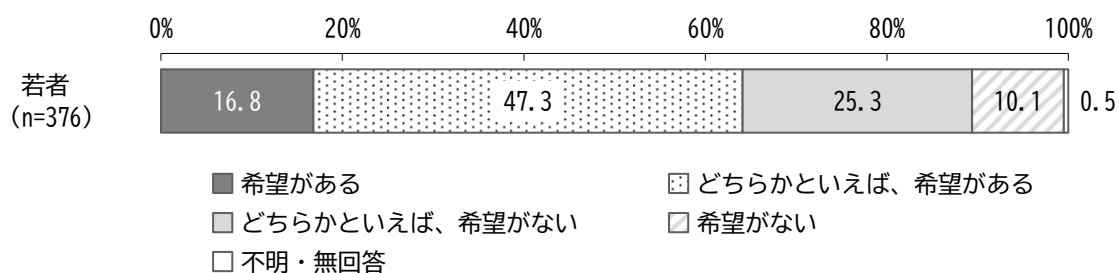
問 20 「社会のために役立つことをしたい」と思うか 〈単数回答〉

『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が82.1%、『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）が17.8%となっています。



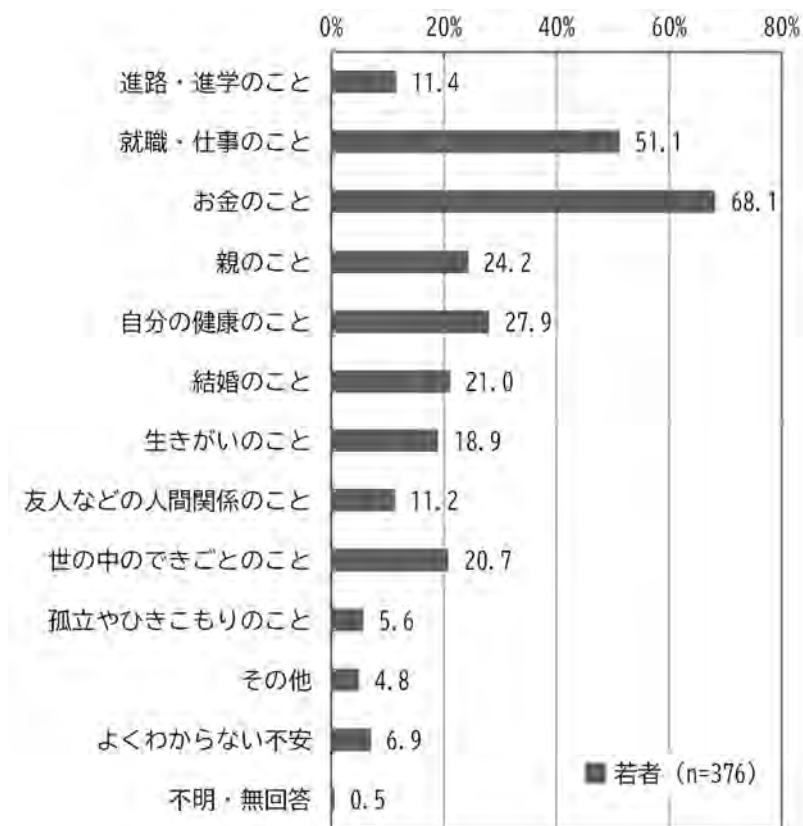
問 21 自分の将来について明るい希望を持っているか 〈単数回答〉

『希望がある』（「希望がある」と「どちらかといえば、希望がある」の合計）が64.1%、『希望がない』（「希望がない」と「どちらかといえば、希望がない」の合計）が35.4%となっています。



問 22 将来に対してどのようなことに不安を感じるか 〈複数回答〉

「お金のこと」が68.1%と最も高く、次いで「就職・仕事のこと」が51.1%、「自分の健康のこと」が27.9%となっています。

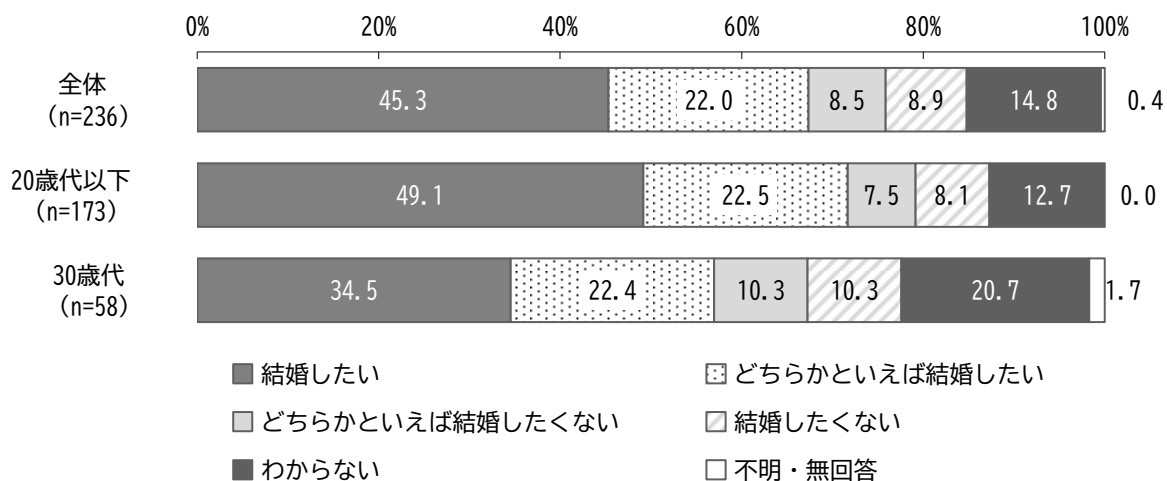


〔結婚していない方〕

問 23 将来、結婚したいか 〈単数回答〉

全体では、『結婚したい』（「結婚したい」と「どちらかといえば結婚したい」の合計）が67.3%、『結婚したくない』（「結婚したくない」と「どちらかといえば結婚したくない」の合計）が17.4%、「わからない」が14.8%となっています。

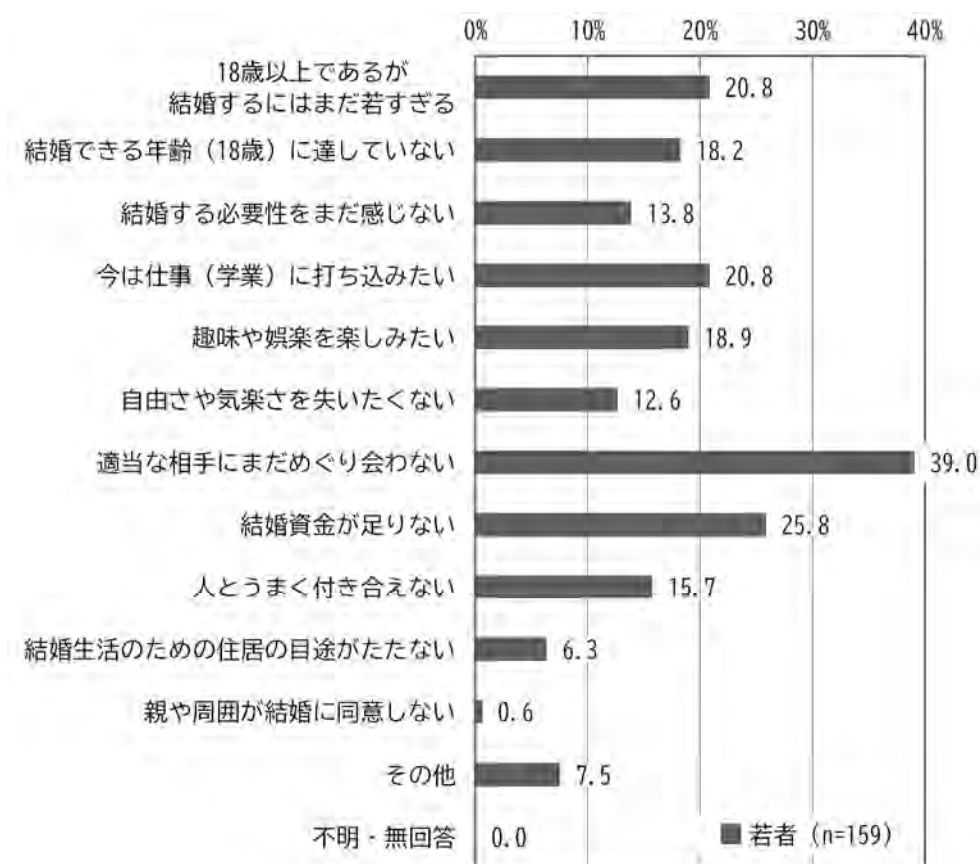
20歳代以下では、『結婚したい』（「結婚したい」と「どちらかといえば結婚したい」の合計）が71.6%と、30歳代と比較して14.7ポイント高くなっています。



〔結婚したい方〕

問 24 現在、結婚していない理由 〈複数回答〉

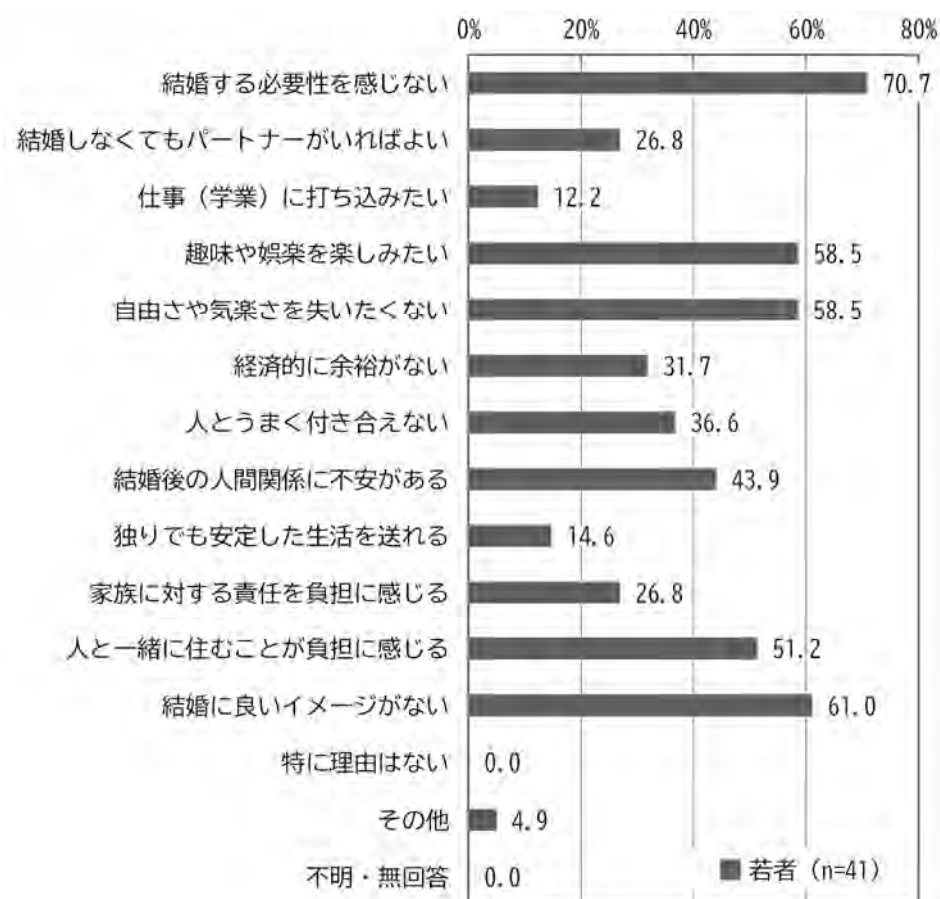
「適当な相手にまだめぐり会わない」が39.0%と最も高く、次いで「結婚資金が足りない」が25.8%、「18歳以上であるが結婚するにはまだ若すぎる」「今は仕事（学業）に打ち込みたい」がそれぞれ20.8%となっています。



〔結婚したくない方〕

問 25 結婚したくない理由 〈複数回答〉

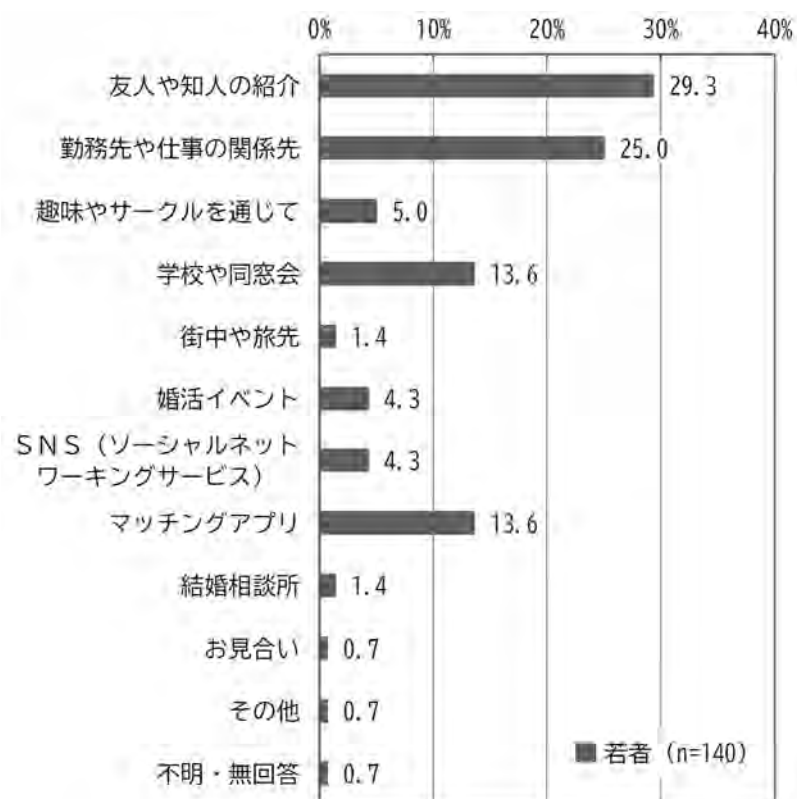
「結婚する必要性を感じない」が70.7%と最も高く、次いで「結婚に良いイメージがない」が61.0%、「趣味や娯楽を楽しみたい」「自由さや気楽さを失いたくない」がそれぞれ58.5%となっています。



〔結婚している方〕

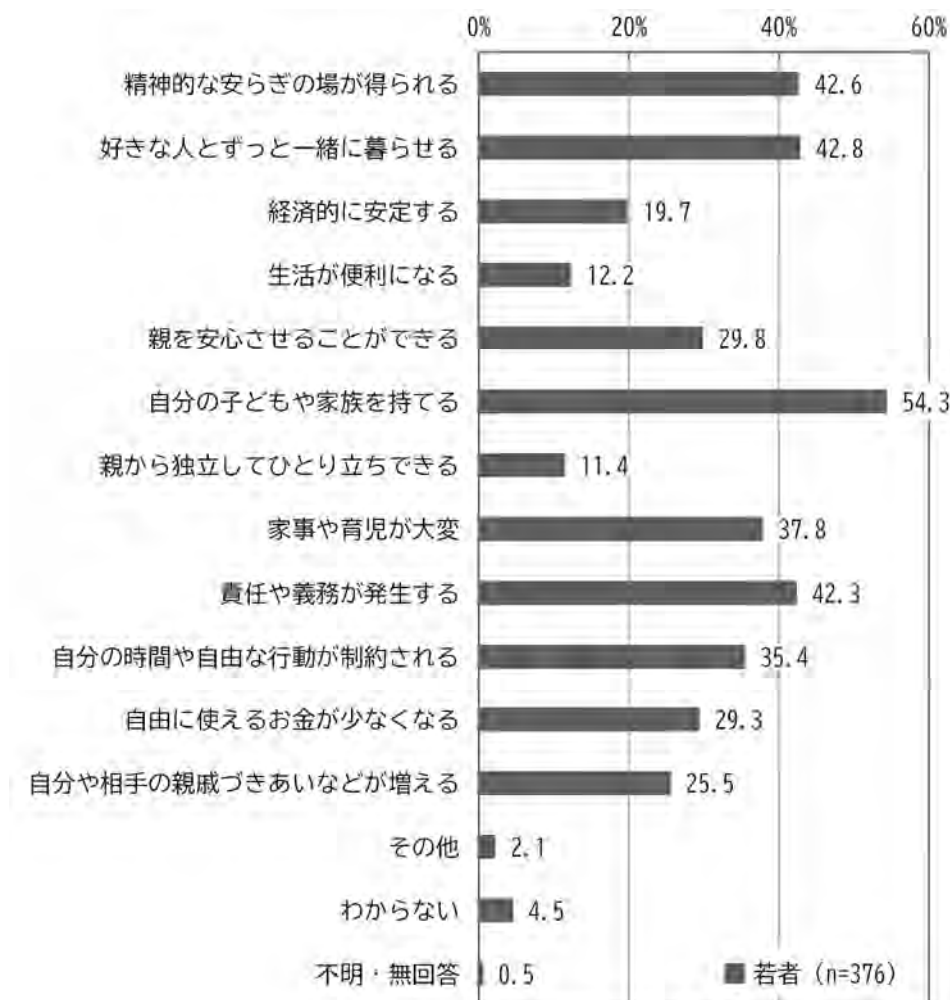
問 26 結婚相手との出会いのきっかけ 〈単数回答〉

「友人や知人の紹介」が29.3%と最も高く、次いで「勤務先や仕事の関係先」が25.0%、「学校や同窓会」「マッチングアプリ」がそれぞれ13.6%となっています。



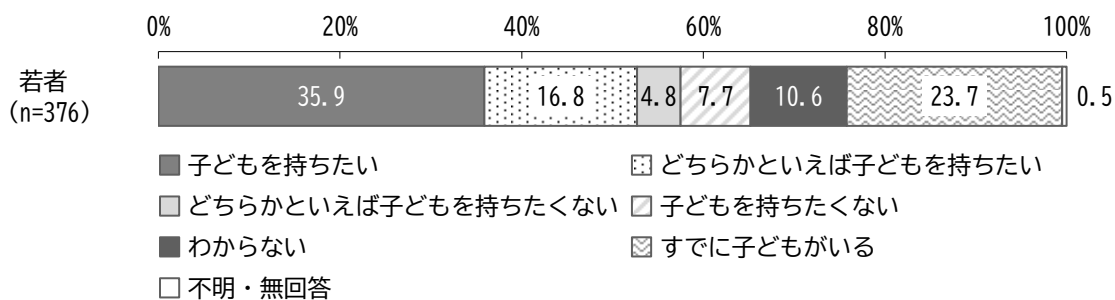
問 27 「結婚」をどのように考えているか 〈複数回答〉

「自分の子どもや家族を持てる」が54.3%と最も高く、次いで「好きな人とずっと一緒に暮らせる」が42.8%、「精神的な安らぎの場が得られる」が42.6%となっています。



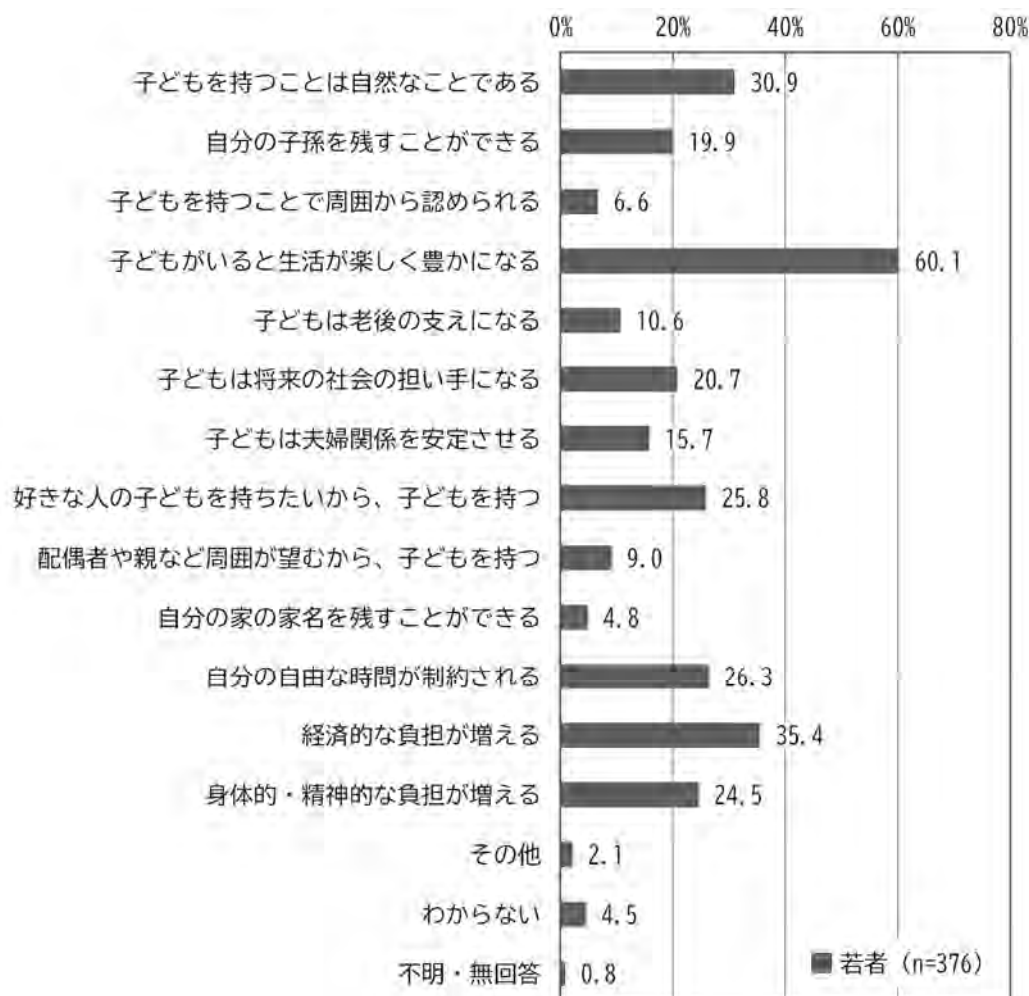
問 28 将来、子どもを持ちたいか 〈単数回答〉

『子どもを持ちたくない』（「子どもを持ちたくない」と「どちらかといえば子どもを持ちたくない」の合計）が12.5%、「わからない」が10.6%、「すでに子どもがいる」が23.7%となっています。



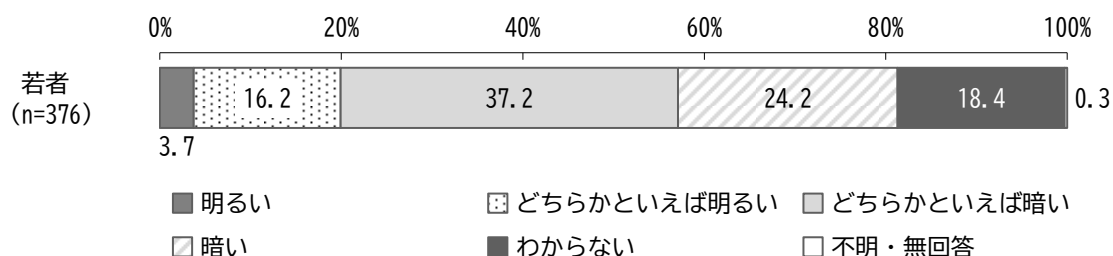
問 29 「子どもを持つこと」をどのように考えているか 〈複数回答〉

「子どもがいると生活が楽しく豊かになる」が60.1%と最も高く、次いで「経済的な負担が増える」が35.4%、「子どもを持つことは自然なことである」が30.9%となっています。



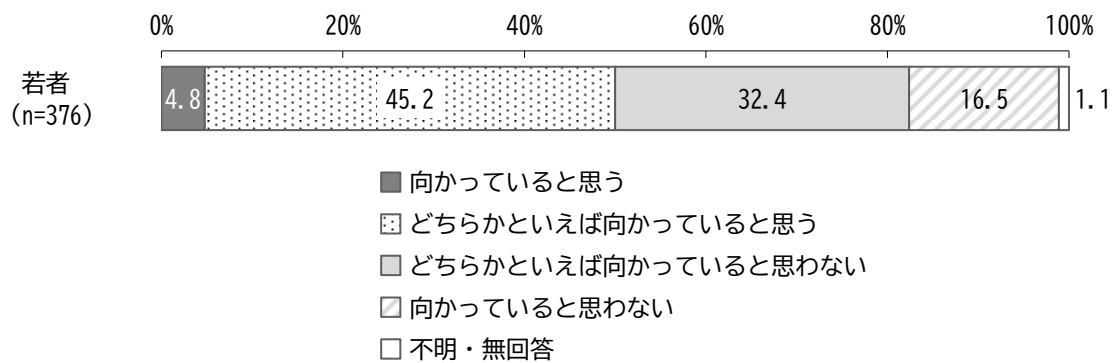
問 30 日本の将来は明るいと思うか 〈単数回答〉

『明るい』（「明るい」と「どちらかといえば明るい」の合計）が19.9%、『暗い』（「暗い」と「どちらかといえば暗い」の合計）が61.4%、「わからない」が18.4%となっています。



問 31 安城市において、「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思うか <単数回答>

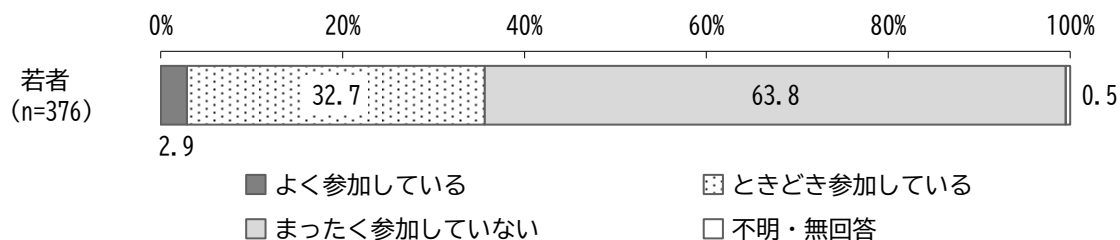
『向かっていると思う』（「向かっていると思う」と「どちらかといえば向かっていると思う」の合計）が50.0%、『向かっていると思わない』（「向かっていると思わない」と「どちらかといえば向かっていると思わない」の合計）が48.9%となっています。



5. 地域とのかかわりや市の取組について

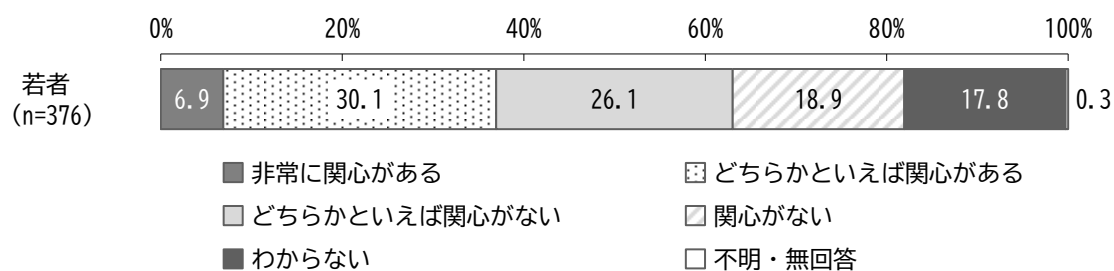
問 32 地域の活動や行事への参加頻度 〈単数回答〉

「よく参加している」が2.9%、「ときどき参加している」が32.7%、「まったく参加していない」が63.8%となっています。



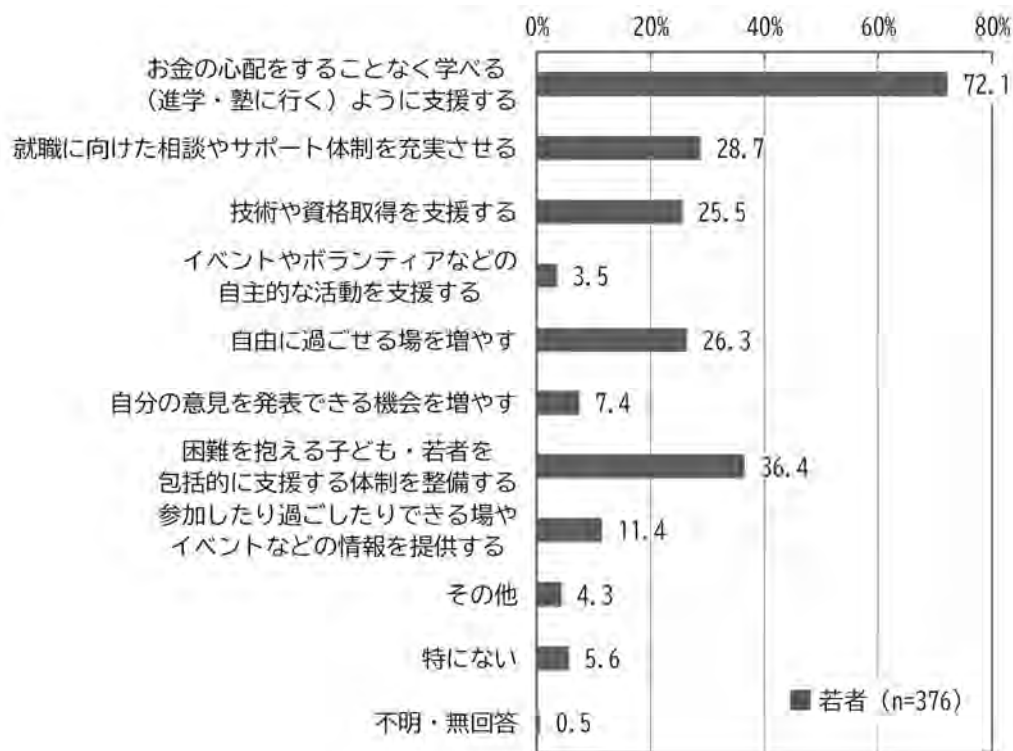
問 33 今の安城市の行政への関心度 〈単数回答〉

「『関心がある』(「非常に関心がある」と「どちらかといえば関心がある」の割合の合計)」が37.0%、「『関心がない』(「関心がない」と「どちらかといえば関心がない」の割合の合計)」が45.0%、「わからない」が17.8%となっています。



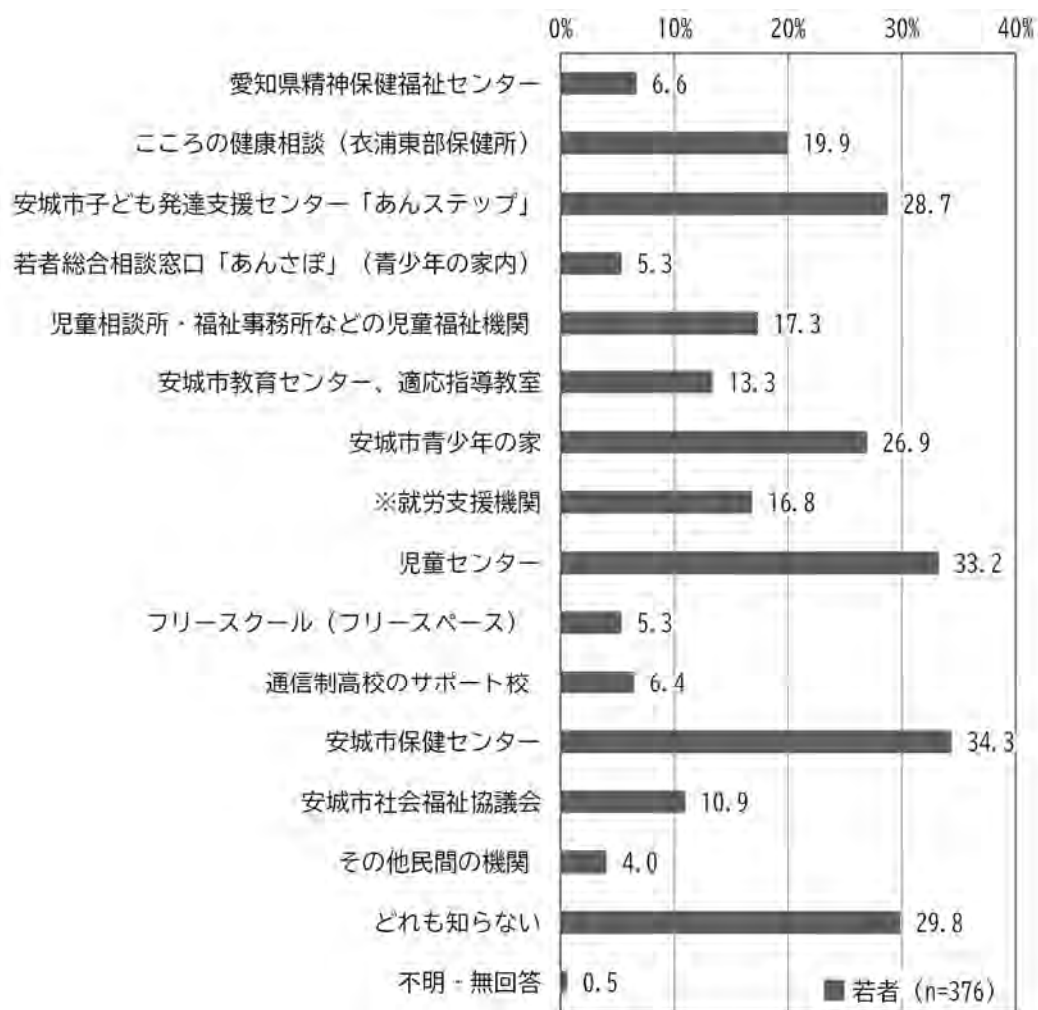
問 34 これから子ども・若者のために、安城市に必要なと思う取組 <複数回答>

「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）ように支援する」が72.1%と最も高く、次いで「困難を抱える子ども・若者を包括的に支援する体制を整備する」が36.4%、「就職に向けた相談やサポート体制を充実させる」が28.7%、「就職に向けた相談やサポート体制を充実させる」が28.7%となっています。



問 35 子ども・若者を対象とした育成支援機関等を知っているか 〈複数回答〉

「安城市保健センター」が34.3%と最も高く、次いで「児童センター」が33.2%、「どれも知らない」が29.8%となっています。

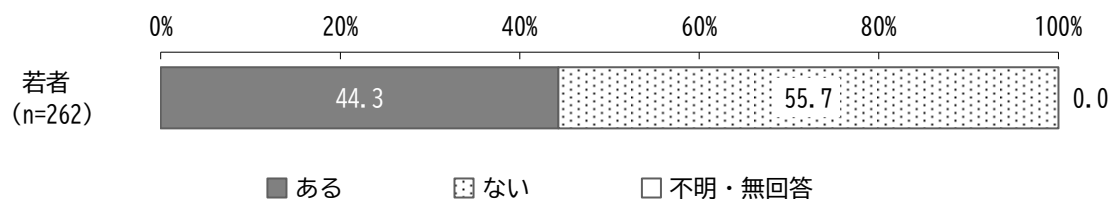


※安城市地域職業相談室、ハローワーク刈谷、知立若者サポートステーション、ヤング・ジョブ・あいちなどの就労支援機関。

〔育成支援機関等を知っている方〕

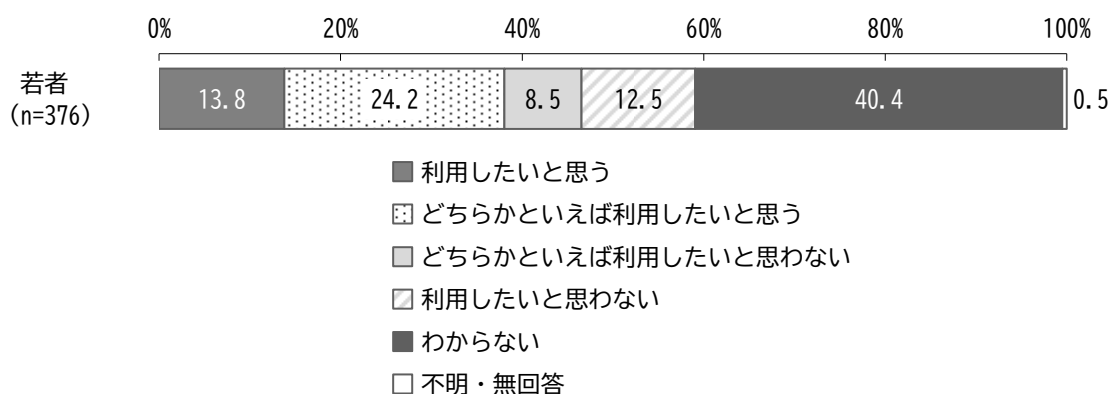
問 36 育成支援機関等の利用状況 〈単数回答〉

「ある」が44.3%、「ない」が55.7%となっています。



問 37 育成支援機関等の利用意向 〈単数回答〉

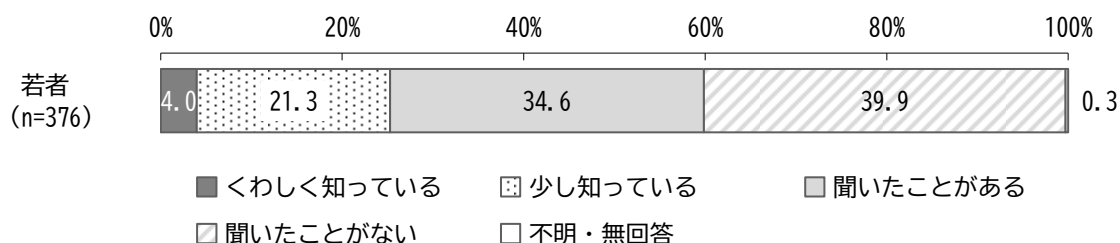
『利用したいと思う』（「利用したいと思う」と「どちらかといえば利用したいと思う」の合計）が38.0%、『利用したいと思わない』（「利用したいと思わない」と「どちらかといえば利用したいと思わない」の合計）が21.0%、「わからない」が40.4%となっています。



6. こどもの権利について

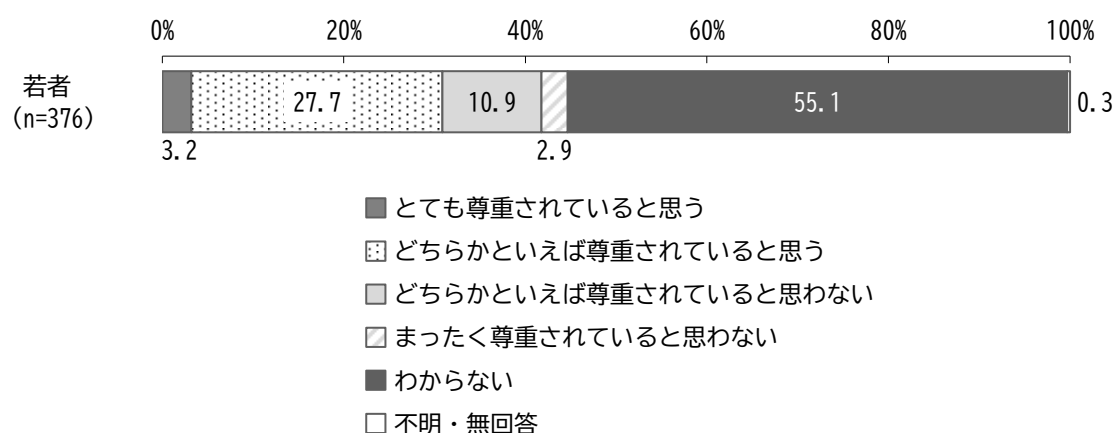
問 38 「こどもの権利」について知っているか 〈単数回答〉

「聞いたことがない」が39.9%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が34.6%、「少し知っている」が21.3%となっています。



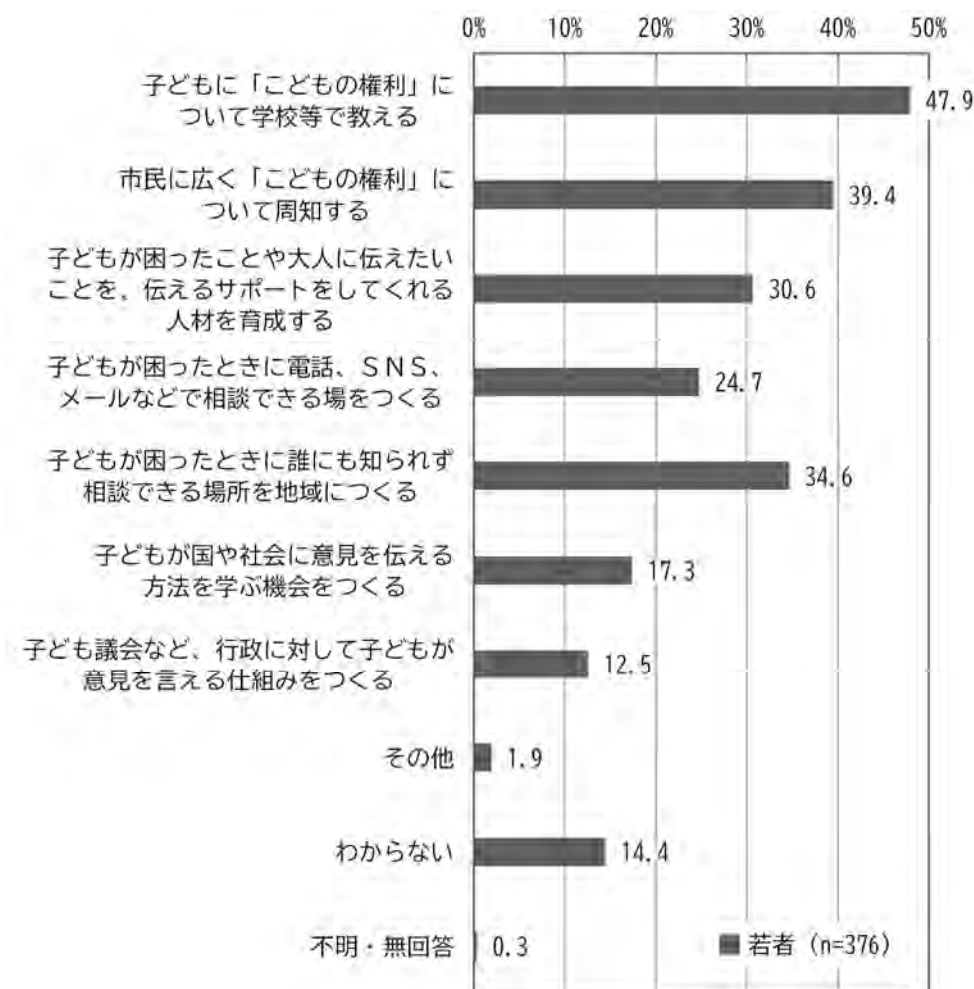
問 39 安城市において、こどもの権利が十分に尊重されていると思うか 〈単数回答〉

『尊重されていると思う』（「とても尊重されていると思う」と「どちらかといえば尊重されていると思う」の合計）が30.9%、『尊重されていると思わない』（「まったく尊重されていると思わない」と「どちらかといえば尊重されていると思わない」の合計）が13.8%、「わからない」が55.1%となっています。



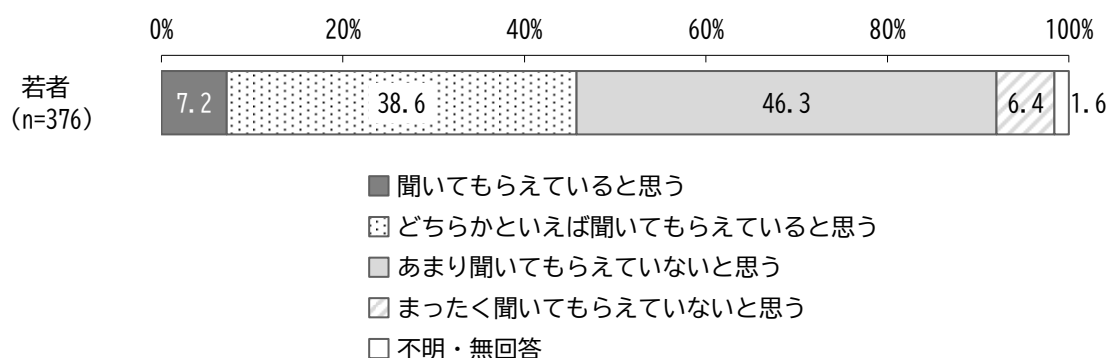
問 40 「こどもの権利」を守るために、どのような仕組みがあると良いと思うか 〈複数回答〉

「子どもに「こどもの権利」について学校等で教える」が47.9%と最も高く、次いで「市民に広く「こどもの権利」について周知する」が39.4%、「子どもが困ったときに誰にも知られず相談できる場所を地域につくる」が34.6%となっています。



問 41 安城市の取組において、こども・若者の意見を聞いてもらえていると思うか 〈単数回答〉

『聞いてもらえていると思う』（「聞いてもらえていると思う」と「どちらかといえば聞いてもらえていると思う」の合計）が45.8%、『聞いてもらえていないと思う』（「まったく聞いてもらえていないと思う」と「あまり聞いてもらえていないと思う」の合計）が52.7%となっています。



安城市 こども計画策定に関するアンケート調査
【結果報告書】

発行年月：令和6年 6月

発 行：安城市

編 集：安城市 子育て健康部 子育て支援課

住 所：〒446-8501 愛知県安城市桜町18番23号

T E L : 0566-71-2227 F A X : 0566-76-1112
